2023 年度

事業報告及び財務諸表

自　2023 年　4月　1日

至　2024 年　3月31日

一般社団法人
組込みシステム技術協会
Japan Embedded Systems Technology Association

2023年度事業報告及び財務諸表目次

2023年度事業報告書

Ⅰ　法人の概況・・・

Ⅰ　法人の概況

1.　設立年月日　昭和 61 年 8 月 7 日（1986 年 8 月 7 日）

2.　定款に定める目的

本会は、組込みシステム（組込みソフトウェアを含めた組込みシステム技術をいう。以下同じ。）における応用技術に関する調査研究、標準化の推進、普及及び啓発等を行うことにより、組込みシステム技術の高度化及び効率化を図り、もって我が国の産業の健全な発展と国民生活の向上に寄与することを目的とする。

3.　定款に定める事業内容

(1)　組込みシステム応用技術に関する品質、生産性、信頼性、セキュリティ等に関する技術開発及び標準化の推進

(2)　組込みシステム技術に関する人材育成、地域振興及び国際交流の推進

(3)　組込みシステムに係る技術・環境・経営及び貿易・投資に関する調査研究並びに情報の提供

(4)　組込みシステム技術などに関する内外関係機関との情報交流及び連携の推進

(5)　組込みシステム応用技術の普及啓発

(6)　本会の会員に対する福利厚生に関する事業の推進

(7)　その他本会の目的を達成するために必要な事業

4.　日本標準産業分類

G3912　組込みソフトウェア業

5.　会員の状況

2024 年 3 月 31 日現在

	当期末	前期末	前期末増減
正 会 員	132	128	+4
支部会員	16	12	+4
学術会員	4	3	+1
個人会員	8	8	0
賛助会員	29	26	+3
合　　計	189	177	+12

6.　主たる事務所、支部の状況

（主たる事務所）東京都中央区入船 1-5-11　弘報ビル 5 階

（支部）

北海道支部　北海道札幌市中央区北 1 条東 2 丁目 5-6 HIS 北 1 条ビル
HIS ホールディングス㈱ 内

東北支部　岩手県盛岡市上堂 3 丁目 8-44 ㈱イーアールアイ 内

関東支部　東京都中央区入船 1-5-11　弘報ビル 5 階

中部支部　愛知県名古屋市東区東桜 2-2-1　高岳パークビル
萩原電気ホールディングス㈱ 内

北陸支部　福井県福井市問屋町 3-111 ㈳アフレル 内

近畿支部　大阪府大阪市淀川区宮原 4－1-4KDX 新大阪ビル ㈱Bee 内

九州支部　福岡県福岡市中央区天神 2-13-7　福岡平和ビル 4 階

7.　役員に関する事項

別紙のとおり

8.　職員に関する事項

2023 年 3 月 31 日現在

職員数	前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数
4 名	1 名	50 歳	15 年

9.　許認可に関する事項

特になし

＜別紙＞

一般社団法人 組込みシステム技術協会 役員・顧問
(2024 年 3 月 31 日現在)

(役職)	(支部)	(氏　名)	(常勤･非常勤)	(会社名等)
会長	近畿	竹内 嘉一	非常勤	㈱日新システムズ
副会長	関東	渡辺 博之	非常勤	㈱エクスモーション
副会長	関東	佐野 勝大	非常勤	サイバートラスト㈱
専務理事	(員外)	武部 桂史	常勤	(一社)組込みシステム技術協会
理事	北海道	森 操	非常勤	HIS ホールディングス㈱
理事	東北	水野 節郎	非常勤	㈱イーアールアイ
理事	関東	秋山 員利	非常勤	㈱パトリオット
理事	関東	岩永 智之	非常勤	グローバルイノベーションコンサルティング㈱
理事	関東	鴨林 英雄	非常勤	㈱DTS インサイト
理事	関東	國井 雄介	非常勤	㈱クレスコ
理事	関東	坂上 真市	非常勤	日本システム開発㈱
理事	関東	佐々木 道夫	非常勤	㈱CIC
理事	関東	砂田 裕一	非常勤	JRC エンジニアリング㈱
理事	関東	竹岡 尚三	非常勤	㈱アックス
理事	関東	中村 憲一	非常勤	ｱｯﾌﾟｳｨﾝﾄﾞﾃｸﾉﾛｼﾞｰ･ｲﾝｺｰﾎﾟﾚｲﾃｯﾄﾞ
理事	関東	額賀 敏明	非常勤	㈱コア
理事	関東	原田 篤	非常勤	㈱ビッツ
理事	関東	廣田 豊	非常勤	TDI プロダクトソリューション㈱
理事	関東	ファン・マヌエル・エステベス	非常勤	ビジネスキューブ・アンド・パートナーズ(株)
理事	関東	福重 一彦	非常勤	㈱メタテクノ
理事	中部	青木 義彦	非常勤	㈱サンテック
理事	中部	伊藤 秀和	非常勤	東海ソフト㈱
理事	中部	渡邊 泰治	非常勤	㈱バファロー
理事	北陸	小林 靖英	非常勤	㈱アフレル
理事	北陸	新海 章	非常勤	㈱インテック
理事	近畿	安藤 亘	非常勤	イーエルシステム㈱
理事	近畿	勝見 哲也	非常勤	㈱Communication Technologies Inc.
理事	近畿	塩路 直大	非常勤	㈱Bee
理事	近畿	杉本 浩	非常勤	スキルシステムズ㈱
理事	九州	柳井 智雄	非常勤	柳井電機工業㈱
理事	(員外)	奥村 哲彦	常勤	(一社)組込みシステム技術協会
理事	(員外)	角口 勝彦	非常勤	(地独)東京都立産業技術研究センター
理事	(員外)	清水 徹	非常勤	東洋大学
理事	(員外)	大和 靖博	非常勤	
理事	(員外)	横田 英史	非常勤	ET ラボ
監事	関東	塚田 英貴	非常勤	㈱エヌデーデー
監事	(員外)	小森谷 豊	非常勤	(税)レインボー
名誉顧問	関東	種村 良平	非常勤	㈱コア
顧問	中部	松尾 隆徳	非常勤	東洋電機㈱
顧問	関東	簗田 稔	非常勤	
顧問	関東	長谷川 恵三	非常勤	CIC ホールディングス㈱

理事：35 人（内訳：会長 1 人、副会長 2 人、専務理事 1 人、理事 31 人）
監事：2 人　顧問：4 人

Ⅱ　総括

新型コロナウイルス感染症（COVID-9）は「新型インフルエンザ等感染症（いわゆる２類相当）」としていましたが、2023 年 5 月 8 日から「5 類感染症」になりました。それを受けて JASA 活動は通常年と同様の活動を目指してきましたが、2 類相当時の影響は多々残り、残念ながら通常年の活動はできませんでした。

しかし、良い情報として、協会の収益事業である展示会の EdgeTech+2023（パシフィコ横浜）では、33,128 名の来場者となり、過去最高人数で大盛況となりました。出展社数ではコロナ前の 2019 年度には至っておりませんが、展示会事業は確実に回復してきております。

2023 年度は通常年の活動はできませんでしたが、事業において 2024 年度に繋がる回復基調となりました。

2023 年度は、JASA ビジョン 2030 第 1 中期計画（3 ヶ年）の 2 年目であり、活動においては不十分であったものの、2024 年度の最終年に繋げることのできる内容となりました。

以下に 2023 年度の事業本部活動内容を抜粋して報告します。

事業推進本部

各支部会に参加し、本部支部の連携強化と情報共有を行った。

JASA ビジョン 2030 第 1 中期計画（3 ヶ年）の 2 年目の推進を行った。

第 2 回トップリーダー倶楽部の開催を行った。

他団体との連携として一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会（CIAJ）様と勉強会を開催した。

広報委員会

会員企業が自社情報を各自で発信できる仕組みとして会員情報管理システムを 2023 年 4 月よりリリースした。協会機関誌（BulletinJASA）の発行を行った。

政策提案委員会

経産省情報産業課との定例会を開催し、IPA 様との意見交換会を行った。

交流推進本部

国際交流委員会

オーストラリア視察を行った。EdgeTech+2023 での「JASA グローバルフォーラム」の開催、一般財団法人国際情報化協力センター（CICC）様との情報交換を行った。

ビジネス交流委員会

北海道地域交流セミナー、東北地域交流セミナー（後援者の派遣）、九州地域交流セミナー、中国地域交流セミナー（広島）を開催した。

人財交流委員会

管理者・幹部候補育成（セミナー4 回、報告会 2 回）を開催した。交流祭典は関

東、近畿で開催した。業界研究セミナーはWebinarで開催した。

人材育成事業本部

ETEC事業推進委員会

ETEC試験事業は2023年9月よりETEC(クラス2)バウチャーの価格帯改善を行った。

教育研修コンテンツ事業推進委員会

有料セミナーは新規を4講座、オンデマンドを4講座行った。

高齢者雇用推進事業は、問題なく予定通り2年目計画を実施し、継続事業を完了した。

寄附講座事業（海外人材インターンシップ事業）は受け入れ企業4社、インターンシップ生8名で実施した。

ET技術者教育委員会

ETロボコン2023は193チームの参加があった。

JASAイノベーションチャレンジ実行委員会

イノベーションチャレンジ2023は14チームの参加があった。

技術本部

各委員会の1年間の成果を成果発表会として発表した。

EdgeTech+West2023（大阪）、EdgeTech+2023（横浜）でJASA技術本部セミナーを行った。

安全性向上委員会

有料セミナー（安全設計セミナー）を開催した。

組込みシステムセキュリティ委員会

IPA様より運用とメンテナンスを引き継いだIoTセキュリティ教材のJASA版の更新を行った。IoTセキュリティ適合性評価のための支援事業の立ち上げを行った。

コモングラウンド委員会

有識者を招いてコモングラウンド、デジタルツインの勉強会を行った。

ドローンWGは、Toppers箱庭WGとドローンのシミュレータ開発を実施、金沢工業大学とドローンの機体製造、NEDO PJへのオブザーバー参加を行った。

スマートライフWGは、スマイルガチャのプロトタイプを開発し、EdgeTech+2023（横浜）で展示した。

応用技術調査委員会

OSS活用WGは、若年技術者教育としてハンズオンセミナーを実施した。

アジャイル研究WGは、有識者を招いて勉強会を行った。

AI研究WGは、AIに関連するトピックスをWGで情報共有し、Deep Learningについて4回のセミナーを行った。

プラットフォーム構築委員会

OpenEL活用WGは、IoT DEPの連携と国際標準化作業を行っている。

組込みIoTモデリングWGは、GSNとJOB理論モデルの連携とJOB理論モデルの更新を行っている。

組込みDevOpsプラットフォームWGは、組込みDevOps PF仕様（2023年度版）、組込みDevOps PFツールUIモックアップ仕様及びモックアップ、DevOpsシステム概要資料（2023年度版）を作成した。

ハードウェア委員会

デバイスWGはデバイスに関しての会議を行った。

RISC-VWGは、JASA会員向けRISC-V Webinarを6回開催した。JASA会員が昨年度開発したボードに対して追試できる手順チュートリアルWebページを日・英バイリンガルのコンテンツで公開し、RISC-VWGのページからリンクした。

ET事業本部

EdgeTech+West2023（グランフロント大阪）、EdgeTech+2023（パシフィコ横浜）を開催した。横浜では「オートモーティブ ソフトウェア エキスポ」が大盛況で過去最高の来場者数になった。

プラグフェストは、春は16社41名、秋は19社55名の参加で堅調であった。

Ⅲ　会務の概況

1. 総会

社員総会（第 37回）2023 年 6 月 15 日（木）　品川プリンスホテルにて以下に示す議案が諮られ、承認可決された。

＜決議事項＞

〔第 1 号議案〕　2022 年度事業報告書(案) 承認の件
〔第 2 号議案〕　2022 年度財務諸表(案) 承認の件
〔第 3 号議案〕　入会促進キャンペーンの延長承認の件
〔第 4 号議案〕　入会金及び会費規程の改定について
〔第 5 号議案〕　2023 年度、2024 年度役員選任の件

＜報告事項＞

〔報告事項 1〕　2023 年度事業計画及び収支予算について

2. 理事会

2023 年 5 月 18 日から 2024 年 3 月 21 日にわたり、計 5 回の理事会を開催した。

➢ 第 220 回理事会

2023 年 5 月 18 日（木）　於 WEB会議

議事

第 1 号議案	2022 年度事業報告書(案)の承認	【審議】
第 2 号議案	2022 年度財務諸表(案)の承認	【審議】
第 3 号議案	理事の利益相反取引について	【審議】
第 4 号議案	会社役員賠償責任保険契約の承認依頼	【審議】
第 5 号議案	新入会員の承認について	【審議】
第 6 号議案	役員候補者の選任	【審議】
第 7 号議案	社員総会について	【報告】
第 8 号議案	その他	【報告】
	・後援/協賛等受諾行事	【報告】
	・役員関連行事日程表	【報告】

➢ 第 221 回理事会

2023 年 6 月 15 日（木）　品川プリンスホテル

議事

第 1 号議案	新入会員企業の承認について	【審議】

➢ 第 222 回理事会

2023 年 9 月 21 日（木）ザプレイスメルキュールホテル名古屋

第 1 号議案	事業本部報告	【報告】
第 2 号議案	支部報告	【報告】
第 3 号議案	新入会員の承認について	【審議】
第 4 号議案	イノベーションチャレンジ 2023 予算変更について	【審議】

第 5 号議案　その他　【報告】

・ 後援、協賛等受諾の報告

・ 役員関連行事日程表

➢ 第 223 回理事会

2023 年 12 月 17 日（木） 大手町サンケイプラザ

議事

第 1 号 議 案	事業本部報告	【報告】
第 2 号議案	支部報告	【報告】
第 3 号議案	上期予算遂行状況について	【報告】
第 4 号議案	2024 年度事業計画及び予算計画の作成のお願い	【報告】
第 5 号議案	賀詞交歓会について	【報告】
第 6 号議案	新入会員企業の承認	【審議】
第 7 号議案	その他	【報告】

・ 後援、協賛等受諾の報告

・ 役員関連行事日程表

➢ 第 224 回理事会

2024 年 3 月 21 日（木） WEB 会議

議事

第1号議案	2024 年度事業計画案（案）	【審議】
第 2 号議案	2024 年度予算（案）	【審議】
第 3 号議案	入会キャンペーンの延長について	【審議】
第 4 号議案	セキュア IoT プラットフォーム協議会関連の合意書	【審議】
第 5 号議案	支部役職者の変更について	【報告】
第 6 号議案	事業本部報告	【報告】
第 7 号議案	支部報告	【報告】
第 8 号議案	新入会員の承認について	【審議】
第 9 号議案	その他	【報告】
	・ 後援、協賛等受諾の報告	【報告】
	・ 後援、協賛等受諾の報告	【報告】

3. 会員の変動状況

前年度期末会員数は、177 であった。下記のとおり、期中において、入会が 19 あり、退会が 7 であったため、本年度期末会員数は189 社となった。

新入会員

1.	株式会社リッジワークス	（正会員/北海道）
2.	株式会社クレスコ	（支部会員/北海道）
3.	ウィンボンド・エレクトロニクス株式会社	（正会員/関東）
4.	株式会社 NSP	（正会員/関東）
5.	一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会	（賛助会員/関東）
6.	一般社団法人セキュア IoT プラットフォーム協議会	（賛助会員/関東）
7.	株式会社テクノラボ	（正会員/北海道）
8.	株式会社ナイトテクノロジー	（正会員/関東）
9.	大和 靖博	（個人会員/関東）
10.	ベルエアーシステムズ株式会社	（正会員/中部）

11. 株式会社 FLAPS (正会員/近畿)
12. 株式会社連基 (正会員/関東)
13. 株式会社インテック (正会員/北陸)
14. 株式会社インテック (支部会員/関東)
15. 一般社団法人 RISC-V 協会 (賛助会員/関東)
16. 横谷 哲也(学校法人金沢工業大学) (学術会員/北陸)
17. 株式会社メック (正会員/九州)
18. デジタル・インフォメーション・テクノロジー株式会社 (支部会員/近畿)
19. 株式会社クレスコ (支部会員/九州)

退会会員

1. アドバンスデザインテクノロジイー株式会社 (支部会員/関東)
2. 株式会社グローセル (正会員/関東)
3. 大旺工業株式会社 (正会員/関東)
4. ARAV 株式会社 (正会員/関東)
5. 株式会社カンデラジャパン (正会員/関東)
6. 株式会社アスク (正会員/関東)
7. 浦野 勉 (個人会員/関東)

Ⅳ 事業本部報告

事業推進本部

1.活動概要(2023 年度の事業方針)

『JASA ビジョン 2030』と 3 ヵ年計画の定着と推進

①JASA 会員企業の経営者にとって必要とされる知識、人脈、協創の場を提供
②業界マップ(カオスマップ)の整備による協業の推進と、アライアンスの推進
③広報活動の再検討(JASA ホームページ、Bulletin JASA、JASA パンフレット)
④官、国内外企業、学生に対する JASA ブランド・ロイヤリティの向上
⑤「経営者支援」活動の立上げ

2.各事業についての報告

【事業№1】会議(委員会、WG会議)

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)
2022 年 3 か年計画の推進
四半期ごとに WEB 会議を実施
半期ごとにリアル会議を実施

★事業推進本部会議
第 1 回 4 月 18 日 13:00～15:00 WEB 会議
2022 年度実施報告
2023 年度予算説明 及び 新組織説明
2022 年 3 ヶ年計画推進状況報告
コモングラウンド委員会、海外人材育成、EdgeTech＋方針紹介

第 2 回 7 月 4 日 13:00～15:00 WEB 会議
2022 年 3 ヶ年計画推進状況報告
CIAJ との連携報告

第 3 回 10 月 17 日 13:00～15:00 ハイブリッド会議
2022 年度 3 か年計画推進状況
10 月 17 日 経産省との情報交換会議 報告
広報委員会 活動報告

第 4 回 1 月 9 日 13:00～15:00 ハイブリッド会議
2024 年予算申請内容確認
経産省ご挨拶報告 ➡ 生成 AI 活用の DevOps 規格の提案を要望される
IPA ご挨拶報告

★AI 活用の DevOps 委託研究(約 2 億円)提案
2 月 29 日 METI 渡辺室長、小川企画官、山脇係長、古賀様、JASA 竹岡本部長、武部
➡ 大変面白い取り組み。
①スモールスタートにして、効果が明確にできること
②将来グローバル展開も検討
今後、公示を出していくので、確約はできないが、応募してほしい

★CIAJ 連絡会議
5 月 31 日 CIAJ75 周年記念式典 参加
7 月 7 日 CIAJ セミナーにて、JASA 紹介を実施(講演者武部)
7 月 8 日 CIAJ から関東支部 BBQ に参加
11 月 1 日 CIAJ 来年度に向けての活動打合せ
➡昨年までの CIAJ IoT 委員会とのコラボであったが、来年度は、もう少し幅広く活動したい
➡共催イベントや、勉強会などを計画したい(CIAJ側で、提案内容を作成)
2 月 16 日 トップリーダー倶楽部 CIAJ との協業について
➡CIAJ は、会費も高くイベントで会費を徴収することが無い
経営者向けのイベントがないので、トップリーダー倶楽部には、期待するところが多い
会費制のトップリーダー倶楽部に対して、理解が得られるかを 2024 年度では試したい

【事業№2】支部訪問
目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)
本部と支部の連携強化、情報共有
各支部に 1 回訪問し、支部の課題、本部の情報提供を実施する
(支部と調整要)9 月北海道 7 月近畿 8 月関東 8 月東北 10 月九州 12 月北陸 5 月中部

★4 月 5 日 九州支部 運営方針会議
①2023 年 JASA 活動紹介
②九州支部の体制、予算
③業界研究、交流祭典等でのご協力
④九州支部会員の増強
⑤その他
メンバー：柳井社長、山根副支部長、竹内会長、武部専務理事

★5 月 24 日 中部支部会、懇親会に参加

★8 月 21 日 東北支部会 に参加 、JASA 新体制とビジョン、技術発表会について紹介
マルチもの盛岡＋交流セミナーに参加
＊本セミナーは JASA ビジネス交流委員会、盛岡市との共催セミナー

★8 月 24 日 関東支部会 懇親会に参加

★8 月 30 日 九州支部会 懇親会に参加
先立ち下記へ訪問
経産局 春口室長、小幡係長
半導体業界、人財育成に注力している
ISIT 荒牧専務理事、城戸イノベーション・アーキテクト
AI、IoT、ビッグデータなどに注力している
福岡県商工部 大橋主任主事、佐藤主任主事、松浦主任主事
モノづくりフェアで協業する

★9 月 27 日近畿支部会、懇親会に参加

【事業№3】事業継承講演会(トップリーダー倶楽部)
目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)
経営者支援の施策 4 の JASA 会員企業の経営者にとって必要とされる

①知識 ②人脈 ③協創 の場を提供する。
経営者支援の施策 4 のイベントとして、事業継承に関しての講演会を企画実施し、懇親会を実施する

★トップリーダー倶楽部準備会

第 1 回 4 月 27 日 15:00～17:00
2023 年度方針決定
参加者 秋山様、塩路様、横田様、武部
＜決定事項＞
今年のテーマ
経営者の意識改革 ➡ 生成 AI(chatGPT)技術活用経営

第 2 回 5 月 24 日 15:00～17:00
プログラム案作成と、講演者候補選定
参加者 神山様、額賀様、秋山様、佐々木様、塩路様、横田様、武部
＜決定事項＞
人脈形成を広げるために、会員企業が推薦する会員以外の経営者を招待顧客として有料で招待できる

第 3 回 7 月 27 日 15:00～17:00
講演者候補の審議
参加者
竹内会長、福重様、神山様、額賀様、秋山様、佐々木様、塩路様、横田様、武部
＜決定事項＞
イベント開始時間
10 時開始、
10:15 講演① 11:00 講演② 11:45 パネルディスカッション
12:30 懇親会
参加費 1 社(2 名までと懇親会費)15000 円
招待(参加企業の顧客などの幹部をゲストとして招待する場合)5000 円
会場 ハーバーラウンジ A,B
定員 50 名 (参加希望が多いい場合は、会場を変更する)
メーリングリストを作成して情報発信していく。今年は、生成 AI に関連情報を発信予定

第 4 回 8 月 22 日 13:00～14:00
参加者 福重様、額賀様、佐々木様、塩路様、横田様、武部
＜決定事項＞
講師 東大 松原先生 リコー 梅津所長
9 月 21 日の中部での理事会に間に合うようにパンフレットを作成・配布
10 月 3 日 募集方法など確認し、参加登録開始
11 月 15 日 トップリーダー倶楽部本番(Edge Tech＋)

本番 11 月 15 日 トップリーダー倶楽部 2023 年度テーマ:“生成 AI”技術活用経営
参加者 21 社 44 名(目標 50 名 昨年 38 名)
東京大学次世代知能科学研究センター 教授 松原 仁 様
リコーデジタルサービス BU AI インテグレーションセンター所長 梅津 良昭 様
JASA 広報委員長 横田 英史様

アンケート結果 5 点満点
　松原先生 4.1
　梅津様 4.5
　パネル 4.5

次回興味分野
　人財確保と組織について 19 名
　技術トレンド 13 名

2024 年度トップリーダー倶楽部の準備会を開始(1 月から毎月開催)
EdgeTech＋WEST 経営関連(企業ブランド醸成(案))
EdgeTech＋ 技術関連(生成 AI の応用(案))

3.活動成果/成果物
トップリーダー倶楽部が無事終了できた

4.今後の予定[2024 年 4 月 1 日～2024 年 5 月 30 日]
4 月 16 日 13 時～15 時 第 1 回 事業推進本部会議

5.その他特記事項
JASA との協業
情報通信研究機構(NICT) 9 月 5 日
➡NICTの研究成果を産業への展開を模索しており、協力依頼
現在、CSAJへの業務委託でEdgeTech＋への出展を実施 大学との共同研究を中心に発表
テラバイト通信など、ハイレベルの展示であった

AIST solutions 9 月 15 日　産業技術総合研究所の研究を社会実装(商業化)するための新会社
➡ 産総研の成果を実ビジネスに落とす会社として新会社を設立。その中に、半導体の製造に関する新事業部があり、JASAのRISC－V WGなどとの連携を希望する。継続的な議論をする。

トップリーダー倶楽部運営 WG を経営者サミット委員会に格上げした

広報委員会

1.活動概要(2023 年度の事業方針)
JASA ホームページを情報ハブとして、協会活動を周知するとともに情報発信力を強化する
Bulletin JASA の内容を見直し、読まれる機関誌を目指し配布先を拡充する
EdgeTech+の「＋」部分の企業や大学への配布を企画・立案する
会員企業間および非会員企業とのマッチング、カオスマップ作成、会員企業の広報に活用する新たな会員情報管理システム

2.各事業についての報告
【事業№1】会議(委員会、WG会議)
目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)
BulletinJASA とホームページの編集会議、広報戦略のすり合わせと実行計画策定

日　時 2023 年 4 月 25 日(火) 16:00～17:00
場　所 Web 会議
参加者 8 名/7 社

概　要 BJ85 4 月号の反省会、BJ86 のメニューを議論、ほか
成　果 BJ85 の技術キーワード特集の振り返り(Beyond5G は MWC@バルセロナの情報があり有意義、SDV と Web3 は少し保守的な内容だった、生成 AI を入れたかったところ、など)、BJ 配本数の増加策(23 年度予算)を議論(申し込みページの作成と QR コードの BJ 掲載などを検討)、BJ86 7 月号のメニューについて議論(EdgeTech+ West を軸に構成、企業訪問候補のピックアップ、など)、EdgeTech+やロボコン、イノチャレの状況を報告、JASA の会員情報管理システムの登録状況を報告、広報委員の異動に伴う交代の報告、など

日　時 2023 年 5 月 30 日(火) 16:00～17:00
場　所 Web 会議
参加者 7 名/6 社
概　要 BJ86 7 月号のメニューを議論、BJ 購読申し込みページの作成、ほか
成　果 BJ86 は EdgeTech+ West のプレビューを軸に構成。大学訪問を東京電機大学と東京大学の 2 本立てに。技術本部の発表会、オーストラリア訪問、IoT 技術高度化委員会からコモングラウンド委員会への移行、顧問弁護士コラム「ChatGPT」などコンテンツが盛り沢山なため、ページ数を調整する可能性も。BJ 配本数および JASA メールの配信数の増加策を引き続き議論、JASA ホームページの更新について議論(委員会紹介などが古いまま)、EdgeTech+やロボコン、イノチャレの状況を報告、JASA の会員情報管理システムの登録状況を報告など。

日　時 2023 年 6 月 29 日(木) 16:00～17:00
場　所 Web 会議
参加者 7 名/6 社
概　要 BJ86 7 月号のメニューを確定、BJ87 の特集について議論、ほか
成　果 BJ86 は EdgeTech+ West(7 ページ)のプレビューを軸に構成。大学訪問は会員の東京電機大学(汐月特定教授)のほか、東京大学 高瀬准教授を取り上げ全部で 4 ページ。新任理事挨拶、技術本部の発表会、オーストラリア訪問、コモングラウンド委員会などコンテンツが盛り沢山なため、通常よりも 4 ページ増の 28 ページ建てに変更。BJ87 は EdgeTech＋のプレビュー、カオスマップを中心に構成。オートモーティブ ソフトウェア エキスポをフィーチャーする。EdgeTech+ West の近畿支部ゾーン出展社へのアンケート、大阪での企業訪問と大学訪問について議論。BJ 配本数および JASA メールの配信数の増加策を引き続き議論、EdgeTech+やロボコン、イノチャレの状況を報告など。

日　時 2023 年 7 月 31 日(月) 16:00～17:00
場　所 Web 会議
参加者 7 名/6 社
概　要 BJ86 7 月号の反省会、BJ87 のメニューについて議論、ほか
成　果 BJ86 は通常より 4 ページ増。EdgeTech+ West の会場で配布。EdgeTech+ West のプレビューを軸に構成して、来場者の役に立てた。手に取る来場者が多かった印象。大学訪問の 2 本は、手を動かす東京電機大学と抽象レベルの高い東京大学と、内容が好対照で面白かった。BJ87 は EdgeTech＋のプレビュー、カオスマップを中心に構成。企業訪問は FLAPS、大学訪問は立命館大学で、いずれも EdgeTech+ West の会場で取材。FLAPS は、明石社長と Bee 塩路社長の対談形式。EdgeTech+ West の近畿支部ゾーン出展社へのアンケートについて議論。BJ 配本数および JASA メールの配信数の増加策を引き続き議論、EdgeTech+やロボコン、イノチャレの状況を報告など。

日　時 2023 年 8 月 29 日(火) 16:00～17:00
場　所 Web 会議
参加者 5 名/5 社
概　要 BJ87 10 月号のメニューについて議論、BJ88 の特集について議論ほか
成　果 BJ87 は EdgeTech＋のプレビュー、カオスマップを中心に構成。新設のオートモーティブ ソフトウェア エキスポをフィーチャーする。企業訪問は FLAPS で、明石社長と Bee 塩路社長の対談形式。大学訪問は立命館大学の熊木教授。EdgeTech+ West の近畿支部ゾーン出展社への意見拝聴、東北や北海道で開催された地域セミナー、クルーズ船の関東支部などの掲載について議論。BJ88 の EdgeTech＋のレビューとスリランカからのインターンシップ生のほか、企業訪問は岡崎市のベル・エアーシステムズ、大学は EdgeTech＋に出展する筑波大学を候補にする。生成 AI を取り上げる「トップリーダー倶楽部」の報告も読者の興味を引きそう。BJ 配本数および JASA メールの配信数の増加策を引き続き議論、EdgeTech+やロボコン、イノチャレの状況を報告など。

日　時 2023 年 9 月 28 日(木) 16:00～17:00
場　所 Web 会議
参加者 5 名/5 社
概　要 BJ87(10 月号)のメニューの決定、BJ88(1 月号)のメニューを議論、ほか
成　果 BJ87 は EdgeTech+のプレビュー、カオスマップを軸に構成。Automotive Software Expo を前面に。EdgeTwech+ West については、近畿支部ゾーン出展社の忌憚のない意見を掲載。インタビューは会社訪問(FLAPS)と大学訪問(立命館大学)の 2 本立て。BJ88 は 1 月号の定番(会長挨拶、経産省課長挨拶、支部長挨拶、景況アンケートなど)のほか、EdgeTech+のレビューを中心に構成。
BJ に関する議論のほか、EdgeTech+やロボコン、イノチャレの営業状況や活動状況を報告。BJ 配布部数を増やすために、購読申し込みページを作成し、QR コードで飛べるようにすることを決定。ただし購読者がどの程度増えるか予測できないので、EdgeTech+の申し込み時にアンケート(後述)を行い、購読意向調査を行って感触を得ることを決定。

日　時 2023 年 10 月 31 日(火) 16:00～17:00
場　所 Web 会議
参加者 7 名/6 社
概　要 BJ87(10 月号)の誌面反省会、BJ88(1 月号)のメニューを議論、ほか
成　果 今後の委員会活動や BulletinJASA の誌面強化につなげるために、BJ87 の誌面の内容と編集プロセスなどを振り返った。Automotive Software Expo を盛り上げるために、EdgeTech+が対外的に公表しているコピー「エッジテクノロジーに新たなプラスで加速する DX と事業変革」とは異なる見出し「自動車開発はソフトウェアファーストへ！」を表紙に掲載。カオスマップは適度な社数で、ロゴの彩りもあって、塩梅が良くなった。BJ88 は試読用としても配布するので、EdgeTech+の賑やかな様子など定番以外のコンテンツを増やし内容を充実させる(4 ページ増)。アンケートも生成 AI や人材不足、資源高などタイムリーな話題を盛り込む。インタビューは会社訪問(岡崎のベル・エアーシステムズ)と大学訪問(筑波大学)の 2 本立て。

日　時 2023 年 11 月 27 日(水) 16:00～17:00
場　所 Web 会議
参加者 6 名/5 社
概　要 BJ88(1 月号)のメニューと BJ89(4 月号)の特集の内容を議論、ほか

成　果 BJ88 は 1 月号の定番(会長挨拶、経産省課長挨拶、支部長挨拶、景況アンケートなど)のほか、企業訪問(ベル・エアーシステムズ)、大学訪問(つくば大学)で決定。EdgeTech+のレビューでは全体を総括するリードを今号で初めて追加。来場者数など全体像を把握しやすい構成にする。BJ89 の技術特集についてアイデア出し。生成 AI、RISC-V、IoT のセキュリティ、真空コンピュータ(EdgeTech+ Award 受賞)などが候補に挙がる。このほか、EdgeTech+の結果、BJ の部数増加策の結果と今後の方針、2024 年度予算の概要などについて情報共有。

日　時 2023 年 12 月 27 日(水) 16:00～17:00
場　所 Web 会議
参加者 6 名/5 社
概　要 BJ88(1 月号)のメニューの決定、BJ89(4 月号)の特集の内容を議論、ほか
成　果 BJ88 は 1 月号の定番(会長挨拶、経産省課長挨拶、支部長挨拶、景況アンケートなど)のほか、企業訪問(ベル・エアーシステムズ)、大学訪問(つくば大学)で構成。EdgeTech+のレビューでは全体を総括するリードを今号で初めて追加。来場者数など全体像を把握しやすい構成にする。BJ89 の技術特集についてアイデア出し。AI、RISC-V、IoT のセキュリティ、無線ネットワークなどが候補に挙がる。このほか、EdgeTech+の結果、BJ の部数増加策の結果と今後の方針、2024 年度予算の概要などについて情報共有。

日　時 2024 年 1 月 22 日(月) 16:00～17:00
場　所 Web 会議
参加者 4 名/3 社(委員の拡充を本気で考えないと)
概　要 BJ88(1 月号)の振り返り、BJ89(4 月号)のメニューを議論、ほか
成　果 納本された BJ88 の出来について PDF を使って振り返り。山吹色を使った表紙は新春らしさが出ており好評。EdgeTech+は最初の見開きページに上手く写真が配置され、立ち見が出たカンファレンスの様子など会場の活気が伝わった。顧問弁護士のコラムは字が小さすぎたのは反省点。レイアウトではなく、文字数削減で調整するべきだった。BJ89 の技術特集について議論。動きが激しい生成 AI は書き手を見つけるのが難しそう。RISC-V、IoT のセキュリティ、センサーなどの掲載を検討することに。企業訪問はキーサイト、大学訪問は日大理工学部を候補に挙がる。BJ 増加策の現状、2024 年度予算などについて情報共有。委員の増員について議論。

日　時 2024 年 2 月 15 日(木) 16:00～17:00
場　所 Web 会議
参加者 7 名/6 社
概　要 BJ89(4 月号)のメニュー決定、BJ90 のメニューを議論、EdgeTech+2024 の情報共有
成　果 BJ89 の技術特集は、AI 関連(生成 AI は断念)、IoT のセキュリティ、無線ネットワーク総ざらいで構成。技術キーワードは全 18 ページ(予算通り)を予定。センサーなども検討することに。企業訪問はキーサイト、大学訪問は日大理工学部に仮決定(企業訪問は、委員会後にコンセプトアンドデザインに変更)。BJ90 は技術本部の成果発表会、EdgeTech+ West のプレビュー(会場で配布)、イノチャレのモデルチェンジなどで構成。技術本部の委員会/WG 紹介の連載を開始(初回はドローン WG と RISC-V WG？)。このほか EdgeTech+2023 のリアルとオンラインをあわせた結果について情報を共有。EdgeTech+2024 のコンセプトや営業状況、トップリーダー倶楽部の方針についての情報も共有。

日　時 2024 年 3 月 19 日(月) 16:00～17:00
場　所 Web 会議

参加者 6 名/6 社
概　要 BJ89(4 月号)のメニューの決定、BJ90(7 月号)の特集の内容を議論、ほか
成　果 BJ89 は技術キーワードを 3 本(AI、IoT セキュリティ、無線 LAN 対ローカル 5G)。1 月号の定番(会長挨拶、経産省課長挨拶、支部長挨拶、景況アンケートなど)のほか、企業訪問(コンセプトアンドデザイン)、大学訪問(日大理工学部)で構成。BJ90 の企業訪問と大学訪問の候補出し。2024 年度予算について情報共有。

【事業№2】会員情報管理システム(第 2 期:JASA ビジョン施策 5)
目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)
会員の事業分野や新製品、ニュースなどの情報を集約し、会員企業間および非会員企業とのマッチング、カオスマップ作成、会員企業の広報に活用する新たな会員情報管理システム。

会員企業の登録を 4 月からスタート。約半数が再登録して頂いたが、最近の動きは鈍い。ホームページやメール、Facebook を介したセミナーや製品の告知が可能なので、積極的な登録をお願いしたい。

アップウィンドテクノロジー・インコーポレイテッド	関東	正会員	開発支援	開発環境	組込みソフト
アドバンスデザインテクノロジー株式会社	関東	正会員	組込みハード/半導体デバイス	組込みソフト	開発支援
アドバンストシステムズ株式会社	関東	正会員			
株式会社アドバンスド・データ・コントロールズ	関東	正会員	組込みソフト	開発環境	セーフティ&セキュリティ
株式会社アフレル	北陸	正会員	AI	教育/人材育成	開発環境

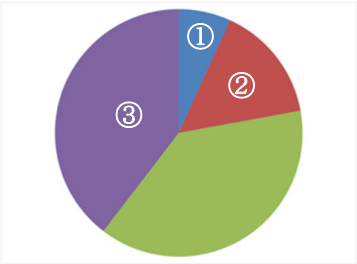
【事業№3】協会広報／ホームページ
JASA の情報ハブとして、JASA の活動を潜在的会員やステークホルダーに効果的にアピールする
目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)
2020 年 4 月にリニューアルした JASA ホームページを JASA の活動状況を集約する情報ハブとして利用する。ET/IoT 展、イノチャレ、ロボコン、プラグフェスト、技術本部の活動をタイムリーに伝える窓口とする。各活動への動線とするとともに、各活動からの受け口を用意し新規会員獲得を図る。

広報委員会を含め活動状況など情報のアップデートが遅れており、せっかくの有意義な活動が周知されていない。委員会活動や予算成立時にデフォルト(アルバイトで対応にするか)で書き換え、委員長のチェックを受けリリースするのはどうか。

【事業№4】協会広報／機関誌「Bulletin JASA」
目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)
機関紙「Bulletin JASA」の発行。発行時期は 4 月、7 月、10 月、1 月。JASA の活動をステークホルダーに伝える広報的な役割だけではなく、JASA ホームページへの良質なコンテンツ供給源として、会員企業のブランディングに資するメディアとして活用する。経済産業省をはじめとした、会員企業が知っておくべき公的情報を発信する。

4 月号、7 月号、11 月号、1 月号を期日通りに納本。部数は 2000 部。Bulletin JASA の購読者増加策を推進中。HP に購読申し込みページを作り、QR コード/メールから誘導。
EdgeTech+会場に置く試読誌(BJ86 と BJ87)の横に、購読申し込みページの QR コードを記載したポップを置く。EdgeTech+の申し込み時の調査では、10 月末時点での購読意向は 38%(円グラフの若草色)と想定よりも高め。

① 読んだことがある　220 件　7%
② 知っているが読んだことはない　492 件　15%
③ 知らないが読んでみたい　1,233 件 38%
④ 興味がない　1,274 件 40%



EdgeTech+時の施策は効果があり、新規に 30 名の購読者を獲得。新年号から配布を開始した。2024 年度も新規読者獲得の施策を継続する。

3.活動成果/成果物

BulletinJASA 2023 年 4 月号、同 7 月号、同 11 月号、2024 年 1 月号。

4.今後の予定[2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日]

月に 1 回の広報委員会を開催

5.その他特記事項

なし

政策提案委員会

1.活動概要(2023 年度の事業方針)

①政府(経産省)施策との情報交換会の実施
②IPA との情報交換会の実施
③支部との連携による地方経産局等との連携推進

2.各事業についての報告

【事業№1】会議(委員会、WG会議)

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)
政策提案委員会定例会
JASA として、官への提言等を議論する

第 1 回 4 月 17 日 15:00～17:00
①2023 年度決定予算説明
②2023 年度実施施策ご説明
③経産省との情報交換内容説明
④その他 J9 内容紹介

【事業№2】経済産業省定例会

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)
経産省との情報交換(予算決定時期、中間、来年度予算時期)
行政の施策と連携した施策を立てるために、情報交換を 3 回定期的に行う

1)6 月 18 日 13 時～14 時 経産省訪問
「次世代ソフトウェアプラットフォーム開発事業」の予算

＜中止＞ 7 月 4 日 11 時～12 時 経産省訪問

2)10 月 17 日 11 時～12 時
JASA 状況報告
令和 6 年度に向けた経産省情報産業分野の重点政策
➡ 半導体と生成AIに注力して予算をつけている。①計算能力(GPUなど確保ほか)、②生成AIの開発(スタートアップ企業などへの投資)、③生成 AI の応用への支援
11 月 15 日～17 日 EdgeTech＋ 後援、及び講演依頼
RISC-V 開発プラットフォームの推進へのご協力依頼
➡ 来年度の予算化にご提案がある場合は、4 月から 6 月にご提案いただければ対応できる。補正予算は、確実ではない。

3)10 月 27 日 10 時～11 時 経産省 RISC-V 関連依頼打合せ
経済産業省 商務情報政策局 情報産業課 課長補佐博士（工学） 齋藤 尚史
JASA RISC-V プラットフォーム開発計画の説明
RISC-V チップ開発のノウハウとプラットフォーム開発計画
半導体開発教育コンテンツ作成計画
これらに対する支援依頼
➡ 経産省見解:計算書としては、大規模な半導体事業の立て直しに注力しており、規模の小さいものに関しては、個社で対応してもらいたい。
➡ JASA 今後の対応:当初の計画の無いものなので、継続して、経産省と打ち合わせを持つ方向

4)J9（経産省、IPA、JISA、SAJ、JAPET、JCSSA、JUAS、SOFTIC、JASA）
4 月 17 日
7 月 19 日
10 月 26 日
1 月 25 日 4 年度予算方針説明 人材育成、マナビ DX 紹介、など
〇デジタル社会の実現について
https://www.meti.go.jp/shingikai/sankoshin/shin_kijiku/pdf/019_03_00.pdf
〇価値創造経営について
https://www.meti.go.jp/shingikai/sankoshin/shin_kijiku/pdf/019_04_00.pdf
〇デジタル時代の人材政策に関する検討会
https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/digital_jinzai/index.html

【事業№3】IPA 情報交換会
目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)
IPA とくに社会基盤センターとの連携を密にする
セキュリティ、アーキテクチャ関連の IPA の動きに関連して情報交換を実施する

1)9 月 12 日 13 時 30 分 新斉藤理事長来所
・組込みに関して、もっと連携を取っていきたい
・課題などをもっと、IPA に上げてほしい
・プラットフォームなどグローバルに発信できるものを作りたい
・その他

2)10 月 23 日 13 時～14 時 IPA WEB 会議

・従来の協会と IPA との定例会について、昼間の会議とする。

・これは、全協会共通とする

・夜の会食等を実施する場合は、有志参加とし、経費負担はしない

3)11 月 9 日 10 時半～12 時 IPA 訪問

・現在、業界の白書として、組込み業界のみじっししていたが、今年度は、業界調査をすべての協会を横串に進めたい。

・アンケート内容に関しては、後日、各協会にご提案するので、ご検討いただき、意見をいただきたい。

4)IPA―JASA 意見交換会 3 月 29 日 11:30～13:30 グランドヒル市ヶ谷 3 回 真珠

IPA 側

齊藤 裕　理事長・デジタルアーキテクチャ・デザインセンター(DADC)長
奥村 明俊　理事
平本 健二　デジタル基盤センター(DISC)長・参与
高柳 大輔　セキュリティセンター(ISEC)長・参事
高橋 伸子　IT 人材育成センター(DHRC)長
掛川 昌子　産業サイバーセキュリティセンター(CoE)副センター長
守谷 学　総務企画部長・参事
太田 賢志　総務企画部 企画・評価グループリーダー
遠藤 美奈　総務企画部 企画・評価グループ

JASA 側

竹内 嘉一　会長
渡辺 博之　副会長／ET 事業本部長
佐野 勝大　副会長／組込みシステムセキュリティ委員会委員長
武部 桂史　専務理事／事業推進本部長
廣田 豊　理事／交流推進本部長
杉本 浩　理事／人材育成事業本部長
竹岡 尚三　理事／技術本部長
奥村 哲彦　理事／事務局長
河合 昭利　本部事務局

齋藤理事長:第 5 期中期計画を発表でき、官民エコシステムの構築に集中していきたい。すでに、あらゆるものがソフトウェア化しており、クラウドだけでなく、組込み業界に於いてもこれらの対応が迫られており、IPA として、業界と密な関係を構築したい。IPA は、情報処理に係る事業推進を進めてきたが、ものづくりからことづくりに変わって、情報処理ではなく、情報システムに係る事業推進が望まれていると考えている

JASA:①セキュリティ関連、②EdgeTech+協力依頼、③人材確保問題 その他

3.活動成果/成果物

4.今後の予定[2024 年 4 月 1 日～2024 年 5 月 30 日]

政策提案委員会　4 月 24 日 13 時～15 時
J9　4 月 17 日 12 時半～13 時半

5.その他特記事項

交流推進本部

国際交流委員会

1.活動概要(2023 年度の事業方針)

1.委員会の定期開催
活動検討、状況確認、情報収集(外部講師によるスピーチ)
※COVID19 も収束し、原則 Hybrid で実施(定期開催)
2.グローバル人財紹介セミナー(JASA 内外向け)
セミナー自体はグローバルフォーラム(スリランカ)の際での委員含めた発表の際に実施
3.JASA グローバルフォーラム＆国際交流委員会の情報発信
※グローバルフォーラムは 2022 年度と同様、対象国(地域)を選定してセミナー等実施
結果、AOTS 殿(基調講演)や立命館アジア太平洋大学(APU: 招待講演)を基軸として
スリランカでの各種事例を含めて発表
ET展：JASA グローバルフォーラム企画・実施、JASA ブースにて委員会活動情報の発信
機関誌：Bulletin JASA に「国際だより」を設け委員会より情報発信
HP　：国際フォーラムや委員会スピーチでの講演資料を掲載
4.海外視察による海外動向の情報入手
2022 年度のグローバルフォーラム(オーストラリアが主軸)の関係性もあり、
オーストラリアで実施

2.各事業についての報告 (※ 目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算))

【事業№1】会議(委員会、WG会議)

5 月　2 日(火)	16:00～18:00(Hybrid 会議)	出席者 12 名(10 社)
6 月 22 日(木) WG	14:30～16:00(Hybrid 会議)	出席者　5 名(4 社)
6 月 22 日(木)	16:00～18:00(Hybrid 会議)	出席者 10 名(9 社)
7 月 26 日(水) WG	16:00～18:00(Hybrid 会議)	出席者　5 名(4 社)
8 月 17 日(木)	16:00～18:00(Hybrid 会議)	出席者 10 名(9 社)
10 月 26 日(木)	16:00～17:30(Hybrid 会議)	出席者 10 名(9 社)
12 月 15 日(金)	16:00～17:30(Hybrid 会議)	出席者 10 名(9 社)
2 月 22 日(木)	16:00～17:30(Hybrid 会議)	出席者 10 名(9 社)

【事業№2】グローバル人財紹介セミナー
結果、グローバルフォーラム(スリランカ)に協力して委員等が発表

【事業№3】「JASA グローバルフォーラム」「国際委員会の情報発信」企画・開催
グローバルフォーラム 2023 開催概要
日 時:11 月 16 日(木)14:00～16:50
会 場:パシフィコ横浜 展示会場内「Room D」
プログラム:
14:00 開会:司会 ／ 委員長挨拶
14:05 基調講演
『外国人材採用の現状及び支援策について』
外国人を国内人材不足の救世主とするためには
一般財団法人海外産業人材育成協会(AOTS) 専務理事　立石 譲二 氏
15:00 招待講演

『選ばれる日本になるために』
ワールドカップには世界の人材で臨みませんか！
立命館アジア太平洋大学(APU)キャリア・オフィス課長　篠﨑 裕二 氏

15:50 スリランカ組込みエンジニア育成教育事業
1.JASA が取り組む、海外人材育成事業と今後の本格的な採用に向けて
(一社)組込みシステム技術協会 人材育成事業本部長
スキルシステムズ(株)代表取締役社長　杉本 浩 氏
2.受入事例「初めての外国人エンジニア採用への取り組み」
(株)ハイスポット 代表取締役社長　　杉本 祥一 氏
3.受入事例「人財のボーダレス化と採用強化への取り組み」
(株)ブライセン DX・xTECH ソリューション事業本部長　山川 隆一 氏

※D2-04 グローバルフォーラム

事前登録数	当日聴講数(目視)	歩留まり	委員会参加希望
38	36	94.7%	1

※オンデマンド配信　2024 年 1 月 9 日～2 月 2 日

聴講者 73　資料 DL 61

【事業№4】海外視察の企画(今期)
グローバル化の推進。視察により海外のビジネスビジネス状況を把握する。

オーストラリア シドニー視察研修報告(6 月 22 日: 最終報告)
実施日程:令和5年 5月14日(日)～19日(金)
視察目的:ビジネスパートナーとしてのオーストラリアを探る
視察先 :JETROシドニー事務所、シドニー日本商工会議所、
シドニー西空港開発プロジェクト見学
シドニー工科大学(R&D紹介、IOTAA紹介)
シドニースタートアップハブ(NSW州産業、AISA、サイバーセキュリティ企業)
シドニー大学工学部(IoT導入現場見学)
参加者 :会員企業11社、計17名

3.活動成果/成果物

①機関誌 Vol.86 国際だより「オーストラリア視察レポート」(中西様寄稿)
②HP 広報アーカイブ／国際交流委員会 視察映像 掲載(粕谷様編集)

4.今後の予定[2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日]

4 月 12 日(金) 16:00～17:30 (Hybrid 会議)
通常議事及びウズベキスタン情報及び状況共有(CICC 岡田様)
6 月 13 日(木) 16:00～17:30 (Hybrid 会議)

5.その他特記事項

特になし

ビジネス交流委員会

1.活動概要(2023 年度の事業方針)

各地支部と連携した情報発信
JASA 認知度の向上
企業間のビジネスマッチングや事業創造の機会を創出
2030 ビジョン達成のため、従来セミナーの支部への引継ぎ

2.各事業についての報告

【事業№1】会議(委員会、WG会議)

4 月 17 日(月) 15:00～17:00 ハイブリッド開催 参加 6 名
今年度の交流セミナー全体の内容検討、各進捗確認
5 月 25 日(木) 15:00～17:00 ハイブリッド開催 参加 8 名
今年度の交流セミナー全体の内容検討、各進捗確認
6 月 20 日(火) 16:00～17:00 ハイブリッド開催 参加 7 名
企画されている交流セミナーのテーマの方針検討
7 月 11 日(火) 16:00～17:00 ハイブリッド開催 参加 5 名
北海道、九州交流セミナーの内容、講師の選出、打診の状況確認
8 月 7 日(月) 16:00～17:00 ハイブリッド開催 参加 6 名
東北セミナー最終確認、北海道、九州交流セミナーの詳細確認、各進捗確認
9 月 7 日(月) 16:00～17:00 ハイブリッド開催 参加 5 名
北海道交流セミナーの詳細と役割確認、九州交流セミナー詳細確認、各進捗確認
10 月 10 日(木) 16:00～17:00 ハイブリッド開催 参加 6 名
九州交流セミナーの詳細と役割確認、中国交流セミナー概要確認、各進捗確認
11 月 21 日(火) 16:00～17:00 リアル開催 参加 5 名
九州セミナーの結果報告と振返り、中国交流セミナー進捗確認、各進捗確認
12 月 26 日(火) 16:00～17:00 ハイブリッド開催 参加 6 名
2024 年度計画と予算の検討、中国地域交流セミナーの役割確認、各進捗確認
1 月 16 日(火) 16:00～17:00 ハイブリッド開催 参加 5 名
2024 年度計画と予算の確認、中国地域交流セミナーの最終確認、各進捗確認
2 月 21 日(水) 16:00～17:00 ハイブリッド開催 参加 7 名
中国地域交流セミナーの結果と振返り、2024 年度各地セミナーの大テーマの検討、北海道交流セミナー、九州交流セミナーの検討、講師の検討、各進捗確認
3 月 12 日(火)16:00～17:00 ハイブリッド開催 参加 7 名
2024 年度計画と予算の確定、次年度計画の確認他

【事業№2】北海道交流セミナー
2023 年 9 月 14 日(木) 15:00～ TKP ガーデンシティ札幌駅前(5 階)にて開催

【事業№3】東北交流セミナー
2023 年 8 月 21 日(月) 13:30～ アイーナ(盛岡市)にて開催

【事業№4】北陸交流セミナー
北陸支部と検討の結果、今年度は開催せず。

【事業№5】九州交流セミナー
2023 年 10 月 19 日(木) 14:00～ マリンメッセ福岡 A 館 2 階 B 会場にて開催

【事業№6】中国(広島)交流セミナー
2024 年 1 月 25 日(木) 15:00～ TKP ガーデンシティ PREMIUM 広島駅前にて開催

3.活動成果/成果物

【事業№2】北海道交流セミナー
2023 年 9 月 14 日(木)15:00～、TKP ガーデンシティ札幌駅前(5 階)にて、JASA 北海道支部共催で開催されました。リアル開催のみで参加が 63 名、関係者、スタッフを入れると 77 名と会場がほぼ満席となりました。
登壇者は、グーグル・クラウド・ジャパン 執行役員 内山 純一郎様より「組込み系エンジニアのための生成 AI とセキュリティ」について、株式会社 Bee 中村 仁昭(よしあき)様より、「組込み AI の現状の紹介と、組込みでの生成 AI の可能性」についてお話されました。また、JASA 渡辺副会長から JASA の紹介がされました。
懇親会も同フロアーにて行われ大盛況のうちに終えることができました。
＊入会希望 0 社 話を聞いてみたい 1 社 検討したい 13 社

【事業№3】東北交流セミナー
2023 年 8 月 21 日(月) 13:30～、盛岡市と共催。いわて県民情報交流センター アイーナにて ハイブリッド開催、　　参加者:66 名(リアル:43 名、オンライン:23 名)
JASA からは、渡辺副会長より「リスキングで挑む開発現場DX」の題目で講演いただきました。
武部専務理事より JASA 紹介をしていただきました。
交流会も開催され、楽しく有意義な交流ができました。
他、詳細は東北支部活動報告より

【事業№4】北陸交流セミナー
例年は、北陸支部で Matching HUB Hokuriku と連携で開催していた。今年度は支部との都合が合わず、未開催。

【事業№5】九州交流セミナー
2023 年 10 月 19 日(木) 14:00～、マリンメッセ福岡にて JASA 九州支部共催で開催されました。リアル開催のみで参加が 47 名、関係者、スタッフを入れると 61 名となりました。
登壇者は、SCSK 九州 ビジネスシステム事業本部岡部 浩太郎様より「ディープラーニングで挑む、製造業の職人技」、Fusic 取締役副社長 浜崎 陽一郎様より「ChatGPT が変えたビジネスの景色」についてお話されました。また。同時開催の九州モノづくりフェアにも JASA ブースが設置され、JASA 会員企業 6 社が出展されました。会場全体の集客数は 2 万 5 千人とのことでした。
懇親会も会場隣接の福岡港国際ターミナル内ハーバービレッジで開催され 50 名程が参加された。
＊入会希望 0 社 話を聞いてみたい 0 社 検討したい 7 社(内大学 2、県関連 2)

【事業№6】中国(広島)交流セミナー
2024 年 1 月 25 日(木) 15:00～、TKP ガーデンシティ PREMIUM 広島駅前にて開催されました。リアル開催のみで参加が 24 名、関係者、スタッフを入れると 35 名となりました。広島県情報産業協会様、メイドインひろしま IoT 協議会の皆様にも動員のご協力をいただきました。
登壇者は、北海道交流セミナーと同じグーグル・クラウド・ジャパン 執行役員 内山 純一郎様より「組込み系エンジニアのための生成 AI とセキュリティ」について、株式会社 Bee 中村 仁昭(よしあき)様より、「組込み AI の現状の紹介と、組込みでの生成 AI の可能性」についてお話をいただきました。また、交流本部長の廣田 豊様より JASA の紹介がされました。交流会も来賓のご挨拶で開催され、約 90 分、来賓・講演者・参加者間の交流が図れました。
＊入会希望 1 社 話を聞いてみたい 1 社 検討したい 8 社(内大学 2 校)

4.今後の予定[2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日]

【事業№1】会議(委員会、WG会議)

2024 年　4 月 10 日(水) 16:00～17:30 (リアル開催)
2024 年　5 月 22 日(水) 16:00～17:30 (リアル開催)
2024 年　6 月 19 日(水) 16:00～17:30 (リアル開催)

5.その他特記事項

特になし

人財交流委員会

1.活動概要(2023 年度の事業方針)

会員の新卒求人活動支援、会員の管理者・幹部候補育成支援と人財交流、学生の業界認知度の向上

2.各事業についての報告

【事業№1】会議(委員会、WG会議)

4 月 18 日 Web 開催 8 名出席
各事業の個々の目的・概要・目論見を確認し、事業毎に推進者を設置して、管理を行うことにした。
5 月 17 日 Web 開催 7 名出席
事業ごとに推進者を中心に事業を推進し、報告・相談調整を行った。詳細は各事業報告を参照。
6 月 14 日 Web・リアル開催　9 名出席
事業ごとに推進者を中心に事業を推進し、報告・相談調整を行った。詳細は各事業報告を参照。
7 月 12 日 Web 開催　7 名出席
事業ごとに推進者を中心に事業を推進し、報告・相談調整を行った。詳細は各事業報告を参照。
8 月　9 日 Web 開催　9 名出席
事業ごとに推進者を中心に事業を推進し、報告・相談調整を行った。詳細は各事業報告を参照。
9 月 13 日 Web 開催 9 名出席
事業ごとに推進者を中心に事業を推進し、報告・相談調整を行った。詳細は各事業報告を参照。
10 月 11 日 Web 開催 11 名出席
事業ごとに推進者を中心に事業を推進し、報告・相談調整を行った。詳細は各事業報告を参照。
11 月 22 日 Web 開催 11 名出席
事業ごとに推進者を中心に事業を推進し、報告・相談調整を行った。詳細は各事業報告を参照。
12 月 21 日 Web 開催 8 名出席
事業ごとに推進者を中心に事業を推進し、報告・相談調整を行った。詳細は各事業報告を参照。
1 月 23 日 Web 開催 9 名出席
事業ごとに推進者を中心に事業を推進し、報告・相談調整を行った。詳細は各事業報告を参照。
2 月 15 日 Web 開催 8 名出席
事業ごとに推進者を中心に事業を推進し、報告・相談調整を行った。詳細は各事業報告を参照。
3 月 22 日 Web 開催 10 名出席
事業ごとに推進者を中心に事業を推進し、報告・相談調整を行った。詳細は各事業報告を参照。
4 月　8 日 Web 開催 7 名出席
事業ごとに推進者を中心に事業を推進し、報告・相談調整を行った。詳細は各事業報告を参照。

【事業№2】管理者・幹部候補育成

実践リーダー研修として、JASA 会員以外の参加者も募集し年間 4 回のセミナーと 2 回の報告会を計画し、32 名の参加者を 7 チームに分けて、7 月 20 日、10 月 5 日、12 月 8 日、2 月 5 日に 4 回の Web によるセミナーとグループワークを実施。他に 8 月 23 日に中間報告会、3 月 5 日に最終報告会として東京大阪会場での報告会と懇親会を実施した。グループ毎の自発的な WEB のコミュニケーションと会場での発表および交流会により人財交流を行うことができた。

【事業№3】新卒求人活動支援 関東

関東圏の学生と学校関係者を中心に、業界・協会の認知、会員企業と交流、学校関係者との継続的な関係構築を図るため、11 月 15 日(水)に Edge Tech +会場で学生および学校関係者を集め、JASA 出展企業ブースの見学ツアーおよび JASA 企業紹介および交流会を開催した。見学ツアー・企業紹介では JASA 会員企業 12 社、学生・学校関係者は 22 名参加し、交流会ではJASA会員企業 34 名、学生・学校関係者は 31 名が参加した。2024 年度以降の継続的な関係構築を継続する。

【事業№4】新卒求人活動支援 近畿

関西圏の学生と学校関係者を中心に、業界・協会の認知、会員企業と交流、学校関係者との継続的な関係構築を図るため、10 月 18 日(水)に近畿支部秋季セミナー後に交流祭典を開催した。

学生・学校関係者向けに組込みシステム業界紹介を行い、その後に交流会を行い企業と学生・学校関係者間の交流を図った。JASA 会員企業 55 名、学生 17 名の合計 80 名が参加し交流することができた。次年度に実際の採用活動に生かせるよう継続して施策を検討する。

【事業№5】新卒求人活動支援 業界研究セミナー

全国規模で学校・学生にアプローチするためWEBで12月9日土曜日に開催した。

事前に業界を説明する動画を公開することで組込みシステム業界の知を行い、当日はJASA会員企業の会社紹介を実施した。資料請求・エントリー受付も行い、学生・学校から多く活用いただいた。参加企業は10社、学生・学校関係者は17名の参加があった。参加学校・学生の範囲、規模を大きくするための2024年度は委員会内の各事業を組み合わせて効率的な広報を行う。

【事業№6】求人情報掲載

会員の求人情報を随時 JASA ホームページに継続して掲載

【事業№7】業界情報発信

JASA 機関誌「Bulletin JASA」を、広報委員会の協力を得て、年 4 回、全国約 200 校に配送。

【事業№8】学校教育参画・支援

文科省が定めた専門学校の「実践教育」に会わせ、現在以下の7校の教育事業に参画。

日本電子専門学校、HAL(東京/名古屋/大阪)、新潟情報専門学校、つくばビジネスカレッジ、早稲田文理専門学校。また、ICT CONNECTの情報収集を実施した。

3.活動成果/成果物

上記事業 No.2～8 のとおり。特筆事項はなし。

4.今後の予定[2024 年 4 月 1 日～2024 年 6 月 30 日]

【事業№1】会議(委員会、WG会議)

5 月 14 日 Web 開催 各事業の実施について検討を行う

6 月 11 日 Web 開催 各事業の実施について検討を行う

5.その他特記事項

なし

人材育成事業本部

ETEC 事業推進委員会

1.活動概要(2023 年度の事業方針)

○ ETEC 試験の普及活動(認知度向上・利用拡大)
○ 学習コンテンツ開発
○ ETEC 試験の品質管理

2.各事業についての報告

【ETEC 事業推進委員会】

日　時 5/22(月)6 名、12/18(月)6 名、1/15(月)5 名、3/18(月)4 名
場　所 Web 開催
概　要 ETEC(クラス 2)バウチャーの価格帯改善策決定、ETEC 各グレードの明文化

【ETEC 書籍編集会議】

日　時 4/28(金)6 名、5/19(金)6 名、6/19(月)7 名、8/18(金)7 名、10/12(木)6 名、1/15(月)6 名、2/19(月)6 名
場　所 Web 開催
概　要 ETEC クラス 1(中級技術者向け)書籍「設計編」「要求定義編」執筆終了。最終の「評価編」執筆中

3.活動成果/成果物

・ETEC クラス 1 配信状況

コロナ自粛期(2020 年度・2021 年度)で受験者大幅減だったが、2023 年度全体で過去平均比 115%と好調であった。

・ETEC クラス 2 配信状況

上記クラス 1 同様、2023 年度全体で過去平均比 114%と好調であった。

・ETEC(クラス 2)バウチャーの価格帯改善策決定
2023 年 9 月より、0～9 試験分(割引 0%) ⇒ 0～4 試験(発行停止) & 5 試験～(割引 5%)

・ETEC クラス 1 書籍
「設計編」「要求定義編」校了。

4.今後の予定[2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日]

法人需要(=バウチャー需要)の取り込みを検討する。
クラス 1 書籍の「評価編」を 2024 年度上期で校了予定

5.その他特記事項

特段なし

教育研修コンテンツ事業推進委員会

1.活動概要(2023 年度の事業方針)

人材育成/人材開発事業強化
教育コンテンツの整備
会員参加し易い有料セミナーの拡充
会員企業における人材育成課題のヒアリング

2.各事業についての報告(2023 度)

【事業№1】会議

・ 4 月 28 日(金)(Web 会議) 7 人出席
今年度研修講座計画策定

・ 5 月 22 日(月)(Web 会議) 6 人出席
今年度研修講座内容検討

・ 6 月 19 日(月)(Web 会議) 6 人出席
今年度研修講座内容検討

・ 7 月 25 日(火) (Web 会議) 8 人出席
今年度研修講座実施詳細検討、支部ヒアリング結果検討

・ 8 月 18 日(金) (Web 会議) 9 人出席
今年度研修講座実施詳細策策定

・ 9 月 25 日(金)(Web 会議) 6 人出席
今年度研修講座実施詳細策定

・10 月 12 日(木) Web 会議 参加者 8 名/
今年度研修講座実施詳細策定

・12 月 20 日(水) Web 会議 参加者 5 名/
今年度研修講座実施詳細策定

・ 1 月 15 日(月) Web 会議 参加者 7 名/
今年度研修講座実施詳細策定

・ 2 月 19 日(月) Web 会議 参加者 7 名/
次年度研修講座実施検討、予算策定

・ 3 月 19 日(月) Web 会議 参加者 8 名/
次年度研修講座実施検討、予算策定

【事業№2】有料セミナー運営システム
受講料の課金システムを備えた Webinar プラットフォーム“EventHub”の継続利用

【事業№3】人材育成
昨年度継続オンデマンド講座実施中、今年度研修講座を実施に向け対応中。
(3.活動成果/成果物)。

【事業№4】人材開発
今年度研修講座を実施に向け対応中。(3.活動成果/成果物)。

【事業№5】調査
なし

3.活動成果/成果物

■今年度の各研修実施状況。

◆今年度新規講座

①2023 年 9 月 25 日,10 月 5 日
ハードウェア知識(ソフトウェアエンジニア向け) 参加 66 名(うち会員 65 名)

②2024 年 1 月 17 日　　参加 44 名(うち会員 43 名)
OSS ライセンス・コンプライアンス(基礎)
2024 年 1 月 31 日
OSS ライセンス・コンプライアンス(事例)

③2024 年 2 月 7 日、21 日
IoT セキュリティ(基礎)　　参加 15 名(うち会員 11 名)

中計 参加 125 名(うち会員 119 名) 受講料 1,135,000 円

◆オンデマンド講座(昨年度以前実施分録画再生) 今年度実施分
①2023 年 9 月 11 日～11 月 30 日
アジャイル開発導入基礎講座 参加 2 名(うち会員 1 名)
②2023 年 9 月 11 日～11 月 30 日
アジャイル開発実践講座　参加 1 名(うち会員 0 名)
③2023 年 9 月 11 日～11 月 30 日
要件定義シリーズⅠ 要件定義の本質が学べる実践セミナー　参加 8 名(うち会員 7 名)
④2023 年 9 月 11 日～11 月 30 日
要件定義シリーズ Ⅱ要求を正確に実装するための設計セミナー 参加 3 名(うち会員 2 名)

中計 参加 14 名(うち会員 10 名) 受講料 130,000 円

【合計】参加 139 名(うち会員 129 名) 受講料 1,265,000 円

◆今年度講座開発および講師委託費用
①ハードウェア知識(ソフトウェアエンジニア向け)
②OSS ライセンス・コンプライアンス(基礎)
OSS ライセンス・コンプライアンス(事例)
③IoT セキュリティ(基礎)
④プロジェクトマネジメント基礎(PMBOK ベース) (実施は 2024 年度)

合計 920,000 円

【収支合計】345,000 円 (EVENTHUB 利用料、クレジットカード手数料除く)

4.今後の予定[2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日]

1)2024 年度実施講座内容詳細検討

◆新規予定講座
① プロジェクトマネジメント基礎(PMBOK ベース) Q2
② ハードウェア知識(ソフトウェアエンジニア向け) Q3
③ OSS ライセンス基礎 Q4
④ 人材活用パネルディスカッション・AI が浸透していく環境で新たな人材配置
(EdgeTech+内)

◆新規実施検討中
① 生成 AI 関連
② アジャイル開発受注・準委任契約の留意点
③ IoT 俯瞰 ～データ収集分析、AI 対応
④ 情報保護＋守秘義務(開発者のコンプライアンス)

◆オンデマンド講座予定(昨年度以前実施分録画再生)
① IoT セキュリティ(基礎)
② 要件定義シリーズ 1 要件定義の本質が学べる実践講座

③ 要件定義シリーズ 2 要求を正確に実装するための設計講座
④ アジャイル開発導入基礎講座
⑤ アジャイル開発実践講座

2)支部会へのリアル参加にて育成、研修の要望ヒアリング継続。

3)会員向け講座参加案内発信および運営会議、支部会での案内。

5.その他特記事項

なし。

高齢者雇用推進ワーキンググループ（2022/2023 年度 雇用推進機構受託業務）

1.活動概要(2023 年度の事業方針)

○ 組込みシステム業の高齢者雇用推進ガイドラインの作成
○ 高齢者雇用推進の周知・啓蒙活動

2.各事業についての報告

日 時 5/29(月)12 名(Web)、7/18(火)12 名、10/5(木)11 名(web)
概 要 組込みシステム業の高齢者雇用推進ガイドラインの製作
11/16(木)9 名(関東セミナー会場)、12/13(水)7 名(関西セミナー会場)
2/2(金) 12 名 受託事業の報告書作成

3.活動成果/成果物

・「組込みシステム業高齢者雇用推進の手引き」の製作

10 月に製本を完成し、11 月 1 日に JASA 会員(正会員・支部会員)に 2 部ずつ郵送。
関東セミナー(11 月)で 44 部、関西セミナー(12 月)で 14 部配付。

・高齢者雇用推進セミナー(関東)

日 時：11 月 16 日(木) 10:30～12:00 会場：パシフィコ横浜(EdgeTech+2023 会場)
参加者：44 名

・高齢者雇用推進セミナー(関西)

日 時：12 月 13 日(水) 13:30～15:00 会場：アットビジネスセンター大阪梅田
参加者：14 名

・高齢者雇用推進セミナー (オンデマンド配信)

セミナー講演を撮影し、3 月より、youtube「JASA」チャンネルで配信開始、JASA ホームページ「公開資料(人事・教育)」で公開。
同時に、「組込みシステム業高齢者雇用推進の手引き」を PDF 形式ダウンロード設定

2022 年度・2023 年度 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構委託 産業別高齢者雇用推進事業を終了した。

寄附講座事業(海外人材インターンシップ事業)

1.活動概要(2023 年度の事業方針)

2020 年度より、昨年年度まで実施したスリランカ組込みエンジニア育成補助事業(経済産業省)の委託事業の継続事業として修了者とのマッチング実施し、対象者のインターンシップを実施

2.各事業についての報告

一般財団法人海外産業人材育成協会(AOTS)様の補助事業(寄附講座)に採択され実施

3.活動成果/成果物

1:現地(ハイブリッド)で日本の製品開発の品質管理座学を実施:5月
2:日本でインターンシップ実施:6月～10月(受入れ企業4社8名で実施)
参加企業:
・株式会社ハイスポット様
・柳井電機工業株式会社様
・半田重工業株式会社様
・株式会社ブライセン様
インターンシップ修了者 7名が受入れ企業各社への採用に向け調整中

外国人技術者教育研修ＷＧ

1.活動概要(2023 年度の事業方針)

人材育成/人材開発事業強化
・外国人材育成教育コンテンツの整備
・会員企業の外国人材育成支援
・会員企業の外国人材採用支援

2.各事業についての報告

【事業№1】事業推進のための、相談・報告・運営会議

2023年10月18日(水)11:00 第1回目WG会議実施
・今年度寄附講座参加企業中心にWG立ち上げ、今年度の進捗や課題検討
2023年度課題認識
①受入れ企業の事前準備不足
②日本語教育導入の必要性
③インターンシップ生とのコミュニケーション
④その他

2023 年 11 月 21 日(火)10:00 第 2 回目 WG 会議実施
・来年度計画に向けて、対象国追加や参加人数目標の設定など検討
2024年度運営方針検討
①対象国の拡大
⇒ スリランカに加えて、AOTSがコネクションのあるタイ、マレーシアに関して調査
②日本語基礎講座コンテンツの作成
③寄付講座
⇒ 組込み技術基礎、ロボット制御、品質管理、日本語基礎、日本文化
④2023年度中に申請書作成、4月、5月寄付講座、6月～11月インターンシップ予定
⑤2023年12月中に参加企業を募集
⑥その他

2024 年 1 月 10 日(水)13:00 第 3 回目 WG 会議実施
・対象国の拡大について
⇒ スリランカに加えて、AOTSがコネクションのあるタイ、マレーシアに関して調査
2024年度には調査不足で、2025年度以降に検討する
寄付講座
⇒ 組込み技術基礎、ロボット制御、品質管理、日本語基礎、日本文化で計画

2023年度中に申請書作成、4月、5月寄付講座、6月～11月インターンシップ予定

2023年12月中に参加企業を募集
その他

2024 年 2 月 29 日(木)13:30 第 4 回目 WG 会議実施
・10時半よりAOTSとの打合せ
大学、担当教授、インターンシップ受入れ企業の確定を実施すること
➡ 本件、JASAは寄付金が出せないので、AOTSで再検討
➡ 4月1日の審議会に間に合わない状態なので、4月中旬を目標に進める寄付講座
⇒ 組込み技術基礎、ロボット制御、品質管理、日本語基礎、日本文化
申請書の最終確認と作成を推進する

3.活動成果/成果物
2024 年度計画立案

ET 技術者教育委員会

1.活動概要(2023 年度の事業方針)
複雑化する組込み開発の人材育成を目的としたコンテスト「ET ソフトウェアデザインロボットコンテスト」の企画および運営全般

2.各事業についての報告
【事業№4】ET 技術者教育委員会(ET ロボコン)
全国地区大会及びチャンピオンシップ大会における競技会と付随する技術教育・モデリングワークショップなどの実施・運営

3.活動成果/成果物
ETロボコン2023開催発表会: 2023年2月14日(火)13:00～15:00、ZOOM、参加171名
参加チーム・スポンサー募集: チーム募集期間 2023年2月14日～21日、スポンサー(全国・地区)
2023実施概要: 全体 193チーム (エントリークラス 45 プライマリークラス 125 アドバンスト 23)

技術教育フォロー会、独自勉強会、モデル相談会、試走会等:

4月29日	中四国地区(春の独自勉強会)
5月13日	東京・北関東地区(参加チーム向けキックオフ)、南関東地区(はじめての技術教育)
5月19日	参加チーム向けキックオフ
5月20日	北海道地区、南関東地区、中四国地区(技術教育フォロー会)
5月27日	東海地区、関西・北陸地区、九州北・九州南地区、沖縄地区(技術教育フォロー会)
5月28日	東北地区(技術教育フォロー会)
6月 3日	東京・北関東地区、南関東地区(技術教育フォロー会)
6月10日	北海道地区、九州北・九州南地区(技術教育フォロー会)

6月17日　東北地区、中四国地区(技術教育フォロー会)
南関東地区(モデル相談会)、TOPPERS活用セミナー
6月24日　北海道地区、東海地区(モデル相談会)
7月 1日　東京・北関東地区、関西・北陸地区、九州北・九州南地区、沖縄地区
(技術教育フォロー会)
7月 8日　東海地区(試走会)、南関東地区(モデリングスペシャルセミナー)、
中四国地区(夏の独自勉強会)
7月22日　東北地区、中四国地区、九州南地区(試走会)
沖縄地区(試走会、モデル相談会)
7月24日-26日 エントリークラス大会向け試走会1
7月27日-28日 EdgeTech+ West 2023展示会、セッション開催
7月29日　九州北地区(試走会)、東海地区(モデリング相談会)
7月30日　北海道地区(試走会)
7月29日-30日 東京・北関東地区(試走会、モデル相談会)
8月 5日　南関東地区(試走会、モデル相談会)
8月 6日　関西・北陸地区(試走会)
8月19日　九州南地区、沖縄地区(試走会)
8月26日　東北地区、中四国地区(試走会)
8月26日-27日 東京・北関東地区(試走会)
9月 2日　北海道地区、東海地区、九州北地区(試走会)
9月 9日　東北地区(独自試走会)
9月10日　関西・北陸地区(試走会)
9月16日　東北地区(独自試走会)
9月23日　南関東地区(試走会)
9月20日-27日 エントリークラス大会向け試走会2
10月 8日　中四国地区(秋の独自勉強会)

地区大会(プライマリークラス、アドバンストクラス):
9月17日　北海道地区大会
10月 8日　東北地区大会
9月17日　東京・北関東地区大会:
10月 7日　南関東地区大会
9月23日　東海地区大会
10月 1日　関西・北陸地区大会
9月17日　中四国地区大会
10月 1日　九州北・九州南地区大会
9月30日　沖縄地区大会

エントリークラス大会(オンライン): 10月22日(日)

競技部門
優勝

チーム名	ＣＩＣフィフティイヤーズ
所属	株式会社ＣＩＣ

モデル部門
ゴールドモデル

チーム名	BiTS
所属	パナソニックITS株式会社

総合部門
優勝

チーム名	ＣＩＣフィフティイヤーズ
所属	株式会社ＣＩＣ

準優勝

チーム名	BiTS
所属	パナソニックITS株式会社

３位

チーム名	ＯＳＫ２０２３ー新人Ｄ
所属	株式会社ＯＫＩソフトウェア

c

チャンピオンシップ大会: 11月15日(水)テスト走行、16日(木)競技会、17日(金)モデリングワークショップ

プライマリークラス

競技部門

優勝

チーム名	ITS Labo
所属	パナソニックITS株式会社

準優勝

チーム名	ヒット＆ラン
所属	八戸工業大学 工学部

３位

チーム名	KERT-B3
所属	九州産業大学・株式会社マイナビEdge

モデル部門

見るべきモデル大賞

チーム名	ＭＳ＆ＡＤモード２Ｐ	チーム名	湘南MilkyWay
所属	ＭＳ＆ＡＤグループ （三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保、ＭＳ＆ＡＤシステムズ）	所属	コマツ ICTシステム開発センタ/自動化開発センタ

アドバンストクラス

競技部門

優勝

チーム名	HELIOS
所属	株式会社アドヴィックス

準優勝

チーム名	D:Drive/re
所属	株式会社デンソー

３位

チーム名	Smart SPiNaCH
所属	九州産業大学理工学部情報科学科

モデル部門

エクセレントモデル

チーム名	HELIOS
所属	株式会社アドヴィックス

ゴールドモデル

チーム名	MICHIKUSA
所属	富士フイルムビジネスイノベーション株式会社

シルバーモデル

チーム名	ぼんばーがーる
所属	日本工学院北海道専門学校情報処理科

総合部門

優勝

チーム名	HELIOS
所属	株式会社アドヴィックス

準優勝

チーム名	D:Drive/re
所属	株式会社デンソー

３位

チーム名	Smart SPiNaCH
所属	九州産業大学理工学部情報科学科

特別賞

IPA賞

チーム名	HELIOS
所属	株式会社アドヴィックス

TOPPERS賞

チーム名	D:Drive/re
所属	株式会社デンソー

若手奨励賞

チーム名	ヒット＆ラン
所属	八戸工業大学 工学部

全国企画会議:

12月16日 場所:福井市総合ボランティアセンター　参加者20名

内容:2024年度大会開催に向けた実行委員会議

ETロボコン2024開催発表会(オンライン開催):

2月14日　13:00～15:00、参加者173名

2月14日	開催発表会内容
ETロボコン 2024開催概要	ETロボコン本部運営委員長　櫻井　隆　　氏 ・人材育成でなぜETロボコンを採用されるのか？
競技内容	ETロボコン本部技術委員長　引地　政征　氏 ・気になるETロボコン2024の競技やコースをいち早くお伝え
審査内容	ETロボコン本部審査委員長　高橋　寛之　氏 ・設計技法がなぜ必要とされるか？
ETロボコン 2024への期待	ETロボコン本部実行委員長　星　　光行　氏
ETロボコン参加団体による活用事例紹介	
所属団体名	コマツ 九州産業大学 株式会社マイナビEdge

4.今後の予定[2024年4月1日～2025年3月31日]

ETロボコン2024 参加チーム募集中(4月19日まで)

JASA イノベーションチャレンジ実行委員会

1.活動概要(2023 年度の事業方針)

DX 推進に貢献できるビジネス指向人材の育成を目的としたコンテストの企画および運営全般
（旧 DX イノベーションチャレンジ）

2.各事業についての報告

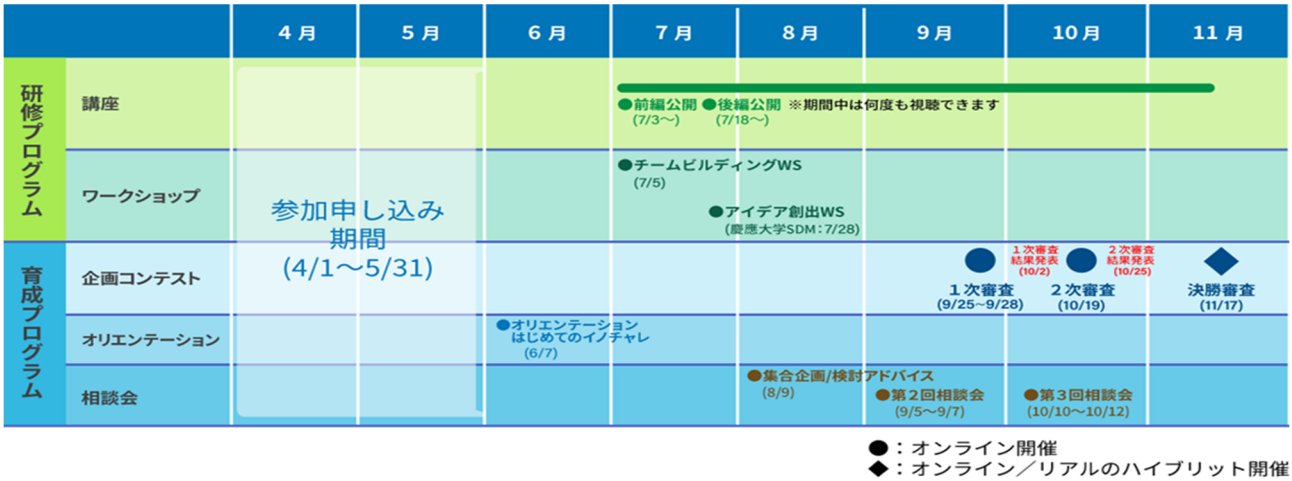
【事業№1】目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)

書類審査、一次審査、決勝大会等における審査会の開催と付随するセミナー・相談会・チームビルディングワークショップなどの実施・運営(決勝大会を除き、すべてデジタル開催とする)

イノベーションチャレンジとは

新たな目的に向かって事業を牽引する「トランスフォーム人材」や変革に対応するための「提案型人材」を育成することを目的とします。基礎的な理論を習得し、幅広い知識を得るとともに、動画によるオンデマンド学習、ワークショップなどを通じて、思考力、企画力などの実践的な力を鍛える。

プログラム



スケジュール

決勝審査 11月17日(金) 13:30～「EdgeTech+ 2023」センターステージ

会場とオンライン配信のハイブリット形式で決勝大会を開催
審査員と視聴者に向けて、今までにないビジネス企画をプレゼンテーション！
5分間のプレゼンテーションと審査員との質疑応答により順位決定！
タイムテーブル
13:30～13:40 オープニング 主催挨拶
13:40～14:25 ファイナリストプレゼンテーション(3チーム)
(1チームあたり5分間のプレゼンテーションと8分間の質疑応答)
・MSS ink.　明電システムソリューション株式会社
・Yearn IT　株式会社エヌアイデイ
・ZeroIchi　株式会社日新システムズ

14:55～15:40 ファイナリストプレゼンテーション(3チーム)
・NEXTCAC　株式会社シーエーシー
・タンメンタイガース　　インフォテック株式会社/同志社大学
・SDCs　　株式会社ソルクシーズ/DeruQui
(横浜市立大学大学院、立命館アジア太平洋大学、慶應義塾大学)
15:40～16:20 来年度開催案内 ／ 審査会
16:20～16:50 表彰式、閉会式

受賞チーム
優　勝 NEXTCAC 株式会社シーエーシー
準優勝 SDCs　株式会社ソルクシーズ/DeruQui
(横浜市立大学大学院、立命館アジア太平洋大学、慶應義塾大学)
第 3 位 タンメンタイガース（インフォテック株式会社/同志社大学）
特別賞 MSS ink.（明電システムソリューション株式会社）

3.活動成果/成果物

4.今後の予定[2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日]
2024 実施計画の決定・告知
仮説検証～ブートキャンプ ～VUCA ワールドを制する短期集中トレーニング～

5.その他特記事項

技術本部

1.活動概要(2023 年度の事業方針)
会議(委員会、WG会議)
技術本部セミナー(EdgeTech+ 2023)など、技術本部・各委員会の成果を発表する

2.各事業についての報告
【事業№1】会議(委員会、WG会議)
目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)

技術本部予算意見交換
日時:2024 年 1 月 29 日(月)13:00～17:00
場所:JASA 会議室(WEB 会議)

【事業№2】成果発表会
目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)
各委員会の前年度の活動成果を、会員や一般向けに発表する。
前回理事会にて報告済み

日　時 2023 年 6 月 3 日(金)12:55～17:10
場　所 一般財団法人 日本教育会館 及び WEB 会議
発表委員・WG
12:55～ 開会
13:00～ 安全性向上委員会
13:20～組込みシステムセキュリティ委員会

13:40～ ドローン WG
14:00～ IoT 技術高度化委員会
＜ 休 憩 ＞
14:35～ スマートライフ WG
14:55～ OSS 活用 WG
15:15～ AI 研究 WGWG
15:35～Open EL 活用 WG
＜ 休 憩 ＞
16:10～ 組込み IoT モデリング WG
16:30～ デバイス WG
16:50～ RISC-V WG

最優秀　RISC-V WG
優　秀　スマートライフ WG
優　秀　Open EL 活用 WG
"特別賞(会長賞)" IoT 技術高度化委員会

【事業№3】技術本部セミナー(EdgeTech+ West 2023)
目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)
EdgeTech+ West 2023 JASA 技術本部セミナーを開催。
技術本部各委員会の中間成果を中心にセミナーを実施する
2023 年 7 月 27 日 JASA セミナーを実施

JASA 技術本部セミナー(1) OpenEL 活用 WG 10:15～11:00
「OpenEL が変える組込みシステム開発
～対応デバイスの更なる増加、仮想シミュレーション環境との連携を実現～」
JASA 技術本部 副本部長 OpenEL 活用 WG 主査 中村 憲一氏
Web 事前登録者 16 名(当日参加者目視:11 名)

JASA 技術本部セミナー(2) RISC-V WG 11:15～12:00
「オープンな仕様で会員が自由に活用できる RISC-V プラットフォーム整備へ」
ハードウェア委員会 RISC-V WG 主査 小檜山 智久氏
Web 事前登録者 16 名(当日参加者目視:10 名)

JASA 技術本部セミナー(3) 組込みシステムセキュリティ委員会 12:15～13:00
「組込みシステムセキュリティ委員会の 23 年度以降の動向
～セキュリティ教育の現状と認定制度について～」
組込みシステムセキュリティ委員会 副委員長 牧野 進二氏
Web 事前登録者 48 名(当日参加者目視:28 名)

JASA 技術本部セミナー(4)コモングラウンド委員会 13:15～14:00
「コモングラウンド実現に向けたエッジデバイスの役割」
コモングラウンド委員会 委員長 國井 雄介氏
Web 事前登録者 22 名(当日参加者目視:14 名)

JASA 技術本部セミナー(5) ドローン WG 14:15～15:00
「JASA ドローン WG 成果紹介とドローン活用について～23 年度までのドローン WG 成果～」
コモングラウンド委員会 ドローン WG 主査 牧野 進二氏

Web 事前登録者 23 名(当日参加者目視:12 名)

JASA 技術本部セミナー(6) スマートライフ WG 15:15～16:00
「笑う門には福来る 感情を分析し笑顔を促す仕組みの提案」
コモングラウンド委員会 スマートライフ WG 主査 加藤 恭弘氏
Web 事前登録者 17 名 (当日参加者目視:15 名)

【事業№4】技術本部セミナー(EdgeTech+ 2023)
目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)
EdgeTech+ 2023 JASA 技術本部セミナーを開催。
技術本部・各委員会の成果を発表する。
技術本部・各委員会の成果を発表する。
11.15(水) 10:30～17:00 展示会場内 Room D

【D1-01】11.15(水) 10:30～11:00
複雑システムの安全分析/STAMP～システミック思考にもとづく安全分析のパラダイムシフト
兼本 茂氏(安全性向上 WG 主査 /会津大学 名誉教授)
事前登録者数 35 名/実視聴者数 16 名

【D1-02】11.15(水) 11:15～11:45
コンテナ技術活用におけるセキュリティ対策の勘所
飯嶋 範崇氏(組込みシステムセキュリティ委員会委員 /
デジタル・インフォメーション・テクノロジー㈱IT セキュリティ事業部 執行役員)
事前登録者数 67 名/実視聴者数 40 名

【D1-03】11.15(水) 12:00～12:30
Society5.0 実現に向けたエッジデバイスの役割～コモングラウンド委員会活動紹介～
國井 雄介氏(コモングラウンド委員長 /㈱クレスコ
インダストリアルビジネス本部 エマージングテクノロジーオフィス室長)
事前登録者数 53 名/実視聴者数 28 名

【D1-04】11.15(水) 12:45～13:15
笑う門には福来る 笑顔を促す感情分析技術の提案
加藤 恭弘氏(スマートライフWG 主査 /㈱クレスコ デジタルテクノロジースペシャリスト)
事前登録者数 40 名/実視聴者数 19 名

【D1-05】11.15(水) 13:30～14:00
OSS による LSI 開発 OpenEDA と RISC-V(update)
竹岡 尚三氏(OSS 活用 WG 主査 /㈱アックス 代表取締役社長)
事前登録者数 64 名/実視聴者数 35 名

【D1-06】11.15(水) 14:15～14:45
組込 AI の現状の紹介と、組込みでの生成 AI の可能性について
中村 仁昭氏(AI 研究 WG 主査/(株)Bee 最高技術責任者)
事前登録者数 145 名/実視聴者数 84 名

【D1-07】11.15(水) 15:00～15:30
OpenEL が変える組込みシステム開発

中村 憲一氏(OpenEL 活用 WG 主査 /アップウィンドテクノロジー・インコーポレイテッド
代表取締役社長)
事前登録者数 50 名/実視聴者数 34 名

【D1-08】11.15(水) 15:45～16:15
オープンな仕様で自由に活用できる RISC-V プラットフォームの整備
小檜山 智久氏(ハードェア委員会 RISC-V WG 主査)
事前登録者数 56 名/実視聴者数 32 名

【D1-09】11.15(水) 16:30～17:00
組込み技術におけるハードェアの必要性とデバイス WG の今後の活動
吉田 耕司氏(デバイス WG 主査/アイ・マーキュリー(株)R&D ソリューション部)
事前登録者数 47 名/実視聴者数 20 名

【事業№5】技術本部・各委員会の成果を発表する
目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)
EdgeTech+2023 JASA ブースにおいて、PR 活動を行う。
主に JASA 会員に対する AI 技術振興を行う。
スタートアップの先端技術の情報を JASA 会員で共有できるように支援する
事業活動なし

【事業№5】技術本部・各委員会の成果を発表する
目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)
EdgeTech+2023 JASA ブースにおいて、PR 活動を行う。
主に JASA 会員に対する AI 技術振興を行う。
スタートアップの先端技術の情報を JASA 会員で共有できるように支援する
事業活動なし

3.活動成果/成果物

4.今後の予定[2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日]

安全性向上委員会

1.活動概要(2023 年度の事業方針)

- AI や IoT(含むセキュリティ)に代表される複雑システムの機能安全の課題や国際規格に関しての調査・研究を行う。成果は積極的に情報発信していく。
- STAMP モデルをコア技術とした安全設計や事故分析の事例を蓄積し、技術者の啓発活動に役立てる。
- 安全設計にかかわる仕様書において、その論理性や非機能要件の明示化にかかわる問題点を整理して改善のための議論をする。
- 上記で得た知見を整理し、セミナーなどでの啓発活動を行う。加えて、有識者に指導をいただき、さらに知見を高める。そのためにも、大学、研究機構、IPAなど外部組織・団体との技術交流、連携を積極的に推進する。
- 「つながる社会での機能安全」、「安全仕様化」、「啓発・連携」 の 3 つを委員会内 WG として設置する。

2.各事業についての報告

【事業№1】会議(委員会、WG会議)
目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)

- 定例会にて各WGの活動を行う。
- JASA 内での他の委員会(特にセキュリティ委員会)との合同での研究会を行い、Safety＆Security の考え方をまとめる。
- STAMPーWS への投稿。
- 安全設計セミナーの開催。
- 上記を通じ、委員各位の知見を深めるとともに JASA 会員企業へ複雑システムの安全設計に関する考え方の普及啓発を行う。

日　時 2023 年 4 月 21 日(金) 14:00～17:00
場　所 JASA 会議室＆WEB会議（ハイブリッド）
参加者 15 名/10 社
概　要 推進体制として 3WG 体制を決定し、各 WG の今年度計画について確認(イベント、成果発表会含む)

- 「つながる社会での機能安全」WG
  AI/IOT に関する原則・ガイドラインで安全性に関する項目を調査して纏める
- 安全仕様化WG
  設計・分析方法を事例ベースで検討する
- 啓発・連携 WG
  教育サービスの方法と内容について(オンライン教育)実施方法・体制等議論
- 協業(㈱タダノ)
  STAMP の実適用支援としてタワークレーンの遠隔操作を取り上げることの要望を受けた

成　果
今年度活動計画
㈱タダノにおける安全性分析事例

日　時 2023 年 5 月 26 日(金) 14:00～17:00
場　所 JASA 会議室＆WEB会議（ハイブリッド）
参加者 16 名/10 社
概　要 安全性向上に関する報告及び技術論と普及のための計画に関する議論

- 「つながる社会での機能安全」WG
  IPA と連携して海技研(海上技術安全研究所)との意見交換を計画。6 月 16 日に IPA にて実施することを決定。そのための準備の分担を決定。
- 協業(㈱タダノ)
  遠隔操作方式のシステム構成、機能構成、安全責任構成の確認と分析アプローチの検討

成　果
㈱タダノにおける安全性分析事例

日　時 2023 年 6 月 16 日(金) 14:00～17:00
場　所 JASA 会議室＆WEB会議（ハイブリッド）
参加者 16 名/10 社
概　要 外部研究機関とSTAMPに関して意見交換
・IPAのSTAMP普及活動紹介
・JASA安全性向上委員会紹介
・安全工学会提出論文紹介
・海技研様論文紹介
海技研 柚井様から「船舶分野におけるリスク評価について ～STAMP/STPAを中心に～」について海技研での研究を含め紹介され、その後意見交換

成　果
　　海技研における安全性分析研究内容と計画の入手。連携関係の樹立と知見獲得。

日　時 2023 年 6 月 23 日(金) 14:00～17:00
場　所 JASA 会議室＆WEB会議（ハイブリッド）
参加者 16 名/10 社
概　要 安全性向上に関する報告及び技術論と普及のための計画に関する議論
- 「つながる社会での機能安全」WG
  海技研(海上技術安全研究所)と意見交換実施結果の共有
- 安全仕様化WG
  事例紹介と議論
  ACC利用による事故が高速道路で多発。工事現場の認識不能(想定外)
  シーサイドライン事故 技術者が書類送検された
- 協業(㈱タダノ)
  遠隔操作方式の制御構図作成のための議論

成　果
　　㈱タダノにおける安全性分析事例

日　時 2023 年 7 月 21 日(金) 14:00～17:00
場　所 JASA 会議室＆WEB会議（ハイブリッド）
参加者 15 名/10 社
概　要 安全性向上に関する報告及び技術論と普及のための計画に関する議論
- 「つながる社会での機能安全」WG
  AI の安全性にかんする資料紹介と議論
- 安全仕様化WG
  事例紹介と議論
  ヨーロッパ STAMMP WS から穿破宇自動操船に関する資料紹介と議論
- 協業(㈱タダノ)
  議論の範囲を深堀していくために、㈱タダノが開示する情報を具体化するために本委員会メンバーと JASA のあいだで改めて NDA を結び、さらに JASA と㈱タダノの間で、NDA を締結することとした。
  ㈱タダノから、委員会の助言に従って作成した制御構造図の提供を受けて議論。

成　果
　　㈱タダノにおける安全性分析事例

日　時 2023 年 8 月 25 日(金) 14:00～17:00
場　所 JASA 会議室＆WEB会議（ハイブリッド）
参加者 16 名/10 社
概　要 安全性向上に関する報告及び技術論と普及のための計画に関する議論
- 「つながる社会での機能安全」WG
  Edge-Tech2023 での本委員会からの講演計画を作成。
- 協業(㈱タダノ)
  ㈱タダノのほかに委員から制御構造図が提案され STPA の思想まで踏み込んで議論し、不安全制御指示(UCA)分析ができるレベルに到達した。

成　果
　　㈱タダノにおける安全性分析事例

日　時 2023 年 9 月 29 日(金) 14:00～17:00
場　所 JASA 会議室＆WEB会議（ハイブリッド）
参加者 13 名/10 社
概　要 安全性向上に関する報告及び技術論と普及のための計画に関する議論

- 「つながる社会での機能安全」WG
  Edge-Tech2023 での本委員会からの講演計画を作成
  講演テーマ:「複雑システムの安全分析／STAMP
  ～システミック思考にもとづく安全分析のパラダイムシフト～」
- 協業(㈱タダノ)
  宿題で作って来ていただい制御構造図をもとに CS 図のレビューと UCA の抽出の議論を行った。全体機能の中から玉掛け(かけるまで)に絞って進めた。

成　果 ㈱タダノにおける安全性分析事例

日　時 2023 年 10 月日(金) 14:00～17:00
場　所 JASA 会議室＆WEB会議（ハイブリッド）
参加者 16 名/10 社
概　要 安全性向上に関する報告及び技術論と普及のための計画に関する議論

- 「つながる社会での機能安全」WG
  論文紹介:「大規模言語モデルによるコード合成のためのハザード分析フレームワーク」
- 協業(㈱タダノ)
  宿題で作って来ていただい HCF 表をもとに議論を行った。
  人と、機械と外部環境が絡むことから IPA で作成したヒントワードを参考に HCF を分析。
  キーは、コンテキストを条件に分析すること。

成　果 ㈱タダノにおける安全性分析事例

日　時 2023 年 11 月 16 日(木) 15:00～17:00
場　所 村田製作所みなとみらいイノベーションセンター
参加者 10 名/9 社
概　要 安全性向上に関する報告及び技術論と普及のための計画に関する議論

- 安全設計セミナーWG
  今年度のオンラインセミナー計画について議論。
- 協業(㈱タダノ)
  クレーン作業(荷物のつり上げ～目的地点への移送完了)前提を通した STAMP 分析を議論。

成　果 ㈱タダノにおける安全性分析事例
　　セミナー計画

日　時 2023 年 12 月 22 日(金) 14:00～17:00
場　所 JASA 会議室＆WEB会議（ハイブリッド）
参加者 14 名/10 社
概　要 安全性向上に関する報告及び技術論と普及のための計画に関する議論

- 安全設計セミナーWG
  2023 年度オンラインセミナー計画
  開催日程【第 1 回】:2023 年 2 月 28 日(水) 14:00-17:00
  【第 2 回】:2023 年 3 月 6 日(水) 14:00-17:00
  【第 3 回】:2023 年 3 月 13 日(水) 14:00-17:00

開催形式
2/28、3/13:オンライン形式(※Cisco WebEX を使用)
3/6:オンサイト形式　※開催場所:JASA 事務局本部

- 協業(株)タダノ)
  宿題で作って来ていただい HCF(ロスシナリオ)表をもとに議論を行った。

成　果 ㈱タダノにおける安全性分析事例

日　時 2024 年 1 月 26 日(金) 14:00～17:00
場　所 JASA 会議室＆WEB会議（ハイブリッド）
参加者 16 名/11 社
概　要 安全性向上に関する報告及び技術論と普及のための計画に関する議論

- 安全設計セミナーWG
  2023 年度オンラインセミナー計画
  講師確定　【第 1 回】:2023 年 2 月 28 日(水) 小水氏、竹市氏、岡田氏
  【第 2 回】:2023 年 3 月 6 日(水) 三原氏、石井氏
  【第 3 回】:2023 年 3 月 13 日(水) 兼本先生、岡本先生
- 協業(株)タダノ)
  今まで行ってきた分析作業の中で出てきた疑問に関する議論
- 啓発・連携 WG
  羽田空港衝突事故に関する安全性分析の視点から意見交換

成　果 ㈱タダノにおける安全性分析事例
事故分析事例

日　時 2024 年 2 月 21 日(水) 14:00～17:00
場　所 WEB会議
参加者 16 名/13 社
概　要 安全性向上に関する報告及び技術論と普及のための計画に関する議論

- 安全設計セミナーWG
  2023 年度オンラインセミナー講演内容のレビュー
- 協業(株)タダノ)
  主要アクション(移動・停止)の HCF(ロスシナリオ)表のレビュー

成　果 ㈱タダノにおける安全性分析事例

日　時 2024 年 3 月 15 日(金) 14:00～17:00
場　所 WEB会議
参加者 15 名/13 社
概　要 安全性向上に関する報告及び技術論と普及のための計画に関する振り返り

- 安全設計セミナーWG
  2023 年度オンラインセミナー講演内容の振り返り
- 協業(株)タダノ)
  STAMP/STPA を適用した安全性分析の纏め
- 2024 年度活動計画議論
  テーマ:技術セミナー(年 2 回)、SW の安全性、AI の安全性

成　果 ㈱タダノにおける安全性分析事例
2024 年度計画

【事業№2】つながる社会での機能安全」WG

目的

つながる社会での機能安全の課題検討、特に AI・IoT(含むセキュリティ)がかかわる複雑システムの安全にかかわる課題を検討する。

業務概要(事業計画詳細:事業予算)

・AI/IoTエッジの安全について理解を深める。

・Safety＆Security(S&S)の考え方をまとめ、外部に発信する。

・STAMP/STPA/CAST にかかわる事例を集め、つながる社会での機能安全に役立つ考え方としてまとめる

【事業№3】安全仕様化WG

目的

委員会活動の成果を発信し、社会啓発に資する。また、委員会内の交流を促進する。

業務概要(事業計画詳細:事業予算)

・Safety＆Security(S&S)の考え方をまとめ、外部に発信する。

・安全が関わる要求を仕様化するプロセスを研究し、プロセスモデル又は手法を提案する。啓発・学術活動として、セミナー講師の派遣、学会や技術誌への投稿を行う。

・安全誘導型設計プロセスモデルを重点課題とし、自主的に活動し、相互啓発を図る。

・手法として、意図・要求記述手法や、形式検証手法、安全解析手法に取組む。

・AI/IoTエッジの安全について理解を深める。

・STAMP/STPA/CAST にかかわる事例を集め、つながる社会での機能安全に役立つ考え方としてまとめる

【事業№4】啓発・連携WG

目的

委員会活動の成果を発信し、社会啓発に資する。また、委員会内の交流を促進する。

業務概要(事業計画詳細:事業予算)

・安全設計セミナー、STAMPセミナーの開催

・STAMP－WS開催支援

・合宿の企画(9月または10月)

・外部との交流の中からオープンイノベーションの機会を増やしていく。

・会合は原則、委員会と一体で進めるが、議案は独立に扱う。

【事業№5】安全設計セミナーWG

目的

委員会活動の成果を発信し、安全技術の普及を行う。

業務概要(事業計画詳細:事業予算)

・安全設計セミナーの開催(JASA 内、企業出張)

・STAMP／STPAを中心に行う。

・聴講者との交流も深める。

・開催要領作成、開催支援は委員会と一体で進める。

3.活動成果/成果物

- 海技研における安全性分析研究内容と計画と連携関係の樹立と知見獲得。
- ㈱タダノにおける安全性分析事例

4.今後の予定[2024 年 4 月 19 日～2025 年 3 月 31 日]

4 月 19 日(金)第　1 回委員会(JASA 会議室)

5 月 17 日(金)第　2 回委員会(JASA 会議室)

6 月 21 日(金)第　3 回委員会(JASA 会議室)
7 月 19 日(金)第　4 回委員会(JASA 会議室)
8 月 23 日(金)第　5 回委員会(JASA 会議室)
9 月 20 日(金)第　6 回委員会(JASA 会議室)
10 月 18 日(金)第　7 回委員会(JASA 会議室)
11 月 21 日(木)第　8 回委員会(ET 会場近く)
12 月 13 日(金)第　9 回委員会(JASA 会議室)
1 月 17 日(金)第 10 回委員会(JASA 会議室)
2 月 21 日(金)第 11 回委員会(JASA 会議室)
3 月 14 日(金)第 12 回委員会(JASA 会議室)

5.その他特記事項

特になし

組込みシステムセキュリティ委員会

1.活動概要(2023 年度の事業方針)

1.JASA 版「組込みセキュリティ教材」のコンテンツ開発、コンテンツの配信(有償化)
IPA「IoT セキュリティ」教材」を基にした、JASA 版「組込みセキュリティ教材」のコンテンツ開発を行い、有償セミナーとして、動画配信を行い、
収益に繋げる。開発したコンテンツを ETEC 試験制度の事業に展開し、セキュリティ認定制度の立ち上げを実施する。

2.サイバーセキュリティ国際規格の動向調査、セミナーコンテンツ開発、コンテンツの配信(有償化)
サイバーセキュリティの国際規格として、EU の EN303 645 規格、米国の NISTIR8259 など、コンシューマ用途の IoT 機器向けの規格調査を行い、
セミナー用の動画コンテンツを開発し、コンテンツの配信を行い、収益に繋げる。

3.IoT セキュリティの国際安全基準適合の認証取得、対応証明事業の立ち上げ
IoT 機器、組込み開発分野で利用される国際規格の調査を実施し、組込み開発会社にて認定を取る場合の支援のコンサルティング業務の導入として、会員企業とのマッチングを実施し、収益に繋げる。

4.外部組織との情報交換、セミナー活動
セキュリティ啓発活動として、都立産業技術センターとの共同セミナー(有償)を開催し、中小企業向けのセキュリティ啓発活動を実施する。
その他団体との連携は、随時実施する。

5.WG 活動、JASA 内の WG、委員会との連携活動
組込みシステムセキュリティ委員会としては、WG 活動を月 1 回開催する。JASA 内の WG との連携も行い、セキュリティ面でのフォローを実施する。

2.各事業についての報告

【事業№5】会議(委員会、WG会議)

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)
・毎月 第二木曜日、年 12 回のハイブリットでの開催
・都産技研との共同開催を行い、都産技研とのセキュリティ啓発活動をする。

(1)2023 年度 第 1 回 組込みシステムセキュリティ委員会
日　時 2023 年 04 月 20 日(木) 16:00～17:30
場　所 ハイブリットでの開催
参加者 10 名

概　要 以下のテーマに沿った議論を実施した。
①セキュリティ教育コンテンツの状況共有
②技術本部成果発表会の共有
③セキュア IoT プログラムの推進、協賛、展開
④都産技研セミナー共有

成　果
①JASA で開発を進めているセキュリティ教育コンテンツに関しての状況の共有を実施した。現状、進んでいる部分と方向性についての共有ができた。
②技術本部成果発表会の開催、発表内容についての共有を実施した。
③委員長の方で進めているセキュア IoT プラットフォーム協議会との協賛とセキュア IoT プラットフォーム協議会が持っている IoT 機器の認証プログラムの内容を共有した。
④3/10 に行った都産技研との共同セミナーの結果、内容の共有を実施した。

(2)2023 年度 第 2 回 組込みシステムセキュリティ委員会
日　時 2023 年 05 月 11 日(木) 16:00～17:30
場　所 ハイブリットでの開催
参加者 10 名
概　要 以下のテーマに沿った議論を実施
①セキュリティ教育コンテンツの状況共有
②経済産業省への提案内容共有
③DIT 様セキュリティソリューションの紹介
④欧州サイバーレジエンス法の共有
成　果 ①JASA で開発を進めているセキュリティ教育のコンテンツ内容を JASA 人材育成事業部と共有を行って、セキュリティコンテンツの開発を一緒に行っていくことと、コンテンツの教科として、今後必要になるコンテンツを選定して対応する方向を共有した。
②IoT 機器の認定について、セキュア IoT プラットフォーム協議会と協賛した内容を経済産業省に提案をする内容を共有した。
③DIT 様より、コンテナの改ざん検知＆復旧ができるソリューションについてのご講 演を頂いた。組込みでのコンテナ利用も行われているため、今後委員会として、研究・検討を進める方向とした。
④2025 年から施行される欧州サイバーレジエンス法の草案内容を共有した。

(3)2023 年度 第 3 回 組込みシステムセキュリティ委員会
日　時 2023 年 06 月 08 日(木) 16:00～17:30
場　所 ハイブリットでの開催
参加者 10 名
概　要 以下のテーマに沿った議論を実施
①セキュリティ教育コンテンツの状況共有
②6/2 経済産業省訪問結果の共有
③23 年度 成果発表会の共有
成　果 ①ハードウェア部分のコンテンツ開発が完了したので、早川委員の方から内容の共有を行って頂いた。
②JASA で考えている認定プログラムに関して、経済産業省と意見交換をした結果を共有した。経済産業省としては、コモンクライテリア(CC)をベースにした認定を考えているとのことで、JASA としても経済産業省の推進方向に軌道を合わせる方向とした。

③23 年度 成果発表会でのコンテンツ内容の共有を行った。

(4)2023 年度 第 4 回 組込みシステムセキュリティ委員会
日　時 2023 年 07 月 13 日(木) 16:00～17:30
場　所 ハイブリットでの開催
参加者 10 名
概　要 以下のテーマに沿った議論を実施
①成果発表会の共有
②JASA での認定プログラムの紹介と進捗共有
③EdgeTech+ West での展示、講演内容の共有
④ランサムウェア対策製品の紹介
成　果 ①23 年度 成果発表会結果の共有をした。特に賞は受賞なし。
②セキュア IoT プラットフォーム協議会様より、認定プログラム内容についてのご講演をして頂き、認定プログラムの詳細な内容についての議論を実施した。
③成果発表会で受賞がなかったが、講演することとなり、委員会ないで講演する内容についてのディスカッションを実施して、講演内容の方向性を決めた。
④都産技研から紹介あった NOX 様の持っているランサムウェア対策製品に関するご講演を行って頂いた。組込み系というよりは、IT 系の製品であった。
⑤Automotive SPICE4.0(Draft)共有を行った。ハードウェア設計、AI 系の部分が追加になっていることを共有した。

(5)2023 年度 第 5 回 組込みシステムセキュリティ委員会
日　時 2023 年 08 月 10 日(木) 16:00～17:00
場　所 ハイブリットでの開催
参加者 10 名
概　要 以下のテーマに沿った議論を実施
①EdgeTech+ West での講演内容の共有
②ICT-ISAC 様とのディスカッション
③コンテナのセキュリティ対応のディスカッション
成　果 ①7/28 に行われた EdgeTech+ West での講演した内容を共有した。
②都産技研から紹介があった ICT-ISAC 様から IoT 機器の監視を行っている NICT が行っている活動についてのご講演を行ってい頂いた。
③7 月にディスカッションできなかったコンテナのセキュリティについての説明と今後委員会で行っていく、コンテナセキュリティの検討内容についてのディスカッションを行った。

(6)2023 年度 第 6 回 組込みシステムセキュリティ委員会
日　時 2023 年 09 月 14 日(木) 16:00～17:30
場　所 開催なし

(7)2023 年度 第 7 回 組込みシステムセキュリティ委員会
日　時 2023 年 10 月 12 日(木) 16:00～17:30
場　所 ハイブリットでの開催
参加者 15 名
概　要 以下のテーマに沿った議論を実施
①EdgeTech+横浜の展示内容、発表内容の共有
②PSIRT 関連の情報共有(早川さんから)
③セキュリティ教材の演習紹介

④経産省 IoT 機器の認定プログラムの紹介

成　果 ①EdgeTech+横浜の講演は、コンテナに対するセキュリティ対策の勘所という題材で DIT 様より講演頂くこととした。内容としては、コンテナホスト側に侵入、改ざんされた場合の影響や改ざん検知したあとの対策方法について講演頂くこととした。

展示内容としては、委員会のパネルの紹介と DIT 様、エイチアイ様の展示内容の共有を行った。DIT 様からは、Turing Pi2 を使ったコンテナの改ざん、改ざん検知後の復旧に関するデモ展示、エイチアイ様からは秘密分散を使ったセキュア通信のデモ展示をご紹介頂いた。ともに具体的な題材であるので集客ができそうな内容であった。

②早川さんから JPCERT/CC の講演に参加頂いた内容を共有して頂いた。内容としては、脆弱性情報の収集方法や脆弱性情報の公開方法など手順についてだった。組込み製品に向けた内容ではなかったが、PSIRT 運用に関する対応としては有用な情報だった。

早川さんにご協力頂き、11 月に JPCERT/CC さんの講演を企画することとした。

③Keysight さんが開発した Bluetooth デバイスを使ったセキュリティ演習の教材についてのご紹介を頂いた。教材内容としては、Keysight さんの IoT アセスメント機材を利用した Bletooth デバイスへの攻撃、攻撃後の脆弱性分析に関しての内容となっていた。

教育コンテンツとしては、IPA での開発したものよりも組込み製品よりになっており、委員会での運営を検討していくことができそうな内容であった。

④時間が足りなく共有できなかった。

(8)2023 年度 第 8 回 組込みシステムセキュリティ委員会

日　時 2023 年 11 月 08 日(木) 16:00～17:30

場　所 ハイブリットでの開催

参加者 10 名

概　要 以下のテーマに沿った議論を実施

①JPCERT/CC 様講演＆質疑応答

②EdgeTech+横浜の講演内容共有

③Blackberry 様での講演内容の共有

④JASA セキュリティ演習教材の運営

成　果 ①10 月に早川さんが聞いてきた講演内容を JPCERT/CC 様よりオンラインで講演頂いた。内容としては、脆弱性情報の収集方法や公開方法が主な内容であった。講演内容は参考になったという意見が多かったので内容としては満足できた内容であった。

ただし、組込み開発における固有の部分やサプライチェーンリスクを含めた部分は JPCERT/CC 様でもこれからとのことで、今後ディスカッションしていくこととした。

②DIT 様より発表する内容の共有を頂いた。少し時間が短いため、冒頭に委員会の紹介やセキュリティ演習教材の発表を入れて、宣伝＆啓発部分を盛り込むこととした。

③11/07 に Blackberry Techforum にて JASA として発表した内容を共有した。当日の発表は多くの人(70 名くらい)が参加頂いたので、委員会の宣伝にはなった。

④10 月に Keysight さんから共有頂いた教材コンテンツの運営に関して、11/07 に行われた運営企画会議での結果の共有を行った。運営企画会議では概ね了承を得たので、事業形態、収支計画を作り、12/07 の理事会に報告して運営を始めることとした。

(9)2023 年度 第 9 回 組込みシステムセキュリティ委員会

日　時 2023 年 12 月 21 日(木) 16:00～17:30

場　所 ハイブリット開催

参加者 10 名程度

概　要 以下のテーマに沿った議論を実施

①浜松の協会から依頼内容の共有と実施に向けた議論

②JASA セキュリティ演習プログラムの募集

③IoT 認定プログラムのプレスリリースに向けた議論

④その他 議論

(1)輪講題材の共有

(2)NRI セキュアの講演資料の共有

(3)経産省 IoT 機器認定プログラムの紹介

(4)来年度の予算計画の共有

成　果 ①ポリテクカレッジ浜松協会からの依頼として、サイバーセキュリティの基礎知識や、インシデントが発生した場合の対応など、中小企業が持つべきサイバーセキュリティに対する心構えや最低限の備えが分かるようなセミナーを開催して欲しいとの依頼があった。JASA としては、IT 系のサイバーセキュリティや ISMS 的な内容は、得意ではないため、他の団体として、JPCERT/CC さん、制御システムセキュリティセンターさんを紹介することとした。

②委員会として、開発したセキュリティ演習プログラムの募集要項や、プレスリリースに向けた準備、リリース時期などを決定した。24 年度 4 月には、募集開始することとし、プレスリリースは、23 年度内で実施する方向となった。

③セキュア IoT プラットフォーム協議会さんと進めているセキュア IoT プログラムの認定に関してのプレスリリース内容に関して、共有を行い、1 月の運営企画会議、2 月理事会にけた準備を実施した。

④(1)早川委員より、セキュリティバイデザインの資料の輪講を実施したいとの報告があり、内容を共有し、委員会内で実施することとした。

(2)NRI セキュアが実施した「自動車業界における工場セキュリティの課題と対策」のセミナー資料内容を共有した。

(3)経産省が進めている IoT 機器の認定プログラムの進捗状況を共有した。

(4)来年度の委員会での予算項目についての共有を実施した。

(10)2023 年度 第 10 回 組込みシステムセキュリティ委員会

日　時 2024 年 1 月 25 日(木) 16:00～17:30

場　所 ハイブリットでの開催

参加者 10 名

概　要 以下のテーマに沿った議論を実施

①浜松協会との調整事項の共有

②24 年度 予算案の共有

③セキュリティ演習プログラムのプレスリリースの共有

④IoT 認定プログラムのプレスリリース共有

⑤セキュリティバイデザインの輪講状況の共有

⑥人材育成事業部のセキュリティ教育のセミナーコンテンツの共有

成　果①ポリテクカレッジ浜松協会からの依頼として、サイバーセキュリティの基礎知識や、インシデントが発生した場合の対応など、中小企業が持つべきサイバーセキュリティに対する心構えや最低限の備えが分かるようなセミナーを開催して欲しいとの依頼があった。JPCERT/CC さん、制御システムセキュリティセンターさんを紹介し、結果的に制御システムセキュリティセンターさんで対応頂けることとなった。

別途、ポリテクカレッジ浜松協会さんとは、情報の共有として、別の機会を頂けることとなった。
②1/29 に行われる技術本部の予算会議の前に委員会にて、24 年度の予算内容の共有を実施した。特に異論はなかったので、1/29 に予算会議にて報告とした。
③セキュリティ演習プログラムのプレスリリース内容の共有を実施した。2 月運営企画会議、3 月理事会での承認を得てプレス出す予定とした。
④③同様
⑤大野委員から報告頂いた。内容としては、上流設計段階から非常に細かくセキュリティ対策についての設計をする内容であった。
⑥人事育成事業部で開発したセキュリティ教育のコンテンツに関しての共有を実施した。
結構良い出来なので、入門編として利用していくこととした。

(11)2023 年度 第 11 回 組込みシステムセキュリティ委員会
日　時 2024 年 02 月 08 日(木) 16:00～17:30
開催なし。

【事業№1】JASA 版「組込みセキュリティ教材」のコンテンツ開発、コンテンツの配信(有償化)
JASA 版「組込みセキュリティ教材」のコンテンツ開発、セミナー活動教材の作成を行い、有償セミナーを実施する。
(1)セキュリティコンテンツの開発を実施中。
(2)Keysight さんによるセキュリティ演習教材の開発ができた。運営方法に関して調整を実施中
(3)プレスリリースの準備中

【事業№2】サイバーセキュリティ国際規格の動向調査、セミナーコンテンツ開発、コンテンツの配信(有償化)
(1)EN303 645 の欧州規格についてのコンテンツ開発を実施中。

【事業№3】IoT セキュリティの国際安全基準適合の認証取得、対応証明事業の立ち上げ
(1)セキュア IoT プラットフォーム協議会と認定プログラムの展開についての検討開始
(2)11/21 セキュア IoT プラットフォーム協議会部会に参加。今後の進め方について協議し、プレスを出す方向で調整済み
(3)契約、プレスリリースの準備中

【事業№5】外部組織との情報交換、セミナー活動
外部団体との連携をすることで、セキュリティに関する情報収集、セミナー活動に繋げる。

(1)2023年 6月 9日 JASA成果発表会
(2)2023年 7月28日 EdgeTech+ West講演
(3)2023年11月 7日 Blackberry Techforum講演
(4)2023年11月 9日 JPCERT/CC様講演
(5)2023年11月15日 EdgeTech+横浜講演
(6)2024年 1月26日 CIAJ様向け講演
(7)2024年 1月29日 DIT様向け講演

3.活動成果 /成果物

2024年のBulletinJASA 4月号の準備

4.今後の予定[2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日]

5.その他特記事項

特記事項なし

コモングラウンド委員会

1.活動概要(2023 年度の事業方針)

政府の掲げる Society5.0 を実現するためには、現実空間とサイバー空間を接続する技術や、産業横断のデータ連携が重要である。しかしながら、現実空間とサイバー空間を接続する場合には、現実空間に配置されるエッジ側(センサ、アクチュエータ等)で検討しなければならない様々な課題がある。

本委員会では、上記課題を組込みの視点から調査、研究し、成果や課題解決に向けた提案の情報発信をしていく。また、課題を解決していくために、様々な業界団体、企業、大学と連携して活動を実施する。各 WG の活動は従来どおり継続し、デジタルツインやシミュレータ環境について委員会と連携する。

活動概要

・デジタルツイン、コモングラウンド、デジタルライフラインについて、以下の活動を行い、理解を深める。
 － 専門家、有識者を招き勉強会、白熱教室を実施
 － それらを、実現するための技術調査、課題解決方法の検討
・業界団体と連携し、情報交換、共創の場の提供
・技術成果発表会、展示会(EdgeTech+、EdgeTech+ West 等)でのセミナーの実施
・共創プロジェクトの実現
・ドローン WG、スマートライフ WG と連携した活動

2.各事業についての報告

【事業№1】会議(委員会、WG会議)

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)

基本毎月定例会議の開催を予定(年 12 回程度の開催)

・有識者を招いた講演＆勉強会
・各種団体との連携
・WG の活動状況の展開

日　時 2023 年 4 月 20 日(木) 15:00～17:00
場　所 JASA 会議室＆オンライン
参加者 12 名/10 社
概　要 2023 年活動方針について議論。委員会名称について確定。
東京大学 IoT 特別研究会(RC88)EV テストベッド紹介
成　果
委員会の 2023 年活動方針について、合意。
東京大学 IoT 特別研究会(RC88)EV テストベッドについて理解を深めた。

日　時 2023 年 5 月 30 日(火) 15:00～17:00
場　所 JASA 会議室＆オンライン
参加者 12 名/10 社
概　要 箱庭ドローンシミュレーション状況報告
コモングラウンド勉強会
成　果
メンバーのコモングラウンドについての理解を深め、認識を一致させた。
今後の活動についての議論を深めた。

日　時 2023 年 6 月 26 日(月) 15:00～17:00
場　所 クレスコ会議室＆オンライン
参加者 12 名/10 社
概　要「製造業におけるデジタルツイン活用」株式会社 理経 石川様
　　コモングラウンドについての議論
成　果
　　デジタルツイン事例の理解や Omiverse 関連の理解を深めた。
　　コモングラウンドについての今後の活動に合意。

日　時 2023 年 7 月 21 日(金) 15:00～17:00
場　所 クレスコ会議室＆オンライン
参加者 11 名/10 社
概　要「ドローン入門セミナー」計画工学研究所 三根様
　　コモングラウンドについての議論
成　果
　　ドローンの HW、SW についての理解を深めた。
　　コモングラウンドについて箱庭 WG Connpass の振り返り実施。
　　EdgeTech+2023 WEST セミナーに向けての状況共有。

日　時 2023 年 9 月 26 日(火) 15:00～17:00
場　所 JASA 会議室＆オンライン
参加者 9 名/9 社
概　要
　　1.各 WG(ドローン、スマートライフ)情報共有
　　2.コモングラウンドの状況説明
　　3.デジタルツイン情報フィードバック
　　4.SWEST25 参加報告
成　果
　　コモングラウンド委員会とコモングラウンドリビングラボとの状況確認
　　デジタルツイン、デジタルライフラインの勉強会
　　SWEST 結果報告。

日　時 2023 年 10 月 31 日(火) 15:00～17:00
場　所 クレスコ会議室＆オンライン
参加者 9 名/9 社
概　要
　　第 1 部 15:00～16:00 有識者による勉強会「ATINDE 様事業紹介」
　　ATINDE 様 久木元様
　　白熱教室(ディスカッション)
　　第 2 部 16:00～17:00
　　1.各 WG(ドローン、スマートライフ)情報共有
　　2.デジタルライフラインの認識合わせ
　　3.九州ものづくりフェアのフィードバック
　　4.EdgeTech+2023 について(セミナー、パネル)
成　果
　　ATINDE 様との情報交換。
　　デジタルライフラインについての議論
　　九州ものづくりフェア結果報告。

日　時 2023 年 12 月 8 日(火) 15:00～17:00
場　所 Cresco 会議室＆オンライン
参加者 13 名/9 社
概　要
1.各 WG(ドローン、スマートライフ)情報共有
2.コモングラウンドリビングラボ打ち合わせ事前相談
3.EdgeTech+2023 フィードバック
4.NEDO との NDA について
5.箱庭 WG からのリクエスト
6.MCPC ドローン計測相談
成　果
コモングラウンド委員会とコモングラウンドリビングラボとの状況確認
デジタルツイン、デジタルライフラインの勉強会
EdgeTech+2023 結果報告。

日　時 2024 年 1 月 15 日(月) 15:00～17:00
場　所 クレスコ会議室＆オンライン
参加者 14 名/9 社
概　要
第 1 部 15:00～16:00
1.各 WG(ドローン、スマートライフ)情報共有
2.来年度予算について
3.NEDO との NDA について
4.MCPC ドローン計測相談
第 2 部 16:00～17:00 コモングラウンドリビングラボ意見交換会
白熱教室(ディスカッション)
成　果
来年度予算策定。
コモングラウンドリビングラボとの情報交換

日　時 2024 年 2 月 1 日(月) 15:00～17:00
場　所 JASA 会議室＆オンライン
参加者 13 名/9 社
概　要
第 1 部 15:00～16:00
ARX(AICHI ROBOT TRANSFORMATION)での取り組み紹介
白熱教室(ディスカッション)

第 2 部　16:00～17:00
1.各 WG(ドローン、スマートライフ)情報共有
2. XRLite Editor、VRLite Ver4 紹介 ATINDE 久木元様
3.コモングラウンドについて議論
4.NEDO との NDA について
5.MCPC ドローン計測相談
成　果
デジタルツイン、デジタルライフラインの勉強会
来年度コモングラウンド委員会でのデジタルツインデモの認識共有

日　時 2024 年 3 月 27 日(水) 15:00～17:00
場　所 インテック会議室＆オンライン
参加者 21 名/13 社
概　要
第 1 部 15:00～16:00
セミナー①「新サービス「PROTOTYPE-X」紹介」IoT-EX 株式会社 松村様
セミナー②「Flightradar24 ラズパイ・キット」紹介 株式会社クレスコ 井上様
白熱教室(ディスカッション)
第 2 部　16:00～17:00
1.各 WG(ドローン、スマートライフ)情報共有
2.来年度プロトタイプ作成に向けた議論
3. NEDO との連携について
4. 一般社団法人ナノテクノロジービジネス推進協議会(NBCI)との連携紹介
5.MCPC ドローン計測相談
成　果
セミナーでの情報共有
来年度デモに向けた議論結果

【事業№2】EdgeTech+West2023
目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)
目的:委員会及び WG の活動を周知し、会員・活動メンバー、連携団体を募る。
概要:
・ブース展示:コモングラウンド委員会の紹介、パネル作成、資料配布など
・セミナー、パネルディスカッションの企画・実施

【事業№3】EdgeTech+2023
目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)
目的:委員会及び WG の活動を周知し、会員・活動メンバー、連携団体を募る。
概要:
・ブース展示:コモングラウンド委員会の紹介、パネル作成、資料配布など
・セミナー、パネルディスカッションの企画・実施

【事業№4】IoT ビジネス検討ワークショップ
目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)
目的:JASA 会員企業の若手に IoT ビジネスにふれて頂き、今後のビジネス展開の糧にして頂く。
概要:
・一昨年度実施した、「AI Work Shop」の続編の企画
・エモーション WG のデモシステムをベースにした Workshop など
→中止。

【事業№5】九州モノづくりフェア 2023
目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)
目的:委員会及び WG の活動を周知し、会員・活動メンバー、連携団体を募る。
概要:
・ブース展示:コモングラウンド委員会の紹介、パネル作成、資料配布など
・セミナー、パネルディスカッションの企画・実施

【事業№6】名古屋展示会
目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)
目的:委員会及び WG の活動を周知し、会員・活動メンバー、連携団体を募る。
概要:
・ブース展示:コモングラウンド委員会の紹介、パネル作成、資料配布など
・セミナー、パネルディスカッションの企画・実施
→中止。

3.活動成果/成果物

【事業№1】会議
委員会を月 1 で実施。
ファイル共有やコミュニケーション手段として、GoogleDrive、Discord の整理。
有識者を招いた勉強会。
コモングラウンド、デジタルツインの勉強会。
JASA コモングラウンド委員会 HP 更新

【事業№2】EdgeTech+West2023
コモングラウンド委員会の活動についてセミナー実施。

【事業№3】EdgeTech+2023
セミナーと展示を実施。

【事業№5】九州モノづくりフェア 2023
コモングラウンド委員会にてパネルとデモの展示を実施

4.今後の予定[2024 年 4 月 1 日～2024 年 6 月 30 日]

月 1 回の委員会を実施。
コモングラウンドリビングラボとの連携。
箱庭を利用した、デジタルツインデモ環境作成。

5.その他特記事項

なし。

ドローン WG

1.活動概要(2023 年度の事業方針)

1.ドローン WG としての実績まとめ
2023 年までに活動してきた内容をまとめて、会員企業、他団体などに活用してもらい、産業ドローンの活用に繋げる。
2.金沢工業大学との連携研究による機体製造
V TOL の機体に関しての連携研究を行い、機体の作成マニュアルを開発し、会員企業に活用して頂く。
3.NEDO PJ への貢献のための活動
NEDO PJ の参画を行い、ドローン WG としての実績を紹介し、PJ に貢献する。
4.WG 活動
不定期となるが、年数回実施する。

2.各事業についての報告

【事業№4】会議(委員会、WG会議)
目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)

・毎月 第二金曜日、年 12 回の WebEX での開催

(1)2023 年度 第 1 回ドローン WG
日　時 2023 年 04 月 18 日(木) 16:00～17:00
場　所 ハイブリットでの開催
参加者 5 名
概　要 金沢工業大学との共同研究の共有
成　果 金沢工業大学との共同研究の進捗状況の共有と機体の作成マニュアルの状況を共有頂いた。
その他、新規に WG 参加頂いたメンバーの取組みについての紹介をした。

(2)2023 年度 第 2 回ドローン WG
日　時 2023 年 05 月 30 日(木) 14:00～15:00
場　所 ハイブリットでの開催
参加者 5 名
概　要 金沢工業大学との共同研究の共有
成　果 金沢工業大学との共同研究の進捗状況の共有と機体の作成マニュアルの状況を共有頂いた。
WG メンバーからの取組みについての紹介を頂いた。

(3)2023 年度 第 3 回ドローン WG
日　時 2023 年 06 月 26 日(木) 14:00～15:00
場　所 ハイブリットでの開催
参加者 5 名
概　要 金沢工業大学との共同研究の共有
成　果 金沢工業大学との共同研究の進捗状況の共有と機体の作成マニュアルの状況を共有頂いた。
その他 成果発表会の情報共有と、EdgeTech+ West での対応内容についてのディスカッションを実施した。

(4)2023 年度 第 4 回ドローン WG
日　時 2023 年 07 月 21 日(木) 14:00～15:00
場　所 ハイブリットでの開催
参加者 5 名
概　要 金沢工業大学との共同研究の共有
成　果 金沢工業大学との共同研究の進捗状況の共有と機体の作成マニュアルの状況を共有頂いた。
その他 EdgeTech+West での対応内容についてのディスカッションを実施した。

(5)2023 年度 第 5 回ドローン WG
開催なし。

(6)2023 年度 第 6 回ドローン WG
開催なし。

(7)2023 年度 第 7 回ドローン WG
開催なし。

(6)2023 年度 第 8 回ドローン WG
開催なし。

(9)2023 年度 第 9 回ドローン WG
開催なし。

(10)2023 年度 第 10 回ドローン WG
開催なし。

(11)2023 年度 第 11 回ドローン WG
開催なし。

【事業№1】ドローン WG としての実績まとめ

(1) Toppers 箱庭 WG と協力して、ドローンのシミュレータ開発を実施
(2) 箱庭を利用した機体シミュレータ開発完了
(3) 箱庭を使った取組みに関しての仲間集めを実施
立花エレテックさん、日本航空電子さんと 12 月に情報交換実施。
NXP ジャパンさんと 1 月から定期的に情報交換会を実施

【事業№2】金沢工業大学との連携研究による機体製造
金沢工業大学との連携研究を行い、機体製造のノウハウを習得しながら、JASA 会員企業向の機体製造マニュアルなど、会員企業での利活用がし易いように推進する。

(1) 機体製造マニュアルについては、金沢工業大学とマニュアル作成イメージを共有して推進中
(2) モータの発熱、振動に関する問題があるとのことで、別途検討を進めてもらっている。
(3) 8 月段階で、飛行できそうな状態になったため、9 月に飛行実験を実施予定。
(4) 金沢工業大学で開発した機体が飛行できる場所がなく、飛行実験できていない状況
(5) 箱庭を使ったドローンシュミレータの開発についてのご協力を頂き、3 回の会議を実施。
主にドローン物理モデルやセンサデータの活用方法についてのアドバイスを頂いた。
(6) EdgeTech+(横浜)にて、金沢工業大学から立花エレテックさん、日本航空電子さんをご紹介頂き、
今後の協業についてのディスカッションを実施予定。

【事業№3】NEDO PJ への貢献のための活動
NDA 締結は完了。先方からの連絡待ち

3.活動成果 /成果物

(1) 6/9 JASA 成果発表会
(2)7/28 EdgeTech+ West での講演
(3)11/15～17 の間で金沢工業大学の機体展示＆パネル展示
(4)箱庭と使ったドローンシュミレータの Version1.0 リリース(1 月)
(5)しまなみドローン協会さんとの情報交換実施。
来年度に実際にドローン飛行の実証 PoC を実施する方向で調整中
(6)ドローンショージャパンさんとの情報交換実施。
ドローンを使ったショーでの共同研究の検討を実施する方向で来年度以降で活動開始予定

4.今後の予定[2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日]

組込みシステムセキュリティ委員会の掛け持ちのため、不定期に開催となる。
ご承知おきください。

スマートライフ WG

1.活動概要(2023 年度の事業方針)

スマートライフ（安全、家事、健康、医療、介護、子育て）分野における QoL 向上、課題解決のためのソリューションを組み込み視点で検討。

スマートライフに利用できる新規、既存センサ（特にエモーションキャッチセンサ）の調査・研究。

検討したソリューションについて、プロトタイプを作成し、サービスの有用性について実証実験を行う。

その他

スマートライフサービスの実現に向け RC88、トリリオン研、MCPC、都産技研など他パートナとの協調を進める。

サービスの実現に向け、IoT プラットフォーム（ifLink）とトリリオンノードの活用を検討する。

エモーションキャッチセンサを IoT システムに組み込む有効性の検証を行う。

2.各事業についての報告

会議(委員会、WG会議)

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)
活動計画、進捗状況の確認
月 1 回程度（原則月末最終木曜日 19:00 - 20:00）

第 1 回スマートライフ WG
日　時 2023 年 4 月 24 日(月) 19:00～20:00
場　所 Teams オンライン会議
参加者 9 名
概　要 2023 年度活動方針
EdgeTech+West デモ展示までの進め方
予算計画
IoT 技術高度化委員会フィードバック
成　果 活動方針、デモ展示案、予算案

第 2 回スマートライフ WG
日　時 2023 年 5 月 25 日(木) 19:00～20:00
場　所 Teams オンライン会議
参加者 7 名
概　要 IoT メイカーズ！ミーティング（Tech)のフィードバック
EdgeTech+West への活動方針
管理物品棚卸
成　果 活動方針

第 3 回スマートライフ WG
日　時 2023 年 6 月 29 日(木) 19:00～20:00
場　所 Teams オンライン会議
参加者 6 名
概　要 IoT メイカーズ！ミーティング（Tech)のフィードバック
EdgeTech+West への活動方針
成　果 スマイルガチャ検討草案
プロトタイプ開発計画

第 4 回スマートライフ WG
日　時 2023 年 7 月 20 日(木) 19:00～20:00
場　所 Teams オンライン会議
参加者 6 名
概　要 EdgeTeck+West に向けたプロトタイプ作成進捗報告
成　果 プロトタイプ開発計画

第 5 回スマートライフ WG
日　時 2023 年 8 月 24 日(木) 19:00～20:00
場　所 Teams オンライン会議
参加者 4 名
概　要 EdgeTech+West 振り返り
　　EdgeTech+2023 に向けて
成　果 EdgeTech+West 振り返り結果
　　EdgeTech+2023 活動方針

第 6 回スマートライフ WG
日　時 2023 年 9 月 28 日(木) 19:00～20:00
場　所 Teams オンライン会議
参加者 5 名
概　要 EdgeTech+（横浜） 11 月に向けて
　　連絡事項展開
成　果 活動方針、デモ展示案、各自のタスク共有

第 7 回スマートライフ WG
日　時 2023 年 10 月 19 日(木) 19:00～20:00
場　所 Teams オンライン会議
参加者 5 名
概　要 EdgeTech+（横浜） 11 月に向けて
　　連絡事項展開
成　果 活動方針、デモ展示案、各自のタスク共有

第 8 回スマートライフ WG
日　時 2023 年 11 月 6 日(月) 19:00～20:00
場　所 Teams オンライン会議
参加者 7 名
概　要 EdgeTech+（横浜） 11 月に向けて
　　連絡事項展開
成　果 活動方針、デモ展示案、各自のタスク共有

第 9 回スマートライフ WG
日　時 2023 年 12 月 14 日(木) 19:00～20:00
場　所 Teams オンライン会議
参加者 4 名
概　要 EdgeTech+（横浜） 11 月振り返り
　　2024 年度活動方針、予算検討
成　果 活動方針案、予算案、各自のタスク共有

第 10 回スマートライフ WG
日　時 2024 年 1 月 25 日(木) 19:00～20:00
場　所 Teams オンライン会議
参加者 5 名
概　要 2024 年度活動方針
　　連絡事項展開
成　果 活動方針案、各自のタスク共有

第 11 回スマートライフ WG
日　時 2024 年 2 月 29 日(木) 19:00～20:00
場　所 Teams オンライン会議
参加者 6 名
概　要 2024 年度活動方針
　　機材棚卸の方針
成　果 活動方針、各自のタスク共有

第 12 回スマートライフ WG
日　時 2024 年 3 月 28 日(木) 19:00～20:00
場　所 Teams オンライン会議
参加者 6 名
概　要 2024 年度活動方針
　　箱庭連携についての共有
成　果 活動方針、各自のタスク共有

【事業№2】プロトタイプ作成
目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)
アイデアのデモ展示に向けたプロトタイプ作成。

【事業№3】EdgeTech+West
目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)
セミナーを実施し、スマートライフ WG の活動を外部に向け発信する。
事業 No.2 のプロトタイプ展示を行う。

【事業№4】EdgeTech+(パシフィコ横浜)
目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)
セミナーを実施し、スマートライフ WG の活動を外部に向け発信する。
事業 No.2 のプロトタイプ展示を行う。

3.活動成果/成果物

【事業№1】会議
WG を月 1 で実施し、議論結果のまとめ資料。(ディスカッション結果)
スマイルガチャのプロトタイプ検討、設計資料。
展示会に向けたデモ検討、準備。
ifLink オープコミュニティとの連携について。

【事業№2】プロトタイプ作成
スマイルガチャプロトタイプ作成済み。
ソースコード、設計資料。

【事業№3】EdgeTech+West
スマートライフ WG の活動についてセミナー実施。
事業 No.2 のプロトタイプを展示した。

【事業№4】EdgeTech+（パシフィコ横浜）
スマートライフ WG の活動についてセミナー実施。
事業 No.2 のプロトタイプを展示した。

4.今後の予定[2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日]

月 1 回の WG を実施。
EdgeTech＋にプロトタイプの展示、セミナー予定。
実証実験として展示物プロトタイプを活用できる場所を検討し、実証実験を行う。

5.その他特記事項

なし

応用技術調査委員会

OSS 活用 WG

1.活動概要(2023 年度の事業方針)

OSSC 共同セミナー、WG 会議、ROS 振興、RISC-V OSS コレクション作成、OSS 普及セミナー、OSS ドローンの運用も含めた諸事情の調査、広報資料作成、外部発表

2.各事業についての報告

【事業№1】会議(委員会、WG会議)
目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)
・隔月、年 6 回(都内、関西など)の開催
2023 年　4 月 18 日 定例会議 Web 開催 OSS コンソーシアムと共同会議
2023 年　8 月 22 日 定例会議 物理開催 OSS コンソーシアムと共同会議
2023 年 10 月 17 日 定例会議 Web 開催 OSS コンソーシアムと共同会議
2023 年 12 月 19 日 定例会議 Web 開催 OSS コンソーシアムと共同会議
2024 年　2 月 20 日 定例会議 Web 開催 OSS コンソーシアムと共同会議

【事業№2】ROS（ロボット通信ミドルウェア）振興
目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)
ロボット業界でデファクト・スタンダードとして推進されている ROS を組込み業界に展開していく。
基本方針について議論しながら、情報収集した。

【事業№2】LSI 開発 OSS 調査
目的・業務概要(LSI 開発用 OSS の利用を促進するため、OSS の一覧表をまとめ、
それらの使用方法を調査する)
オープンソースEDAフォーラム第 4 回 に竹岡と OSS コンソーシアムのメンバーが出席した
2023/DEC/08　於: 福岡システムLSI総合開発センター

OSS コンソーシアムは、本会議で活動の紹介を行った。

JASA OSS の EDA 活動の紹介を、懇親会にて行った。

日本 Google で OSS EDA をすすめているジョアンさんに認知してもらった。

日本におけるオープンソースEDAの情報を引き続き得る予定。

【事業№3】外部発表

目的・業務概要(WG の活動成果を公表し、活動をアピールする)

・2023 年 12 月 8 日、博多でのオープンソースEDAフォーラム第 4 回 にて、竹岡と OSS コンソーシアムのメンバーが発表した。

於: 福岡システムLSI総合開発センター

2023 年 12 月 9 日、博多で OSC が開催され、OSS コンソーシアムと共同で出展した。

https://event.ospn.jp/osc2023-fukuoka/

・令和 6 年 3 月 8 日、「ふくしまロボット産業推進協議会令和 5 年度 第 2 回ロボット・ソフトウェア検討会」(於::ビッグパレットふくしま 中会議室 A)にて、竹岡が ROS2 の IoT への適用などについて講演した。

https://minami-soma-ric.jp/member/2024021401/

【事業№4】OSSC 共同セミナー

目的・業務概要(OSS の活用を促すセミナーを実施する。

同時に WG の活動を外部にアピールする。)

「OpenSource EDA セミナー」を企画中。

日本の OSS EDA を推進している人々を講師に迎えたセミナーを計画中

【事業№5】広報資料作成

目的・業務概要(WG の活動成果を公表し、WG の活動をアピールする)

OSC ふくおか出展に向け、作成した。

【事業№6】RISC-V エコシステム調査

目的・業務概要(オープン・ソースな CPU RISC-V を取り巻く環境と OSS を調査する)

RISC-V CPU, RISC-V を搭載した SoC などの新しい情報の報告と情報交換。

【事業№7】OSS 普及セミナー

目的・業務概要(JASA 会員などへの OSS とオープン・ソース・ハードウェアの振興を諮る)

若年技術者教育として、ハンズオン・セミナを実施中。

2023 年度のハンズオンを遠隔で実施した。

6 名が参加中。全 4 回。

大阪が中心だが、過去実績から遠隔からの参加も可能であることは確認済み。

最終成果発表会を 2024/MAR/27 開催した。

【事業№8】OSSドローンの運用も含めた諸事情の調査

目的・業務概要(OSSドローンを飛行させるための、諸事情を調査する)

ドローン運用の免許制度の最新情報を報告、情報交換

3.活動成果/成果物

RISC-V OSS コレクション

4.今後の予定[2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日]

偶数月 第 3 火曜日 、ネット会議システムを使用し、主に遠隔会議として開催予定

5.その他特記事項

無し

アジャイル研究 WG

1.活動概要(2023 年度の事業方針)

WG 会員の課題解決による技術及びマネージメント情報の共有と研究成果の情報発信
委員の知見を深めるためのセミナーを開催する。

2.各事業についての報告

【事業№1】WG 開催

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)

WG 会員の課題解決による技術及びマネージメント情報の共有と研究成果の情報発信委員の知見を深めるためのセミナーを開催する。

オンライン会議で開催

第 1 回アジャイル研究 WG
日　時 令和 5 年 4 月 24 日(月) 17:00～19:00
参加者　7 名
内　容 1.名大 森崎先生をお迎えして品質保証に関してアジャイルの特徴と適したコンテキスト品質に限定せず、アジャイルにすると得られるメリットについて説明いただく。

第 2 回アジャイル研究 WG
日　時 令和 5 年 5 月 29 日(月) 17:00～18:10
参加者 7 名
内　容 1.前回の森崎先生の説明について議論
2.もう少しアジャイル開発の品質について詳しい議論をしたい
3.以前森崎先生とアジャイル開発の品質に関し論文を発表した
ベリサーブ谷崎さんに次回話を聞く

第 3 回アジャイル研究 WG
日　時 令和 5 年 6 月 26 日(月) 17:00～18:30
参加者 9 名
内　容 1. ベリサーブ谷崎さんに SW シンポジウムに発表した論文を解説していただく

第 4 回アジャイル研究 WG
日　時 令和 5 年 7 月 24 日(月) 17:00～17:30
参加者 4 名
内　容 1. 前回の議事録の確認(参加人数少数の為)

第 5 回アジャイル研究 WG
日　時　令和 5 年 8 月 30 日(水) 17:00～17:50
参加者 4 名

内　容 1.ベリサーブ谷崎さんの話の中でウオーターフォールの手法をアジャイル開発に適用し品質向上を図るとの話があった。それではアジャイル開発を ISO9001 に準拠させることができればよいのではとの議論をした。
2.ここ 2 回参加者が少ないので何とか改善するようにしたい

第 6 回アジャイル研究 WG
日　時 令和 5 年 9 月 25 日(月) 17:00～19:00
参加者 4 名
内　容 この数回は参加者が少なかったので本題であるアジャイルのトラブルシチュエーションや、ベリサーブ谷崎殿の件は話さなかった。ISO とアジャイルの関係性などについて会話した。

第 7 回アジャイル研究 WG
日　時 令和 5 年 10 月 23 日(月) 17:00～18:10
参加者 6 名
内　容 プロダクトオナーとスクラムマスターとの関係性について議論した
プロダクトオナーとスクラムマスターは二人三脚でプロジェクトを推進する必要ありとの合意を得た

第 8 回アジャイル研究 WG
日　時 令和 5 年 12 月 8 日(金) 17:00～19:00
場　所 萩原電気 HD　会議室
参加者 4 名
内　容 トラブル事例を出しながらアジャイルの課題を議論し、今後の目標についても議論した。

第 9 回アジャイル研究 WG
日　時 令和 6 年 1 月 29 日(月) 17:00～18:10
参加者 5 名
内　容 アジャイル研究会の活動をまとめるにあたり、会員の提案をベースにメリットやダークになりやすいことや品質などについて議論

第 10 回アジャイル研究 WG
日　時 令和 6 年 2 月 19 日(月) 17:00～18:10
参加者 4 名
内　容 アジャイルの品質について品証部門会員の感じていることをベースに議論をし、品証的に はエビデンスをどうするかに注力しがちだがアジャイルは完成度を上げながら品質を向上される。この辺の兼ね合いをうまく表現できればよいのでは。
次回 ET までにまとめを完成できるように今後進める

第 11 回アジャイル研究 WG
日　時 令和 6 年 3 月 18 日(月) 17:00～18:10
参加者 4 名
内　容 アジャイル開発と品質保証の件について、参加者の事例を基に検討
まとめの大きな柱になりそう

AI 研究 WG

1.活動概要(2023 年度の事業方針)

研究定例会議(月 1 回)
勉強会(全 5 回(講義:4 回、発表:1 回))
1) Deep Learning を既に理解し開発できる技術者とエッジ AI 活用研究。
2) AI に興味のある技術者を対象に Deep Learning とは何かを理解し、製品に組込める技術者の育成。裾野の拡大が目標。

2.各事業についての報告

【事業№1】会議(委員会、WG会議)

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)
Deep Learning を既に理解し開発できる技術者とエッジ AI 活用研究

日　時 2023 年 5 月 23 日(火) 18:00～19:00
場　所 Web 会議
参加者 9 名/6 社
概　要 第 30 回 WG(情報共有/進捗確認)
成　果

- 最近の話題の共有
  - Kaggle ランカーの 9 人に聞いた、2022 年面白かったコンペ 7 選と論文 7 選
  - 会話型 AI が成長すると突然「新しい能力」を獲得すると判明！
  - 資源として見る実験プログラム
  - [輪講資料] LoRA: Low-Rank Adaptation ofLarge Language Models
  - Zero-shot Learning 網羅的サーベイ:CLIP が切り開いた Vision & Language の新しい世界
  - サム・アルトマンとレックス・フリードマンが AI について話す
- 進捗確認
  - 組込環境で Transformer
  - 競馬 AI 予測研究
  - 低リソースデバイスで AI
  - 異常音検出
  - エッジデバイス上で学習
  - 強化学習
  - JetBot で自動運転

日　時 2023 年 6 月 20 日(火) 18:00～19:00
場　所 Web 会議
参加者 10 名/5 社
概　要 第 31 回 WG(情報共有/進捗確認)
成　果

- 最近の話題の共有
  - 高速な深層学習モデルアーキテクチャ 2023
  - Google Colab
  - 最近の Visual Odometry with Deep Learning
  - 大規模言語モデル入門
  - LightGBM 予測モデル実装ハンドブック
  - 「CVPR2023-速報-」ResearchPort トップカンファレンス定点観測 vol.9

- 進捗確認
  - 組込環境で Transformer
  - 競馬 AI 予測研究
  - 低リソースデバイスで AI
  - 異常音検出
  - エッジデバイス上で学習
  - 強化学習
  - JetBot で自動運転

日　時 2023 年 7 月 18 日(火) 18:00～19:00
場　所 Web 会議
参加者 9 名/5 社
概　要 第 32 回 WG(情報共有/進捗確認)
成　果
- 最近の話題の共有
  - テーブルデータ用ニューラルネットワークは勾配ブースティング木にどこまで迫れるのか？(本編)
  - Two New Ways to Manage Cell Execution | by Marc Cohen
  - グラフニューラルネットワーク(GNN)徹底解説！用途と仕組みから PyG での実装まで
  - 深層モデルの高速化
- 進捗確認
  - 組込環境で Transformer
  - 競馬 AI 予測研究
  - 低リソースデバイスで AI
  - 異常音検出
  - エッジデバイス上で学習
  - 強化学習
  - JetBot で自動運転

日　時 2023 年 8 月 29 日(火) 18:00～19:00
場　所 Web 会議
参加者 10 名/6 社
概　要 第 33 回 WG(情報共有/進捗確認)
成　果
- 最近の話題の共有
  - GitHub - hppRC/llm-lora-classification: LLM と LoRA を用いたテキスト分類
  - OpenMMLab の始め方@SUMMER 2023
  - numpy.org が日本語とポルトガル語に対応しました
  - 100 億パラメータサイズ・日英 2 ヶ国語対応の大規模言語モデル“Weblab-10B”を公開しました。- 東京大学松尾研究室 -
- 進捗確認
  - 組込環境で Transformer
  - 競馬 AI 予測研究
  - 低リソースデバイスで AI
  - 異常音検出
  - エッジデバイス上で学習
  - 強化学習

- JetBot で自動運転

日　時 2023 年 9 月 26 日(火) 18:00～19:00
場　所 Web 会議
参加者 7 名/3 社
概　要 第 34 回 WG(情報共有/進捗確認)
成　果
- 最近の話題の共有
  - The Kaggle Workbook 著名コンテストに学ぶ！競技トップレベルの思考と技術
  - Meta の「Llama 2」をベースとした商用利用可能な日本語 LLM「ELYZA-japanese-Llama-2-7b」を公開しました｜ELYZA, Inc.
  - 大規模言語モデル - Speaker Deck
  - 【AI 論文解説】UNINEXT 20 個の SOTA を単一のパラメータで達成！？Instance Perception における統一モデル - YouTube
  - AdamW における改善点をきちんと理解する
  - DreamLLM: Synergistic Multimodal Comprehension and Creation
- 進捗確認
  - 組込環境で Transformer
  - 競馬 AI 予測研究
  - 低リソースデバイスで AI
  - 異常音検出
  - エッジデバイス上で学習
  - 強化学習
  - JetBot で自動運転

日　時 2023 年 10 月 24 日(火) 18:00～19:00
場　所 Web 会議
参加者 8 名/4 社
概　要 第 35 回 WG(情報共有/進捗確認)
成　果
- 最近の話題の共有
  - ニューラルネットワークの量子化手法の紹介 - Speaker Deck
  - 時系列予測に Transformer を使うのは有効か？
  - 日英 2 言語対応の大規模言語モデル PLaMo-13B を研究・商用利用可能なオープンソースソフトウェアライセンスで公開 - 株式会社 Preferred Networks
  - ICCV 2023 Report (公開 ver1)
- 進捗確認
  - 組込環境で生成 AI
  - 競馬 AI 予測研究
  - 低リソースデバイスで AI
  - 異常音検出
  - エッジデバイス上で学習
  - 強化学習
  - JetBot で自動運転

日　時 2023 年 11 月 21 日(火) 18:00～19:00
場　所 Web 会議
参加者 9 名/4 社
概　要 第 36 回 WG(情報共有/進捗確認)

成　果

- 最近の話題の共有
  - muana vol.11 音楽識別の事前学習モデル - Speaker Deck
  - izumi-lab/deberta-v2-base-japanese · Hugging Face
  - 最高性能の、日本語画像言語特徴抽出モデル「Japanese Stable CLIP」をリリースしました ー Stability AI Japan
  - 1 兆パラメータの大規模言語モデルを一般的なサーバで推論可能にする圧縮フレームワーク「QMoE」
  - 画像理解を得意とするオープンソース視覚言語モデル「CogVLM」
- 進捗確認
  - 組込環境で生成 AI
  - 競馬 AI 予測研究
  - 低リソースデバイスで AI
  - 異常音検出
  - エッジデバイス上で学習
  - 強化学習
  - コンペに挑戦

日　時 2023 年 12 月 19 日(火) 18:00～19:00
場　所 Web 会議
参加者 5 名/3 社
概　要 第 37 回 WG(情報共有/進捗確認)
成　果

- 最近の話題の共有
  - O'Reilly Japan - 事例で学ぶ特徴量エンジニアリング
  - Keras: Deep Learning for humans
  - 誰でもわかる強化学習 - Speaker Deck
  - 2023 LLM サマースクール コンペの解法メモ | ドクセル
  - DeepMind の『GNoME』が「人間の直感を超えた 220 万の材料を発見し」うち 736 は既に人間が実験室で再現したとの報告、Nature 誌 | AIDB
  - 言語に頼らず画像理解する「Large Vision Model」(生成 AI ウィークリー) | テクノエッジ TechnoEdge
- 進捗確認
  - 組込環境で生成 AI
  - 競馬 AI 予測研究
  - 低リソースデバイスで AI
  - 異常音検出
  - エッジデバイス上で学習
  - 強化学習
  - コンペに挑戦

日　時 2024 年 1 月 23 日(火) 18:00～19:00
場　所 Web 会議
参加者 8 名/3 社
概　要 第 38 回 WG(情報共有/進捗確認)
成　果

- 最近の話題の共有
  - Swallow

- ”良い”データセット構築を考える - Speaker Deck
- 機械学習の落とし穴 リーク問題について - ABEJA Tech Blog
- 松尾研 LLM 講座 講義コンテンツ｜東京大学松尾研究室 - Matsuo Lab
- AI×医用画像の現状と可能性_2023 年版/AI×medical_imaging_in_japan_2023 - Speaker Deck
- Prophet による時系列データ予測: Analyst-in-the-Loop
- 人工知能学会(JSAI) 公式チャンネル - YouTube

● 進捗確認
- 組込環境で生成 AI
- 競馬 AI 予測研究
- 低リソースデバイスで AI
- 画像の異常検出
- エッジデバイス上で学習
- 強化学習
- コンペに挑戦

日　時 2024 年 2 月 7 日(火) 18:00～19:00
場　所 Web 会議
参加者 5 名/4 社
概　要 第 39 回 WG(情報共有/進捗確認)
成　果

● 最近の話題の共有
- Deep State Space Models 101 / Mamba - Speaker Deck
- airllm を使って T4 で 70B LLM の推論を実行してみる｜株式会社 AI Shift
- 自己教師あり学習による事前学習(CVIM チュートリアル) - Speaker Deck
- Recruit Data Blog｜日本語 CLIP 学習済みモデルと評価用データセットの公開
- 2024 年の Python プログラミング - Uzabase for Engineers
- 大規模画像テキストデータのフィルタリング手法の紹介 - Speaker Deck

● 進捗確認
- 組込環境で生成 AI
- 競馬 AI 予測研究
- 低リソースデバイスで AI
- 画像の異常検出
- エッジデバイス上で学習
- 強化学習
- コンペに挑戦

日　時 2024 年 3 月 26 日(火) 18:00～19:00
場　所 Web 会議
参加者 8 名/4 社
概　要 第 40 回 WG(成果報告会)
成　果

● 成果報告
- 組込環境で生成 AI
- 競馬 AI 予測研究
- 低リソースデバイスで AI
- 画像の異常検出
- エッジデバイス上で学習

- 強化学習
- コンペに挑戦

【事業№2】技術者育成

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)

AI に興味のある技術者を対象に Deep Learning とは何かを理解し、製品に組込める技術者の育成

日　時 2023 年 6 月 14 日(水) 18:00～20:00
場　所 Web 会議
参加者 7 名/4 社
概　要 第 1 回セミナー(Deep Learning 基礎)
成　果
- Deep Learning の説明
- Deep Learning の最近の話題
  - サム・アルトマンとレックス・フリードマンが AI について話す
- Python 基礎と MNIST デモを Google Colaboratory で実施

日　時 2023 年 8 月 2 日(水) 18:00～20:30
場　所 Web 会議
参加者 6 名/3 社
概　要 第 2 回セミナー(Deep Learning 基礎)
成　果
- Neural Network の解説
- Neural Network の学習アルゴリズムの説明
- 課題発表に向けたグループ分け

日　時 2023 年 11 月 8 日(水) 18:00～20:00
場　所 Web 会議
参加者 5 名/3 社
概　要 第 3 回セミナー(Deep Learning 基礎)
成　果
- ハイパーパラメータなど学習にあたってのテクニックの解説
- CNN の解説
- Colab で Keras MNIST の学習結果の可視化デモ
- 課題進捗発表

日　時 2024 年 2 月 14 日(水) 18:00～20:00
場　所 Web 会議
参加者 4 名/2 社
概　要 第 4 回セミナー(Deep Learning 基礎)
成　果
- 課題進捗発表

日　時 2024 年 3 月 21 日(水) 18:00～20:00
場　所 Web 会議
参加者 5 名/3 社
概　要 成果報告会
成　果

● 成果発表

3.活動成果/成果物

特記事項なし

4.今後の予定[2024 年 4 月 1 日～2024 年 7 月 31 日]

【事業№1】会議(委員会、WG会議)

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)

Deep Learning を既に理解し開発できる技術者とエッジ AI 活用研究

日　時　2024 年 5 月 21 日(火) 18:00～19:00
場　所 Web 会議
概　要 第 41 回 WG

日　時　2024 年 6 月 18 日(火) 18:00～19:00
場　所 Web 会議
概　要 第 42 回 WG

日　時　2024 年 7 月 23 日(火) 18:00～19:00
場　所 Web 会議
概　要 第 43 回 WG

【事業№2】技術者育成

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)

AI に興味のある技術者を対象に Deep Learning とは何かを理解し、製品に組込める技術者の育成

日　時　2024 年 7 月 3 日(水) 18:00～20:00
場　所 Web 会議
概　要 第 1 回セミナー

5. その他特記事項

特記事項なし

プラットフォーム構築委員会

OpenEL 活用 WG

1. 活動概要(2023 年度の事業方針)

OpenEL を国際標準とするためには、優れた仕様だけでは不十分であり、多くのユーザーに使っていただく必要がある。そのためには、多くのユーザーが使用しているプラットフォームに対応するのが得策である。よって、世界で広く利用されているプラットフォームやデバイスへの対応を行うとともに、一般向けの勉強会を開催する。また、高度化する組込みシステム開発において品質と効率を上げるモデルベース開発が求められており、上流から下流まで一気通貫して開発できることが重要である。そして、これを実現するためにも各レイヤーのツールベンダーを巻き込む必要がある。そして、各ツールで OpenEL をサポートすることにより、インターフェースが統一されるため、モデルからソースコードを自動生成し、さらに自動テストまで行うことが可能になる。ゆえに、OpenEL が組込みシステム開発において上流から下流まで一気通貫したソリューションを提供する核となる。

さらに、組込みシステムセキュリティ委員会と連携し、セキュリティ対応を目的として仕様を強化する。

2. 各事業についての報告

【事業№1】会議(委員会、WG会議)

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)

OpenEL の仕様策定、普及・啓発およびその他の活動計画の立案、国際標準化の可能性の検討
組込みソフトウェア開発技術の調査、アクチュエーターやセンサーに関する技術の調査、講師を招いての勉強会の開催、OpenEL 仕様書の執筆、実装などの具体的な作業を行う。

・第 1 回 WG
日　時 2023 年 4 月 24 日(月) 16:00～17:10
場　所 JASA 会議室及び WebEx
参加者 13 名/9 社
概　要 2023 年度の活動目標の確認、OpenEL 移植計画の進捗確認、
ファナティック社のエッジコンピューティング PC の紹介

・説明会
日　時 2023 年 4 月 24 日(月) 17:10～18:10
場　所 JASA 会議室及び WebEx
参加者 13 名/9 社
講　師 芝浦工業大学 工学部 教授 菅谷みどり 様
講演タイトル CREST Society 5.0 を支える革新的コンピューティング技術「MEC 用マルチノード統合システムの開発」
講演概要 内部に再構成可能論理回路と CPU を持ち、転送遅延と帯域を保証するスイッチデバイス Crust-Core 型 HUB を開発し、これを用いて複数 FPGA、アクセラレータから成るマルチコア環境を構築する。またシステム全体のプログラムを行うための統合設計用 CAD、システムを制御するミドルウェアとランタイムシステムを構築する。さらに、スマートコミュニティの交通制御、電力制御、ロボット制御に適用し、その有効性を示す。

・第 2 回 WG
日　時 2023 年 5 月 15 日(月) 15:00～16:40
場　所 JASA 会議室及び WebEx
参加者 14 名/9 社
概　要 OpenEL 移植計画の進捗確認、OpenEL C++版リポジトリの実装完了・公開、
箱庭との接続、SEMB1401 Wi-Fi モジュールの動作確認、成果発表会資料の確認

・第 3 回 WG
日　時 2023 年 6 月 26 日(月) 15:00～16:20
場　所 JASA 会議室及び WebEx
参加者 10 名/7 社
概　要 令和 4 年度成果発表会の報告、OpenEL 移植計画の進捗確認、
箱庭で使用するための LEGO のモデルの軽量化の検討、
SEMB1401 Wi-Fi モジュールの動作確認、Azure IoT Hub との接続確認

・第 4 回 WG
日　時 2023 年 7 月 24 日(月) 15:00～16:55
場　所 JASA 会議室及び WebEx
参加者 16 名/10 社
概　要 OpenEL 移植計画の進捗確認、
箱庭で使用するための LEGO のモデルの軽量化の検討、
IoT DEP(Data Exchange Platform)の紹介
(金沢工業大学 横谷哲也 教授、石橋孝一 准教授)
ISO/IEC JTC1/SC41 で標準化

ISO/IEC 21823-2:2020 Internet of Things (IoT)
Internet of things (IoT) - Interoperability for IoT systems
- Part 2: Transport interoperability
の詳細アーキテクチャとして
ISO/IEC 30161-1:2020 Internet of Things (IoT)
- Requirements of IoT data exchange platform for various IoT services
- Part 1: General requirements and architecture
ISO/IEC 30161-2:2023 Internet of Things (IoT)
- Data exchange platform for IoT services
- Part 2: Transport interoperability between nodal points
を発行済み。Part 3 ではアプリケーション接続インターフェースを規定予定。

・第 5 回 WG
日　時 2023 年 8 月 28 日(月) 15:00～16:45
場　所 JASA 会議室及び WebEx
参加者 11 名/9 社
概　要 EdgeTech+ West 2023 展示・講演報告、OpenEL 移植計画の進捗確認、
OpenEL と IoT DEP の連携について協議
成　果 OpenEL と IoT DEP の連携および国際標準化作業を進めることで合意した。

・第 6 回 WG
日　時 2023 年 9 月 28 日(木) 15:00～16:30
場　所 JASA 会議室及び WebEx
参加者 14 名/9 社
概　要 OpenEL 移植計画の進捗確認、IoT DEP(Data Exchange Platform)の進捗確認、
金沢工業大学の横谷先生らが国際会議 APLIS(Asia Pacific Conference on Robot IoT System and Platform)2023 に投稿した論文の内容説明

・第 7 回 WG
日　時 2023 年 10 月 23 日(月) 15:00～16:25
場　所 JASA 会議室及び WebEx
参加者 10 名/8 社
概　要 OpenEL 移植計画の進捗確認、
自律型桟橋点検支援ロボット「YURA」の紹介(アップウィンドテクノロジー)

・第 8 回 WG
日　時 2023 年 12 月 18 日(水) 15:00～17:00
場　所 JASA 会議室及び WebEx
参加者 11 名/9 社
概　要 OpenEL 移植計画の進捗確認、IoT DEP(Data Exchange Platform)の進捗確認、
EdgeTech+2023 出展報告、2024 年度事業計画および予算の検討

・第 9 回 WG
日　時 2024 年 1 月 23 日(水) 15:00～16:25
場　所 JASA 会議室及び WebEx
参加者 12 名/9 社
概　要 OpenEL 移植計画の進捗確認、IoT DEP(Data Exchange Platform)の進捗確認、
第 1 回セミナー企画・検討

・第 10 回 WG
日　時 2024 年 2 月 27 日(火) 16:00～16:45
場　所 JASA 会議室及び WebEx
参加者 11 名/8 社
概　要 OpenEL 移植計画の進捗確認、IoT DEP(Data Exchange Platform)の進捗確認、
第 2 回セミナー企画・検討

・第 11 回 WG
日　時 2024 年 3 月 26 日(火) 16:00～17:00
場　所 JASA 会議室及び WebEx
参加者 10 名/7 社
概　要 OpenEL 移植計画の進捗確認、IoT DEP(Data Exchange Platform)の進捗確認

・第 1 回セミナー
日　時 2024 年 2 月 27 日(火) 15:00～16:00
場　所 JASA 会議室及び WebEx
参加者 13 名/11 社
講演者:Knowledge&Experience 太田 寛 様
タイトル:ChatGPT(LLM による生成系 AI)の追加学習を No Code で行う
概　要
昨年から何かと話題の ChatGPT ですが、公開されている標準の学習済み ChatGPT モデルは、非公開のドキュメントや太田氏が公開している IoT に関する定期購読マガジンのような有償のコンテンツによる学習はされていません。これらの情報をもとにしたクエリが行えるようにするには、独自の情報を使った追加学習が必要です。追加学習を行うには通常、追加学習を行うための HW リソース、Python コードの実装など必要ですが、本セミナーでは、Microsoft Azure AI Studio を使った、No Code の ChatGPT 追加学習を行う方法を実演いただきました。
追加学習を行うコンテンツは、現実世界をモデル化する概念モデリング(Art of Conceptual Modeling)を説明するドキュメント群です。追加学習を行う前と後でクエリの結果がどう変わるかを比較するとともに、RAG(プロンプトエンジニアリング)、最新の生成系 AI 活用や、この活動を行っている背景・動機、言語哲学や圏論からみた LLM とは何ぞや、といったトピックスも簡単に紹介いただきました。

・第 2 回セミナー
日　時 2024 年 3 月 26 日(火) 15:00～16:00
場　所 JASA 会議室及び WebEx
参加者 12 名/8 社
講演者:金沢工業大学 横谷 哲也 様
タイトル: IoT プラットフォーム(IoT DEP)の狙いと今後の機能拡張について
概　要
様々な IoT サービスの導入が進んでいる。サービスの提供方法も当初サービスを実現する機能を当該サービスに特化した垂直型が主であったが、近年複数のサービスで機能を共用化する水平型が注目されている。
IoT Data Exchange Platform(IoT DEP)は、情報通信機能を複数のサービスに共通的に提供するプラットフォームである。
IoT DEP は、普及浸透を狙い ISO/IEC JTC1/SC41 にて日本起案で標準化されている。
要求条件、アーキテクチャ等は基本標準として ISO/IEC 30161 として国際規格に登録されているが、今後制御システム向けの機能の組込み等が検討されている。
本講演では、IoT DEP の概要と今後の機能拡張について紹介いただきました。

【事業№2】EdgeTech+ West 2023

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)

OpenEL の普及・啓発活動

EdgeTech+ West 2023 にて、OpenEL を用いた組込みソフトウェア開発手法の講演およびデモ展示を行う。

・JASA パビリオン内 OpenEL ブースにて、下記のデモ展示及び説明を行った。

1. シマフジ電機 IoT-Engine RZ/T1(SEMB1401)と加速度センサーADXL345
2. OpenEL を使用したロボット制御アプリケーションの箱庭上でのシミュレーション

・OpenEL ブースへの来場者数は、50～60 名

・JASA セミナーにて、「OpenEL が変える組込みシステム開発」と題した講演を行った。
聴講者数は会場:11 名

・セミナー資料ダウンロード用アンケートチラシを 50 部配布、回答者数は 26 名

【事業№3】EdgeTech+ 2023

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)

OpenEL の普及・啓発活動

EdgeTech+ 2023 にて、OpenEL を用いた組込みソフトウェア開発手法の講演およびデモ展示を行う。

・JASA パビリオン内 OpenEL ブースにて、下記のデモ展示及び説明を行った。

1. シマフジ電機 IoT-Engine RZ/T1(SEMB1401)と加速度センサーADXL345 による Azure IoT Hub へのデータ送信
2. OpenEL を使用したロボット制御アプリケーションの箱庭上でのシミュレーション

・JASA セミナーにて、「OpenEL が変える組込みシステム開発」と題した講演を行った。

3. 活動成果/成果物

・国際会議 APLIS 2023 に採択された IoT DEP の論文内で OpenEL の論文[1]が参照された。

[1]Kenichi Nakamura, “OpenEL – A Next Generation Platform for Robot Development from Japan to International Standard –,” IEICE Technical Report, CNR2013-11. 2013

4. 今後の予定[2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日]

WG 開催:
2024/4/22(月)、5/27(月)、6/24(月)、7/22(月)、8/26(月)、9/30(月)、10/28(月)、11/25(月)、12/23(月)、2025/1/27(月)、2/17(月)、3/24(月)

5. その他特記事項

報告事項なし。

組込み IoT モデリング WG

1. 活動概要(2023 年度の事業方針)

本 WG では、IoT 時代に必要とされる手法やモデルを明らかにし、その活用を促すとともに共有資産の創出を目指す。
進め方としては、大まかな方向性や見解を議論する WG と、それを使って実際にモデルを作成し有効性を検証し、WG にフィードバックするサブ WG の 2 つの活動を並行して行っていく。

2. 各事業についての報告

【事業№1】会議(委員会、WG会議)

目的: サブ WG の運営に関する作業を委託することで、参加者の負担を軽減し、より活動に注力できるようにする。

概要:　サブ WG の開催に関する運営業務の委託。具体的には、次の作業(連絡用 ML の管理、会合開催の連絡、当日の出席・進行補佐、議事録の作成、成果物の管理等)。

(1)WG

【第 54 回WG】
日　時　　2023 年 4 月 190 日(水) 15:00～17:00
場　所　　Zoom ミーティング
参加者　　9 名 /7 社
概　要　　JASA 技術本部の成果発表会について
　　ジョブ理論の拡張モデルについて
成　果　　成果発表会に向けた内容確定

【第 55 回WG】
日　時　　2023 年 5 月 17 日(水) 15:00～16:00
場　所　　Zoom ミーティング
参加者　　7 名 /6 社
概　要　　技術本部成果発表会の資料レビュー
成　果　　これまで実施してきた成果物の確認および資料レビュー

【第 56 回WG】
日　時　　2023 年 6 月 21 日(水) 15:00～17:00
場　所　　Zoom ミーティング
参加者　　8 名 /6 社
概　要　　JASA 技術本部成果発表会の報告
　　サブ WG についての活動内容に関する相談
　　立命館大いばらきキャンパスの概要調査
　　今後の活動案
成　果　　今後の活動内容(ビジネス視点でいばらきキャンパスを分析する

【第 57 回WG】
日　時　　2023 年 7 月 19 日(水) 15:00～17:00
場　所　　Zoom ミーティング
参加者　　8 名 /7 社
概　要　　いばらきキャンパスのコンセプト調査と GSN の作成
成　果　　いばらきキャンパスのコンセプト確認

【第 57 回WG】
日　時　　2023 年 9 月 20 日(水) 15:00～17:00
場　所　　Zoom ミーティング
参加者　　9 名 /7 社
概　要　　いばらきキャンパスを題材とした GSN と JOB 理論モデルの連携
成　果　　GSN および JOB 理論モデル

【第 58 回WG】
日　時　　2023 年 10 月 18 日(水) 15:00～17:00
場　所　　Zoom ミーティング
参加者　　7 名 /6 社
概　要　　いばらきキャンパスを題材とした GSN と JOB 理論モデルの連携(続き)

成　果　　GSN および JOB 理論モデル

【第 59 回WG】
日　時　　2023 年 12 月 20 日(水) 15:00～17:00
場　所　　株式会社エクスモーション＆Zoom ミーティング
参加者　　9 名 /7 社
概　要　　いばらきキャンパスに対する学生からのヒアリング
成　果　　JOB 理論モデルの検証ネタの収集

【第 60 回WG】
日　時　　2024 年 2 月 21 日(水) 15:00～17:00
場　所　　Zoom ミーティング
参加者　　7 名 /6 社
概　要　　いばらきキャンパスを題材とした GSN と JOB 理論モデルの連携(続き)
　　次年度の活動内容
成　果　　学生からのヒアリング結果を反映した JOB 理論モデル

(2)サブWG
【第 68 回WG】
日　時　　2023 年 4 月 19 日(水) 18:00～20:00
場　所　　Zoom ミーティング
参加者　　7 名 /5 社
概　要　　今後の計画
成　果　　今後の計画および当面の作業内容確定

【第 69 回WG】
日　時　　2023 年 5 月 19 日(水) 18:00～19:00
場　所　　Zoom ミーティング
参加者　　7 名 /5 社
概　要　　JASA の成果発表会報告
　　メイン WG の 2023 年の予定報告
成　果　　次回以降の進め方

【第 70 回WG】
日　時　　2023 年 6 月 2 日(水) 18:00～20:00
場　所　　Zoom ミーティング
参加者　　6 名 /4 社
概　要　　立命館いばらきキャンパスの説明
成　果　　モデリング題材の理解

【第 71 回WG】
日　時　　2023 年 7 月 7 日(水) 18:00～20:00
場　所　　Zoom ミーティング
参加者　　5 名 /4 社
概　要　　立命館大学大阪いばらきキャンパスのコンセプト
成　果　　モデリング題材の理解

【第 72 回WG】
日　時　　2023 年 8 月 4 日(水) 18:00～20:00
場　所　　Zoom ミーティング

参加者　　6 名 /4 社
概　要　　いばらきキャンパスを題材としたジョブモデルの作成
成　果　　ジョブモデル

【第 73 回WG】
日　時　　2023 年 9 月 1 日(水) 18:00～20:00
場　所　　Zoom ミーティング
参加者　　2 名 /2 社
概　要　　いばらきキャンパスを題材としたジョブモデルの作成(続き)
成　果　　JOB モデル更新

【第 74 回WG】
日　時　　2023 年 10 月 6 日(水) 18:00～20:00
場　所　　Zoom ミーティング
参加者　　6 名 /4 社
概　要　　いばらきキャンパスを題材としたジョブモデルの作成(続き)
成　果　　JOB モデルの更新

【第 75 回WG】
日　時　　2023 年 12 月 1 日(水) 18:00～20:00
場　所　　Zoom ミーティング
参加者　　5 名 /5 社
概　要　　いばらきキャンパスを題材としたジョブモデルの作成(続き)
成　果　　JOB モデル更新

【第 76 回WG】
日　時　　2024 年 1 月 19 日(水) 18:00～20:00
場　所　　Zoom ミーティング
参加者　　7 名 /4 社
概　要　　いばらきキャンパスを題材としたジョブモデルの作成(続き)
成　果　　JOB モデルの更新

【事業№2】ET-WEST2023
目的:WG の活動および成果の訴求
概要:WG 成果物の一部を用いて、展示会で説明を行う。

特になし

【事業№3】ET2023
目的:WG の活動および成果の訴求
概要:WG 成果物の一部を用いて、展示会で説明を行う。
特になし

4. 今後の予定[2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日]

月 1 回の WG およびサブ WG を定期的に開催予定

5. その他特記事項

特記事項なし

組込み DevOps プラットフォーム WG

1. 活動概要(2023 年度の事業方針)

組込み業界のための、新時代の総合的な開発支援環境を策定する。DevOps プラットフォームの具体的な開発までの方向性を決定してゆく。

2. 各事業についての報告

【事業№1】会議(委員会、WG会議)

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)

・不定期 開催

－ DevOps のモックアップ開発

2024 年 2 月 15 日～数日間

「DevOps PF の DB 問い合わせの ユーザー対話部分の開発」公募について、公募仕様などについて議論などをメール・ベースで行った。

公募仕様に基づいて、2024/FEB/02 に JASA 事務局より、会員に向けに、「DevOps PF の DB 問い合わせの ユーザー対話部分の開発」公募を実施し、結果、見積額が最安値であったアップウィンドテクノロジ社に、開発を委託した(納期は 2024 年 3 月 25 日)。

なお、DevOps DB など(GUI 以外の部分)の試作版開発は、WG メンバーで行っている。

2024 年 2 月 13 日に、アップウィンドテクノロジ社へ開発の依頼が決定した。

2024 年 2 月 21 日に、アップウィンドテクノロジ社へ開発内容の打ち合わせ会議を持った。

2024 年 3 月 25 日「DevOps PF の DB 問い合わせの ユーザー対話部分の開発」の納品を、アップウィンドテクノロジ社より受ける。

2024 年 4 月 12 日 上記 納品物に関する質疑応答の会議を実施

－「組込み開発分野での生成 AI 活用」の議論

2024 年 2 月 13 日、20 日、3 月 11 日、3 月 27 日

経産省の生成 AI 活用などの公募(2024 年 5～6 月ごろ)に備えて、会員有志による、「組込み開発分野での生成 AI 活用」の議論などを、本 WG が中心となって行っている。

2024 年 2 月 29 日は、武部専務に同行して、経産省と「組込み開発分野での生成 AI 活用」に関する意見交換を行った。

3. 活動成果 /成果物

組込み DevOps PF 仕様(2023 年度版)

組込み DevOps PF ツール UI モックアップ仕様、DevOps システム概要資料(2023 年度版)作成したモックアップ

「組込み開発分野での生成 AI 活用」に関する文書

4. 今後の予定[2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日]

不定期開催、遠隔会議として開催予定

完成した GUI モックアップをもとに、正式 GUI と、機能仕様を決定するための議論などを予定。

数年後に、生成 AI を DevOps PF に組み入れるための機構に関する議論などを予定。

5. その他特記事項

特に無し

ハードウェア委員会

デバイス WG

1. 活動概要(2023 年度の事業方針)

2021 年度に購入した FPGA ボードの活用

拡張ボードの製作

FPGA ボードへの RISC-V コアの実装手順の確立

2. 各事業についての報告

【事業№1】会議(委員会、WG会議)

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)

デバイスWGの活動状況の報告

日　時 2023 年 4 月 25 日(火) 15:00～15:30
場　所 オンライン
参加者 2 名/2 社
概　要
①ハードウェア委員会 委員長について
②デバイス WG の活動計画について
③その他
成　果 活動内容について議論し展示会発表でのWGへの参加の呼びかけなどを行う。

日　時 2023 年 5 月 23 日(火) 15:00～15:30
場　所 オンライン
参加者 2 名/2 社
概　要
①デバイス WG の活動計画について
②その他
成　果 セミナーの発表内容の素案について周知と執筆の協力を要請。

日　時 2023 年 7 月 25 日(火) 15:00～15:30
場　所 オンライン
参加者 3 名
概　要
①RISC-V Days の参加報告
②技術発表会の報告
③その他
成　果 1 社興味を示していただけた

日　時 2023 年 7 月 25 日(火) 15:00～15:30
場　所 オンライン
参加者 3 名
概　要
①RISC-V Days の参加報告
②技術発表会の報告
③その他
成　果 1 社興味を示していただけた

日　時 2023 年 9 月 26 日(火) 16:00～16:30
場　所 オンライン
参加者 2 名/2 社
概　要
①デバイスWGの活動について
②11 月の展示会発表について
③その他
成　果 活動内容について議論し展示会発表でのWGへの参加の呼びかけなどを行う。

日　時 2023 年 8 月 26 日(火) 16:00～16:30
場　所 オンライン
参加者 2 名/2 社
概　要
①デバイスWGの活動について
②11 月の展示会発表について
③その他
成　果 活動内容について議論し展示会発表でのWGへの参加の呼びかけなどを行う。

日　時 2023 年 9 月 26 日(火) 16:00～16:30
場　所 オンライン
参加者 2 名/2 社
概　要
①デバイスWGの活動について
②11 月の展示会発表について
③その他
成　果 活動内容について議論し展示会発表でのWGへの参加の呼びかけなどを行う。

日　時 2023 年 10 月 24 日(火) 16:00～16:30
場　所 オンライン
参加者 2 名/2 社
概　要
① 11 月開催の EdgeTech セミナーについて
② その他
成　果 セミナーの発表内容の素案について周知と執筆の協力を要請。

【事業№2】EdgeTech2023 の JASA セミナー

日　時 2023 年 11 月 15 日(火) 16:30～16:50
場　所 パシフィコ横浜 セミナーROOM D
参加者 10 名ほど
概　要
① デバイスWGの活動内容の説明など
成　果 1 社興味を示していただけた

2023 年 12 月 1 日～2024 年 3 月 31 日
上記の報告期間では報告はありません。
＜理由＞
2023 年 12 月 21 日、2024 年 1 月 30 日、2 月 27 日、3 月 26 日に WG を開催予定だったが主催者の都合によりすべて中止となった。

3. 活動成果/成果物

成果なし

4. 今後の予定[2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日]

デバイスWG オンライン
4 月は開催なし
第 26 回　5 月 28 日
第 27 回　6 月 25 日
第 28 回　7 月 23 日
第 29 回　8 月 27 日
第 30 回　9 月 24 日
第 31 回 10 月 22 日
第 32 回 11 月 26 日
第 33 回 12 月 24 日
第 34 回　1 月 21 日
第 35 回　2 月 25 日
第 36 回　3 月 25 日

5. その他特記事項

RISC-V WG

1. 活動概要(2023 年度の事業方針)

【背景】

・RISC-V はハード、ソフトともにオープンソースかつロイヤリティフリーであり、加えて組み込み機器では今後ますます重要性を増す認証やデータの安全性を担保するセキュリティ機能についても技術開発が進んでいることから、JASA として押さえておくべき重要技術の 1 つである
・一方、実装にはノウハウが必要で、使いこなせるようになるにはノウハウの積み重ねが必要となる
・このため、20～22 年度に会員が自由に利用できる JASA 版入門用 RISC-V プラットフォームを開発した

【方針】

1. オープンな仕様で、会員及び業界が自由に活用できる RISC-V プラットフォームを会員の協力で開発する
2. コミュニティ化など、開発した RISC-V プラットフォームの普及活動を行い、応用範囲を広げる

3. 上記活動を通して RISC-V コミュニティに貢献するとともに JASA のプレゼンス向上を図る
・今年度はこれまで開発してきたプラットフォームおよび周辺環境を整備し、JASA 内外での活用を図る

2. 各事業についての報告

【事業№1】会議(委員会、WG会議)

目的・委員間での会合 (関連委員会、WG メンバー含む)

概要・毎月定例会を開催する

・会員もしくは外部の RISC-V 有識者による勉強会を実施する

#	回次	年	月	日	曜	開催/休会	会社数	学校数	参加者
1	第45回	2023	4	26	水	ハイブリッド開催	8	1	12
2	第46回	2023	5	31	水	ハイブリッド開催	6	1	12
3	第47回	2023	6	28	水	ハイブリッド開催	7	1	18
4	第48回	2023	7	26	水	ハイブリッド開催	6	1	12
5	第49回	2023	8	30	水	ハイブリッド開催	8	1	16
6	第50回	2023	9	20	水	ハイブリッド開催	9	0	14
7	第51回	2023	10	25	木	ハイブリッド開催	11	2	24
8	第52回	2023	11	29	水	ハイブリッド開催	8	1	16
9	第53回	2023	12	20	水	ハイブリッド開催	9	2	18
10	第54回	2024	1	31	水	ハイブリッド開催	7	1	15
11	第55回	2024	2	28	木	ハイブリッド開催	9	1	17
12	第56回	2024	3	27	水	ハイブリッド開催	8	2	18
						延べ合計	96	14	192

第 45 回 WG

日　時 2023 年 4 月 26 日(水) 15:00～17:00

場　所 JASA 会議室と WebEX オンラインによるハイブリッド開催

参加者 8 社, 1 校 / 12 名

概　要 1. 昨年度の振り返り

(1) 活動のサマリと成果物

(2) 公開用サイトの状況

2. 今年度の計画

(1) 予算認可状況

(2) 今年度事業内容に関する提案

・JASA 版 RISC-V Chip 開発提案

3. 情報共有、その他

・5 月の Web セミナー講師決定の件

・6 月 9 日,技術本部成果発表会

成　果・昨年度の総括の実施

・今年度開発の方向性確認

・次回の WG 主催 Webinar の計画決定

第 46 回 WG（第 12 回 RISC-V WG 主催 Webinar に続き開催）

日　時 2023 年 5 月 31 日(水) 16:00～17:00

場　所 JASA 会議室と WebEX オンラインによるハイブリッド開催
参加者 6 社, 1 校 / 12 名
概　要 1. 技術本部成果報告関係
2. 成果共有ページについて
3. RISC-V Days 2023 Spring (6/20)関連
成　果・成果報告の内容確認
・昨年度成果の JASA 会員向け情報共有ページ内容の議論
・RISC-V Days における eFabless CTO とのミーティング段取り決定

第 47 回 WG
日　時 2023 年 6 月 28 日(水) 15:00～16:00
場　所 JASA 会議室と WebEX オンラインのハイブリッド開催
参加者 7 社, 1 校 / 18 名 (うち 4 名は会議室に集合)
概　要 1. 報告会、講演の状況、予定など
(1) 技術本部成果報告結果
(2) RISC-V Days 2023 Summer 講演
(3) EdgeTech+ West
2. 今年度の活動関係
(1) eFabless CTO との打合せ報告
(2) RISC-V WG のプロジェクトガイダンスについて
(3) JASA 版 RISC-V Chip 開発提案
(4) EdgeTech+ WEST
成　果・発表関連の状況及び結果共有
・今年度の活動内容の議論

第 48 回 WG
日　時 2023 年 7 月 26 日(水) 16:00～17:00
場　所 JASA 会議室と WebEX オンラインによるハイブリッド開催
参加者 6 社, 1 校 / 12 名
概　要 1. 講演関係
(1) EdgeTech+ West (@7/27) 講演内容の共有
2. 今年度の活動関係
(1) JASA 版 RISC-V Chip 開発提案に関する議論
(2) Web コンテンツの整備状況
成　果・Chip 開発提案に関する議論深耕
・Web コンテンツのアップデート

第 49 回 WG
日　時 2023 年 8 月 30 日(水)
場　所 JASA 会議室と WebEX オンラインによるハイブリッド開催
参加者 8 社, 1 校 / 16 名
概　要 1. JASA 版 RISC-V Chip 開発提案に関する議論
2. EdgeTech+展示会出展関係
成　果・Chip 開発提案に関する議論深耕
・EdgeTech+出展に向けた準備の開始
第 50 回 WG
日　時 2023 年 9 月 20 日(水) 15:00～17:15
場　所 JASA 会議室と WebEX オンラインによるハイブリッド開催

参加者 9 社 / 14 名
概　要 1. JASA 版 RISC-V Chip 開発提案に関する議論
2. RISC-V 協会との EdgeTech+への共同展示について
成　果 ・開発する JASA 版 RISC-V チップの概要の決定
・EdgeTech+展示に向けた方針の決定

第 51 回 WG（第 13 回 RISC-V WG 主催 Webinar に続き開催）
日　時 2023 年 10 月 25 日(水) 16:05～17:40
場　所 JASA 会議室と WebEX オンラインによるハイブリッド開催
参加者 11 社, 2 校 / 24 名
概　要 1. 新規参加者の紹介
2. 成果共有ページの公開について
3. RISC-V 協会と相互に賛助会員になった件
4. 今年度の JASA 版 RISC-V チップ開発の方針について議論
5. EdgeTech+ 2023RISC-V WG コーナー展示の件
成　果 ・今年度の開発方針と開発範囲の決定
・EdgeTech+ 2023 展示準備の確認

第 52 回 WG（第 14 回 RISC-V WG 主催 Webinar に続き開催）
日　時 2023 年 11 月 29 日(水) 16:00～16:55 (11/21 時点、開催予定)
場　所 JASA 会議室と WebEX オンラインによるハイブリッド開催
参加者 8 社, 1 校 / 16 名
概　要 1. EdgeTech+ 2023 RISC-V コーナー実施報告
2. 今年度の開発範囲に基づく JASA 版 RISC-V 開発について
成　果 ・チップ発注に必要なファイルの作成につき、①検討すべき項目の明確化と
②実際のファイル作成の 2 つにつき公募にて調査、実施をすることを決定した
・EdgeTech+の結果を報告した
・今年度の Webinar 計画を明らかにした

第 53 回 WG（第 15 回 RISC-V WG 主催 Webinar に続き開催）
日　時 2023 年 12 月 20 日(水) 16:00～16:55
場　所 JASA 会議室と WebEX オンラインによるハイブリッド開催
参加者 9 社, 2 校 / 18 名
概　要 1. 今年度の開発範囲に基づく JASA 版 RISC-V 開発について
2. 来年度の計画及び予算案について
成　果 ・チップ発注に必要なファイルの作成に必要な調査の公募内容を決めた
・来年度の活動方針を決めた

第 54 回 WG（第 16 回 RISC-V WG 主催 Webinar に続き開催）
日　時 2024 年 1 月 31 日(水) 16:10～17:00
場　所 JASA 会議室と WebEX オンラインによるハイブリッド開催
参加者 7 社, 1 校 / 15 名
概　要 1. RISC-V Day Tokyo 2024 Winter 講演報告
2. 今年度の開発範囲に基づく JASA 版 RISC-V 開発について
3. 来年度の計画及び予算案について
成　果 ・RISC-V Day Tokyo 2024 Winter 講演結果を共有した
・来年度予算提案状況を共有し、開発の具体的項目を検討した

第 55 回 WG

日　時 2024 年 2 月 28 日(水) 15:00～15:55

場　所 JASA 会議室と WebEX オンラインによるハイブリッド開催

参加者 9 社, 1 校 / 17 名

概　要 1. 調査項目公募結果の共有

2. 提案内容の詳細について

成　果・来年度に向けての具体的進め方を議論して決定した

第 56 回 WG（第 17 回 RISC-V WG 主催 Webinar に続き開催）

日　時 2024 年 3 月 27 日(水) 16:20～17:00

場　所 JASA 会議室と WebEX オンラインによるハイブリッド開催

参加者 8 社, 2 校 / 18 名

概　要 1. 新規参加者の紹介

2. 調査内容の説明について

成　果・今年度の調査範囲と来年度の準備について議論した

【事業№2】RISC-V プラットフォーム整備

目的 ・JASA 版 RISC-V プラットフォーム活用環境の整備

概要 ・他の委員会, WG 等で活用するための周辺環境の整備

今年度は以下の 2 点を重点推進する

① 昨年度までの 3 か年に渡る開発の成果を JASA 会員で活用できるようにするための環境の整備として、FPGA や RISC-V 初心者であっても手順を踏むことで開発成果を追試できるサイト(Web ベースのコミュニティページ)の立ち上げ

② 最終的に①と同様の手順としてまとめたコンテンツを整備して Chip 開発人材の育成に資するための、JASA 版 RISC-V チップ開発

・①は昨年度成果を日本語と英語のバイリンガルで詳細手順コンテンツにまとめ、RISC-V WG のページからリンクした（ページの一番下にリンクあり）

- 「FPGA」「RISC-V」に興味を持つ JASA 会員はコンテンツを参照しながら手順を踏むことで同じレベルのものを作ることができる
- コンテンツに関しては WG 内で定期的に追試を行うようにして、ツールなどの バージョンの更新に対応できるよう対応中

・②は eFabless 社との打合せ実施、課題や開発ターゲットの明確化など推進中

- 目標は①と同様、チップ開発の経験がなくても公開する手順踏むことでチップの開発ができるコンテンツを作成することとした
- JASA 版 RISC-V チップは今後のセキュリティ対応への進化を見据えた上で、リアルタイム OS(RTOS)が実装でき、クライドにつながるエッジ機器としての要件を備えたものに決定した
- WG での議論の結果、今年度は eFabless 社に発注するデータを作り上げるところをスコープとして進めることを決定した

・昨年度までの(A)FPGA 版 RISC-V の開発と手順の明確化、(B)開発成果の手順の会員への公開という活用促進手法を踏襲し、今年度からは(A)JASA 版 RISC-V SoC チップ(LSI)の開発と手順の明確化、(B)開発成果の手順の会員への公開という形で進めることを確認した

・その上で SoC チップを eFabless 社に発注するデータを作り上げるまでの手順調査を公募の結果、1 社応募があり、WG で検討し、その手順に沿って進めることにした

・前回、発注するデータを作り上げるところをスコープとして進めることに変更し

一部開発に係る調査に着手した

【事業№3】外部団体との協創活動

目的 ・RISC-V 協会、その他の外部 RISC-V 関連団体との連携活動を行う

概要 ・WG の活動を RISC-V コミュニティで認知されたものにする

・JASA 会員が個別に外部団体に加入しなくても参加できるようにする

・特に RISC-V 協会と展示会で協創する

(1)RISC-V 協会と相互に賛助会員となった
(理事会でご認可いただいたことに感謝いたします)

(2)EdgeTech+ 2023 の RISC-V WG コーナーに RISC-V 協会も参加してもらい、
共同で展示を行った (11 月 15 日～17 日)

- 2 団体, 2 大学, 3 社共同でコーナー展示し、のべ 14 回のミニ講演を行った
(ミニ講演の録画コンテンツは今後両団体で活用の予定)

(3)産総研系ベンチャー、AIST Solutions との連携の可能性を探り、会話を始めた

- EdgeTech+ 2023 で、それぞれの講演内で互いの活動につき紹介した

(4) 2023 年 6 月 20 日に東大/伊藤国際学術研究センターで開催された RISC-V 協会主催 RISC-V Days Tokyo 2023 Summer で JASA と JASA RISC-V WG の活動につき講演した ⇒ 事業 No.4 (3)参照

(5)2024 年 1 月 15 日に東大/伊藤国際学術研究センターで開催された RISC-V 協会主催 RISC-V Day Tokyo 2024 Winter で JASA と JASA RISC-V WG の連携強化につき講演した ⇒ 事業 No.4 (3)参照

(6)(5)のイベントで、JASA にコンタクトがあったカナダの RISC-V 関連 NPO, Open HW Group の CEO と会って話し、今後の連携を検討することにした

(7)RISC-V 協会から、同イベントで参加者に配布された新刊本を JASA 会員向けに献本いただいた

【事業№4】広報活動

目的 ・JASA の RISC-V に対する活動を広報する

・会員の RISC-V 理解を深める

概要

【(メンバー・会員対象)Web セミナー開催】

・定例会(メンバ会議)のタイミングで、隔月で年 6 回を目標に開催する

・会員または招聘者による講演、開発の進捗報告等で会員の RISC-V 理解を深める

【展示会出展】

・EdgeTech+ 2023 への出展

(1) RISC-V WG 主催 Webinar の開催

・JASA 会員向けに 6 回の Web セミナーを開催し、140 名が参加した

・但し隔月開催とはならず、後半に開催が集中して課題を残した

#	回次	年	月	日	曜	演題・講師	開催の別	参加者
1	第12回	2023	5	31	水	演題：AIチップ設計拠点（拠点におけるRISC-V利用例） 講師：東京大学 大学院工学系研究科 附属システムデザイン研究センター AIチップ設計拠点　長谷川 淳 氏	WebEX開催	14
2	第13回	2023	10	25	水	演題：AWSが提供するIoTデバイス向けサービス 講師：AWSジャパン プロトタイプエンジニアリング本部 シニアプロトタイピングソリューションアーキテクト　市川 純 氏	WebEX開催	18
3	第14回	2023	11	29	水	演題：組込みソフトウェアエンジニア向け、超簡単RISC-VのFPGAでの試し方 講師：株式会社 DTSインサイト IoEソリューション事業部 第四担当開発課　妹尾 覚 氏	WebEX開催	39
4	第15回	2023	12	20	水	題目：エフィニックス(Efinix) FPGAにRISC-Vを搭載し エッジコンピューティングを加速 講師：エフィニックス合同会社　河端 麻紀子 氏	WebEX開催	29
5	第16回	2024	1	31	水	演題：カスタムRISC-Vの勧めと脆弱性を半減するメモリセーフ技術 CEHRI 講師：Codasip Group , ジャパン カントリーマネージャ　明石 貴昭 氏	WebEX開催	17
6	第17回	2024	3	27	水	演題：自分だけの半導体が作れる世界とは？ 講師：メディア・アーティスト 今村 謙之 氏	WebEX開催	23
							合計	140

第 12 回 RISC-V WG 主催 Webinar 開催

日　時 2023 年 5 月 31 日(水) 15:00～16:00

場　所 WebEX によるオンライン開催

演　題 AI チップ設計拠点(拠点における RISC-V 利用例)

講　師 長谷川 淳 氏

東京大学 大学院工学系研究科 附属システムデザイン研究センター (d.Lab) AI チップ設計拠点

参加者 14 名

概　要

以下の項目につきご講演いただいた

・4/1 から本格運用を始めた AI チップ設計拠点の概要と活用方法の紹介

・RISC-V を搭載した SoC 設計のエミュレータでの検証事例の紹介と実施例から学んだ検証上の注意点

・RISC-V を搭載した SoC チップの試作評価事例紹介

第 13 回 RISC-V WG 主催 Webinar 開催

日　時 2023 年 10 月 25 日(水) 15:00～16:00

場　所 WebEX によるオンライン開催

演　題 AWS が提供する IoT デバイス向けサービス

講　師 市川 純 氏

アマゾン ウェブ サービス ジャパン プロトタイプエンジニアリング本部

シニア プロトタイピング ソリューション アーキテクト

参加者 18 名

概　要

以下の項目につきご講演いただいた

・AWS が提供している IoT デバイス向けのソフトウェアや、そのソフトウェアから利用できるサービスについての紹介

・AWS がサポートする Free RTOS 実装に関して JASA 版 RISC-V チップ及び評価システム構築に必要な要件についての質疑

第 14 回 RISC-V WG 主催 Webinar 開催
日　時 2023 年 11 月 29 日(水) 15:00～15:55
場　所 WebEX によるオンライン開催
演　題 組込みソフトウェアエンジニア向け、超簡単 RISC-V の FPGA での試し方
講　師 妹尾 覚 氏
株式会社 DTS インサイト IoE ソリューション事業部 第四担当開発課
参加者 39 名
概　要
以下の項目につきご講演いただいた
・JASA RISC-V WG でも取り組んでいる RISC-V の FPGA 実装について、FPGA 未経験者でも簡単に試すことができる同社の方法を、動作デモを交えて説明。
・RISC-V に対応した DTS インサイト製デバッガ adviceXross や RISC-V コア評価キットのご紹介および、RISC-V に対応したソフトウェアマイグレーションサービスの紹介。

第 15 回 RISC-V WG 主催 Webinar 開催
日　時 2023 年 12 月 20 日(水) 15:00～15:55
場　所 WebEX によるオンライン開催
演　題 エフィニックス(Efinix) FPGA に RISC-V を搭載しエッジコンピューティングを加速
講　師 河端 麻紀子 氏
エフィニックス合同会社
参加者 29 名
概　要
以下の項目につきご講演いただいた
・Sapphire RISC-V SoC、Titanium FPGA の概要とその応用

第 16 回 RISC-V WG 主催 Webinar 開催
日　時 2024 年 1 月 31 日(水) 15:00～15:55
場　所 WebEX によるオンライン開催
演　題 カスタム RISC-V の勧めと脆弱性を半減するメモリセーフ技術 CEHRI
講　師 明石 貴昭 氏
Codasip Group , ジャパン カントリーマネージャ
参加者 17 名
概　要
以下の項目につきご講演いただいた
・ユーザーによって選択可能な、RISC-V による最適な ISA の組合せ、最適なマイクロアーキテクチャの実装
・セキュリティ面で非常に脆弱な C/C++のメモリ管理に関する画期的な CHERI 技術

第 17 回 RISC-V WG 主催 Webinar 開催
日　時 2024 年 3 月 27 日(水) 15:00～16:10
場　所 WebEX によるオンライン開催
演　題 自分だけの半導体が作れる世界とは？
講　師 今村 謙之 氏
メディア・アーティスト
参加者 23 名

概　要
以下の項目につきご講演いただいた
・実例を基に「すべて(開発ツール(EDA ツール)＋製造(シャトル))無料で独自チップ(アナログ＋デジタル)を作る」流れを紹介
・その世界がどのような影響をもたらすのかについて

(2) JASA 関連

① JASA 技術本部成果発表会で 2022 年度成果を報告
日　時 2023年6月9日(金) 16:50～
場　所 HSB 鐵砲洲 貸会議室
演　題 2022 年度 RISC-V WG 成果報告
発表者 RISC-V WG 主査 / 株式会社日立産機システム 小檜山 智久
概　要 2022 年度の活動成果を報告した
成　果 最優秀賞を受賞した

② EdgeTech+ WEST 2023のJASA技術本部セミナーでRISC-V WGの活動を紹介
日　時 2023 年 7 月 27 日(木) 11:15～12:00 (J1_02)
場　所 EdgeTech+ WEST 2023 講演会場 Room4
演　題 JASA 技術本部セミナー(2)
オープンな仕様で会員が自由に活用できる RISC-V プラットフォーム整備へ
講　師 RISC-V WG 主査 / 株式会社日立産機システム 小檜山 智久
概　要 以下の項目について講演した
(1) RISC-V とは
(2) JASA RISC-V WG について
(3) RISC-V WG の活動の概要
(4) 今年度の展示会 JASA の紹介及び JASA RISC-V WG の位置づけ紹介

③ EdgeTech+ 2023のJASA技術本部セミナーでRISC-V WGの活動を紹介
日　時 2023 年 11 月 15 日(水) 15:45～16:15 (D1_08)
場　所 EdgeTech+ 2023 講演会場 Room D
演　題 JASA 技術本部セミナー(8)
オープンな仕様で自由に活用できる RISC-V プラットフォーム整備へ
講　師 RISC-V WG 主査 / 株式会社日立産機システム 小檜山 智久
概　要 以下の項目について講演した
(1) RISC-V とは
(2) JASA RISC-V WG について
(3) RISC-V WG の活動の概要
(4) 今年の EdgeTech+展示

(3) RISC-V 協会主催 RISC-V Day 関連

① RISC-V Days Tokyo 2023 Summer のセミナーで JASA と RISC-V WG の活動を紹介
日　時 2023 年 6 月 20 日(水) 18:05～18:20
場　所 東京大学 伊藤国際学術研究センター 地下 2 階
多目的スペース特設ステージ
演　題 組み込みシステム技術協会(JASA)のご紹介と RISC-V WG における技術プロジェクト
講　師 RISC-V WG 主査 / 株式会社日立産機システム 小檜山 智久

概　要 以下の項目について講演した
(1) JASA と RISC-V WG について
(2) 今年度展示会のご紹介
(3) RISC-V WG の活動の概要
RISC-V Day Tokyo 2023 Summer | RISC-V 協会 | RISC-V Association (riscv.or.jp)

② RISC-V Day Tokyo 2024 Winterのセミナーで RISC-V WGの活動を紹介
日　時 2024 年 1 月 16 日(水) 13:00～13:20
場　所 東京大学 伊藤国際学術研究センター 地下 1 階ギャラリー1
演　題 ③ RISC-V から始まった半導体民主化
JASA 版 RISC-V プラットフォームの整備に向けて
講　師 JASA RISC-V WG 主査 / 株式会社日立産機システム 小檜山 智久
概　要 以下の項目について講演した
(1) RISC-V 協会との連携強化について
(2) JASA RISC-V WG について
(3) RISC-V WG の活動の概要

3. 活動成果 /成果物［2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日］

1. 月次定例 WG を 12 回(全てを WebEX と JASA 会議室のハイブリッド)で開催し、のべ 96 社 14 校 192 名の参加があった
2. JASA 会員向け RISC-V WG 主催 Webinar を 6 回オンラインで開催し、140 名の参加があった
3. 会員が昨年度の開発成果を追試できる手順チュートリアル Web ページを日・英のバイリンガルのコンテンツで公開し、RISC-V WG のページからリンクした
4. JASA と RISC-V 協会が相互に賛助会員となった
(理事会でご認可いただいたことに感謝いたします)
5. EdgeTech+ 2023 West(7 月 27 日) と EdgeTech+ 2023(11 月 15 日)の JASA セミナーにて RISC-V WG の紹介を講演した
6. EdgeTech+ 2023 の RISC-V WG コーナーに RISC-V 協会も参加してもらい、共同で展示を行った（11 月 15 日～17 日）
   - 2 団体，2 大学，3 社共同でコーナー展示し、のべ 14 回のミニ講演を行った（ミニ講演の録画コンテンツは今後両団体で活用の予定）
   - 産総研系ベンチャー、AIST Solutions との連携の可能性を探り、EdgeTech+ 2023 で、それぞれの講演内で互いの活動につき紹介した
7. 今年度から JASA 版 RISC-V チップを作り、その手順や工程を詳細に記録して会員がチップ開発できる教育コンテンツを作成することとし、今年度はチップの設計データを作るところをスコープに活動することを決定した
8. RISC-V 協会主催の「RISC-V Days Tokyo 2023 Summer」(6 月 20 日)と「RISC-V Day Tokyo 2024 Winter」(1 月 16 日)で講演し、JASA および RISC-V WG の活動を紹介した
9. カナダの RISC-V 関連 NPO，Open HW Group と今後の連携を検討することにした

4. 今後の予定［2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日］

今年度の WG/Web セミナー開催日程 (調整中)

5. その他特記事項

・特になし

ET 事業本部

1. 活動概要(2023 年度の事業方針)

JASA の基盤事業として、成長性のある収益事業として発展させる
コロナ禍により、JASA の収益の柱である展示会事業がさまざまな課題に直面している
以前のような、JASA の強固な収益事業とすべく、新たな展示会としての姿を目指す

①応用分野の取込み
応用分野を持つ他の展示会や団体との共同開催を図ることで、展示会の規模・内容を強化
②若手来場者の取込み
新たな経済・社会活動を担う若手エンジニアを呼び込むべく、企画・運営体制を刷新
③業界団体ならではのコンテンツ提供
コミュニティの HUB、産業界や社会課題への提案など、業界団体主催ならではの新たな価値を提供
④魅力あるオンライン展示会の実現
with コロナを見据えた、実効力あるオンライン展示の実現とリアル展示との融合化
⑤営業力と出展社支援の強化
大小間向け営業施策の強化と、小小間向けの出展支援で、出展社数の大幅増を実現

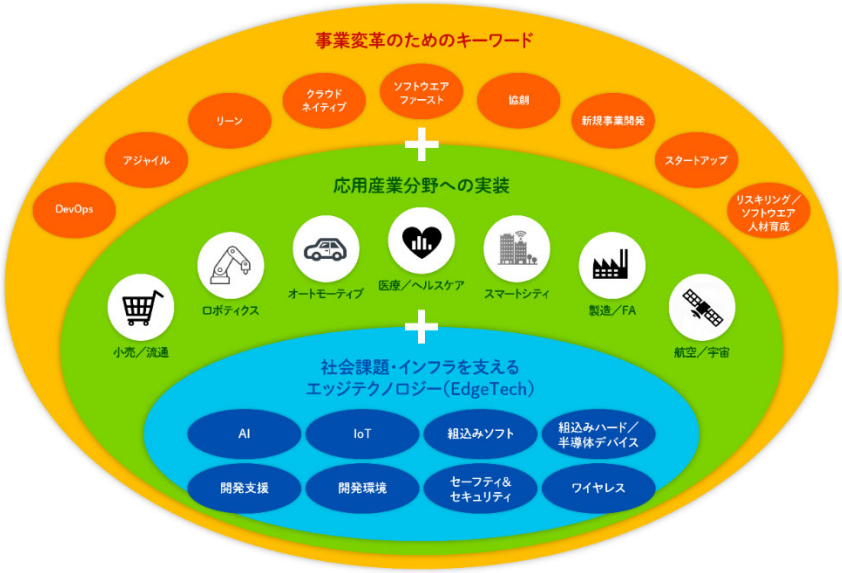
2. 各事業についての報告

【事業№1】会議(委員会、WG会議)

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算案)
ET 事業本部の運営全般
本部会、推進委員会、各 WG(展示会 WG、カンファレンス WG)の開催

EdgeTech+及び EdgeTech+West の企画運営等について、本部会、推進委員会、カンファレンス WG、展示会事務局との運営 mtg 等を適宜開催し、事業遂行と各種企画イベント、カンファレンス構築等を協議した。併せて、企画イベント立案、出展営業戦略等を検討。

・出展戦略・営業状況確認
・特別企画等「オートモーティブ ソフトウェア エキスポ」、他
・テーマゾーン・パビリオン企画、JASA パビリオンの企画運営
・カンファレンス構築と実施要領等
・Award の選考・表彰
・会期中の運営要領及び各種イベント実施
・会期後の実施報告と今後の運営に向けた提言取り纏め



【事業№2】EdgeTech+ West 2023
目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)
EdgeTech+ West 2023 展示会実施に伴う運営委託費等

EdgeTech+ West 2023 開催報告
会期 2023 年 7 月 27 日(木)～28 日(金)
会場 グランフロント大阪 北館 B2F コングレコンベンションセンター
コンセプト エッジテクノロジーに新たなプラスで加速する DX と事業変革
来場者数 ( )は前回数
7 月 27 日(木)｜1,886 名(1,519 名)
7 月 28 日(金)｜2,493 名(1,546 名)
トータル 4,379 名 (前回 3,065 名)
出展規模 121 社・団体(118 社・団体) 131 小間(143 小間)
カンファレンス 42 セッション(47 セッション)
オンライン開催｜2023 年 8 月 21 日(月)～9 月 8 日(金)

【事業№3】EdgeTech+ 2023
目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)
EdgeTech+ 2023 展示会実施に伴う運営委託費、事業収入等

EdgeTech+2023 開催報告概要
会期 2023 年 11 月 15 日(水)- 17 日(金)
会場 パシフィコ横浜:展示ホール／アネックスホール
イベントコンセプト
［事業変革期を迎えた今、エッジテクノロジーに新たなプラスで顧客起点の価値創出を実現するイベントへ］
特別企画
「オートモーティブ ソフトウェア エキスポ ／ Automotive Software Expo」
「画像認識 AI Expo 2023 Fall」,「オープンイノベーションサミット」,「JASA パビリオン」
出展社数 342 社・団体
カンファレンス数 150 セッション
来場者数報告 ( )は前回数
11 月 15 日(水) 9,206 名 (6,258 名)
11 月 16 日(木) 12,969 名 (8,575 名)
11 月 17 日(金) 10,953 名 (7,248 名)
トータル 33,128 名 (22,081 名)
オンライン会期 2024 年 1 月 9 日(火)- 2 月 2 日(金)
聴講参加 21,862 名 会場参加＋オンライン＝ 54,990 名

3. 活動成果/成果物

4. 今後の予定[2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日]

EdgeTech+ West 2024 2024 年 7 月 11 日(木), 12 日(金)
EdgeTech+ 2024 2024 年 11 月 20 日(水)～ 22 日(金)

5. その他特記事項

プラグフェスト実行委員会

1. 活動概要（2023 年度の事業方針）

Society 5.0 は、IoT で全ての人とモノが繋がり、情報共有が必要となるが、現在家電業界に於いて世界的に普及している HDMI も根本的な思想は同様で、同一のインターフェースで全ての機器が等しく繋がり、双方向で情報共有を行っている唯一の規格である。

日本プラグフェストは、この HDMI の相互接続検証を日本で実施することを基本とし、国内外の家電メーカーに対し接続検証の場を設け、技術的な課題の共有や品質の向上に努めている。

日本プラグフェストで培われた経験を活かし、Society 5.0 の実現に向け IoT で全ての人とモノが繋がるには何をすべきかを、JASA 会員企業の視点とは別の視点から考察することで課題を克服し易くし、新しい価値の創造を行えるようフィードバックを実施する。

また、日本プラグフェストで使用しているプラットフォームを流用し、Society 5.0 の実現に向けた実証実験や相互検証の場を提供することも検討する。

日本プラグフェスト参加の企業に対しては、JASA 会員企業の認知度の向上及び ET 展への周知や情報提供を行うことで、そのプレゼンスを上げていくことも目的とする。

2. 各事業についての報告

【事業№1】会議(委員会、WG会議)
目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)
実施計画策定のミーティングを実施

【事業№2】日本プラグフェスト 春季
目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)
HDMI 規格にて接続試験を実施

第 23 回 プラグフェスト 春開催

開催日時	2023 年	6 月	1 日(木)	10:00～18:30	
	2023 年	6 月	2 日(金)	10:00～17:00	※2 日間にわたり開催
開催場所	一般財団法人京都教育文化センター				
参加人数	41 名 16 社				

【事業№3】日本プラグフェスト秋季
目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)
HDMI 規格にて接続試験を実施
第 24 回 プラグフェスト 秋開催

開催日時	2023 年	11 月	30 日(木)	10:00～18:30	
	2023 年	12 月	1 日(金)	10:00～17:00	※2 日間にわたり開催
開催場所	地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター				
参加人数	55 名 19 社				

4. 今後の予定[2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日]

HDMI 規格にて接続試験を実施
第 25 回 プラグフェスト 春開催

開催日時	2024 年	5 月	30 日(木)	11:30～18:30	
	2024 年	5 月	31 日(金)	10:00～17:00	※2 日間にわたり開催
開催場所	大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)				

V　支部報告

北海道支部

1. 活動概要(2023 年度の事業方針)

支部会員を増やす
セミナー開催
支部会の開催

2. 各事業についての報告

【事業№1】支部運営会議　支部会議

目的・業務概要(セミナー開催計画打合せ)
日　時 2023 年 4 月 6 日(木曜日)17:00～18:00
場　所 HIS ホールディングス株式会社 5 階会議室
概　要 1 北海道支部の会員ご紹介
2 JASAのご紹介
3 JASA北海道支部予定及び関連行事
4 今後の予定
会員を増やす方策
北海道セミナー開催について

トピックス:株式会社クレスコ札幌事業所(支部会員)
株式会社リッジワークス
が、北海道支部に入会しました。

日　時 2023 年 6 月 8 日(木曜日)17:00～18:00
場　所 HIS ホールディングス株式会社 5 階会議室
概　要 1 北海道支部／ビジネス交流委員会合同セミナーの件
2 JASA総会の件
3 その他

トピックス:5 月に株式会社テクノラボが、北海道支部に入会しました。

日　時 2023 年 8 月 9 日(木曜日)11:00～12:00
場　所 HIS ホールディングス株式会社 5 階会議室
概　要 1 北海道支部／ビジネス交流委員会合同セミナーの件
2 ETロボコン北海道地区大会の件
3 他支部のイベント情報の件
4 その他

日　時 2023 年 11 月 14 日(火曜日)17:00～18:00
場　所 HIS ホールディングス株式会社 5 階会議室
概　要 1 北海道支部／ビジネス交流委員会合同セミナーの状況(結果)
2 ETロボコン北海道地区大会の状況(結果)
3 来期予算取得の件
4 その他

日　時 2024 年 2 月 5 日(火曜日)17:00～18:00
場　所 HIS ホールディングス株式会社 5 階会議室

出席者 5 名
概　要 1 北海道支部の来期予算について
2 北海道支部理事会・交流会・セミナーについて
3 北海道セミナー開催について
4 北海道支部会員を増やす方法について
5 その他

【事業№2】国内外視察調査
目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)
事業計画なし

【事業№3】技術セミナー
目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)
日　時 2023 年 9 月 14 日(木曜日)15:00～19:30
場　所 TKP ガーデンシティ札幌駅前
概　要 AI で展開する未来
① 15:05～16:20 組込み系エンジニアのための生成 AI とセキュリティ
内山 純一郎氏（グーグル・クラウド・ジャパン執行役員）
② 16:30～16:45 JASA のご紹介
渡辺 博之（JASA 副会長）
③ 16:45～18:00　組込み AI の現状の紹介と、
組込みでの生成 AI の可能性について
中村 仁昭 氏（株式会社 Bee CTO / JASA AI 研究 WG 主査）
④ 18:00～19:30 交流会
参加者:78 名(来賓;6 名 後援・運営:9 名 参加者:63 名)
※北海道会員に集客のお願いをして 63 名の参加して頂きました)

【事業№4】その他セミナー
目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)
事業計画なし

【事業№5】研究会
目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)
事業計画なし

【事業№6】交流会
目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)
事業計画なし

【事業№7】EdgeTech+/EdgeTech+West/ETロボコン等 イベント参加
目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)
ETロボコン:日　時 2023 年 9 月 17 日(日曜日)12:00～19:00
場　所 日本工学院北海道専門学校
概　要 主催者としての挨拶及び打ち上げ参加
北海道会員 2 社参加

3. 活動成果 /成果物

特記事項なし

4. 今後の予定[2024 年 4 月 1 日～2024 年 5 月 31 日]

【事業№1】支部運営会議 支部会議

目的・業務概要(セミナー開催計画打合せ)

日　時 2024 年 4 月 11 日(木曜日)17:00～18:00

場　所 HIS ホールディングス株式会社 5 階会議室

出席者 10 名予定

概　要 1 北海道支部の来期予算確定

2 北海道セミナー開催について

3 各社サブ要員の紹介について

4 その他

5. その他特記事項

東北支部

1. 活動概要(2023 年度の事業方針)

支部会員増と支部活動の活性化

2. 各事業についての報告

【事業№1】支部運営会議 支部会議

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)

支部会員相互の交流を図ると共に会員企業の発展に寄与する。

1.日　時 2023 年 8 月 21 日(月) 11:30～12:45

2.場　所 ホテルメトロポリタン盛岡

3.参加者 6 名(本部-専務理事、CIC、ビッツ、コア、ERi)

4.内　容 JASA ビジョンの進捗状況共有、会員間情報交換

5.成　果 JASA ビジョンの理解、会員企業の最近の動向等の共有が出来た

＊他、2 回の計画は未実施

事業予算:支出:197,000 円　収入:35,000 円　合計 162,000 円

【事業№2】国内外視察調査

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)

計画無し

【事業№3】技術セミナー

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)

会員企業にとり最先端の技術動向の提供を行い事業発展に貢献

概要:IoT,AI 等に関してのセミナーを開催

1.日　時:2023 年 8 月 21 日(月) 13:30～17:10

2.場　所:いわて県民情報交流センター アイーナ会議室

3.開催方法:リアル、WEB のハイブリッド開催

4.主催者等:主催者:盛岡市

JASA 東北支部共催、ビジネス交流委員会との共同開催

5.内　容

・タイトル「地場企業の DX 推進とリスキリングの重要性」

・講演① テーマ「リスキリングで挑む開発現場 DX」

講演者 株式会社エクスモーション 代表取締役 渡辺 博之氏

・講演② テーマ「スマートシティプラットフォーム「都市 OS」とそのサービス」

講演者 アクセンチュア株式会社 アソシエイト・ディレクター 南野 泰和氏

・講演③ テーマ「中小製造業の生産性向上プロジェクト」
講演者 アクセンチュア株式会社 シニア・マネージャー 鈴木 鉄平氏
・JASA 紹介
6.受講者:66 名(内訳:リアル:43 名／WEB:23 名 事務局含

事業予算:支出:350,232 円　収入:117,500 円　合計 232,732 円

【事業№4】その他セミナー
目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)
計画無し

【事業№5】研究会
目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)
計画無し

【事業№6】交流会
目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)
計画無し

【事業№7】EdgeTech+/EdgeTech+West/ETロボコン等 イベント参加
目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)
1.ETロボコン東北地区大会支援
・2023年10月8日(日) ETロボコン東北地区大会支援
開催支援及びJASA東北支部賞として2チーム表彰
2.EdgeTech+展支援

事業予算:支出:42,000 円　収入:0 円　合計 42,000 円

3. 活動成果 /成果物

新会員入会
2024 年 3 月 25 日に株式会社イーエムエスが正会員として入会承認される。
尚、入会日は 2024 年 4 月 1 日

4. その他特記事項

特記事項無し

関東支部

1. 活動概要(2023 年度の事業方針)

①関東支部会員相互のビジネスに有用な場を提供する。
②関東を拠点とするメリットを最大限に生かし、JASA 本部との連携を密とした組込みシステム事業を推進する。
JASA 活動への”のべ参加率”100%、共に新入会員 5 社を達成目標とする。

2. 各事業についての報告

【事業№1】支部運営会議 支部会議
目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)
目的:支部企画運営、および支部会議運営推進
概要:支部企画運営 WG(原則月例)、および支部会議(例会)開催

1.支部会議

8 月度

日　時 2023 年 8 月 24 日(木)15:30～17:50

場　所 ハイブリット開催:TKP ガーデンシティ浜松町

参加者 現地 59 名

プログラム

15:30～15:35 支部長あいさつ

15:35～16:35 講演 「NTT データグループにおける組込領域への
これまでの取り組みと今後」

16:35～17:15 事業承継事例セミナー

17:15～17:25 新入会企業紹介

17:25～17:35 新入会企業紹介

17:35～17:45 学生交流祭典について

17:45～ アンケート記入、終了

12 月度

日　時 2023 年 12 月 14 日(木) 15:00～17:30 (交流会 18:00～)

会　場 墨田区総合体育館 3 階会議室 B・C

参加者 41 名

プログラム

15:00～15:05 支部長あいさつ

15:05～16:05 講演①「生成 AI がビジネスに与えるインパクトとその活用」
松崎 剛氏(日本マイクロソフト株式会社 パートナー事業本部
クラウドソリューションアーキテクト)

16:05～17:00 講演②「デジタルテクノロジーを活用して、DX/
新規事業を進めるために経営がなすべきこと」
森 健太郎氏(デロイトトーマツコンサルティング合同会社 マネージャー

17:00～17:15 新入会企業紹介
株式会社連基

17:15～17:30 新入会企業紹介
株式会社インテック

3 月度

日　時 2024 年 3 月 7 日(木)16:30～17:00

会　場 WEB 会議(JASA 会議室)

参加対象 JASA 関東支部会員

プログラム

16:30～16:31 支部長あいさつ

16:01～16:10 2024 年度事業計画及び予算

2.WG

(1)4 月度企画WG

日　時 2023 年 4 月 11 日(火)17:00～17:45

場　所 ハイブリット開催(ビジネスキューブ・アンド・パートナーズ株式会社)

参加者 会議室 10 名 WEB 3 名

議　題

1. 2023 年度の事業の進め方について

2.8 月の例会について

3.他のイベントに関する担当決め

(2)5 月度企画WG

日　時 2023 年 5 月 16 日(火)17:00～17:45
場　所 ハイブリット開催(JASA)
参加者 会議室 9 名 WEB 1 名
議　題

1.8 月の例会について
2.BBQ 企画

(3)6 月度企画WG

日　時 2023 年 6 月 13 日(火)17:00～17:30
場　所 ハイブリット開催(JASA)
参加者 会議室 8 名 WEB 1 名
議　題

1.8 月の例会について
2. BBQ 企画イベント
3.その他
・学生交流祭典
・国内外視察

(4)7 月度企画WG

日　時 2023 年 7 月 11 日(火)17:00～17:45
場　所 ハイブリット開催㈱パトリオット)
参加者 会議室 9 名 WEB 2 名
議　題

1.学生交流祭典
2.8 月の例会について
3.その他
・BBQ の振り返り
・国内外視察

(5)8 月度企画 WG

日　時 2023 年 8 月 8 日(火)17:00～17:45
場　所 ハイブリット開催(TDI プロダクトソリューション㈱)
参加者 会議室 11 名 WEB 2 名
議　題

1.8 月の例会について
2.国内外視察
3.その他
・BBQ アンケート結果

(6)9 月度企画WG

日　時 2023 年 9 月 12 日(火)17:00～17:45
場　所 ハイブリット開催(JASA 会議室)
参加者 会議室 11 名 WEB 2 名
議　題

1. 国内外視察
2. 12 月の例会について
3.その他

(7)10 月度企画WG
日　時 2023 年 10 月 10 日(火)17:00～17:45
場　所 ハイブリット開催(株式会社コンセプトアンドデザイン)
参加者 会議室 11 名
議　題
1.12 月の例会について
2.国内外視察
3.その他

(8)11 月度企画WG
日　時 2023 年 11 月 7 日(火)17:00～17:45
場　所 ハイブリット開催(株式会社 CIC)
参加者 会議室 11 名
議　題
1.12 月の例会について
2.国内外視察
3.その他

(9)12 月度企画WG
日　時 2023 年 12 月 5 日(火)17:00～17:45
場　所 WEB 会議
参加者 WEB11 名
議　題
1.12 月の例会について
2.国内外視察
3.その他(来期に向けて)

(10)1 月度企画WG
日　時 2024 年 1 月 16 日(火)17:00～17:45
場　所 JASA 会議室
参加者 会議室 11 名
議　題
1.2024 年度予算について
2.その他

(11)2 月度企画WG
日　時 2024 年 2 月 13 日(火)17:00～17:45
場　所 ハイブリット開催(株式会社コア)
参加者 会議室 10 名 WEB1 名
議　題
1.2024 年度予算につて
2.3 月支部会議について
3.そのほか(4 月 17 日近畿支部会議について)

【事業№2】国内視察調査
目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)
目的 新規ビジネス検討、会員間相互交流の創出
概要 国内外企業、学術団体等を視察し、新規ビジネス検討／会員間相互交流を創
実施なし

【事業№3】技術セミナー
目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)
実施計画なし

【事業№4】その他セミナー
目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)
事業計画なし

【事業№5】研究会
目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)
事業計画なし

【事業№6】交流会
目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)
異業種交流 BBQ Party
開催日時 7 月 8 日(土)12:00～14:00
開催場所 ITALIAN BBQ CARVINO 東京ドームシティ店
参加者 30 名

【事業№7】EdgeTech+/EdgeTech+West/ETロボコン等 イベント参加
目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)
事業計画なし

3. 活動成果 /成果物

中部支部

1. 活動概要(2023 年度の事業方針)

①本部及び本部事業との情報連携による、組込みシステム技術の普及啓発を行う。
②中部支部の特性を生かした事業を推進し、会員相互の親交の場を提供する。
③中部地域における官公庁及び関連機関との情報交流を行い、地域産業の活性化を推進する。

2. 各事業についての報告

【事業№1】支部運営会議 支部会議
目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)
中部支部 2023 年度事業計画、事業予算、遂行計画の確認と会員企業の経営者・幹部社員の情報交流

支部会議
日　時 2023 年 5 月 24 日(水) 16:00～20:00
場　所 ザ サイプレス メルキュールホテル 名古屋
参加者 名 7 名/7 社、奥村事務局長、佐藤
概　要
支部会議 (16:00～16:30)
参加者 8 社/9 名 奥村事務局長、佐藤、(オンライン参加を含む)
議事
1.2022 年度事業報告の件
2.2023 年度事業・予算報告の件(特に国内視察やセミナーなどの件)
3.新役員紹介

講演 16:40～17:40)
「リスキリングとポリティックセンターの事業紹介 」
講演者　ポリティックセンター中部　企画指導部長　後藤 豊様

食事会（17:50～19:40）　9 名参加

日　時 2023 年 12 月 1 日(金) 17:30～
支部会議　(17:30～17:55)　8 社/8 名　奥村事務局長、佐藤
議　事　1.2023 年度事業中間報告
2.2024 年度事業計画・予算の件

忘年会（18:00～19:50）　7 社/12 名参加
高田先生をお招きし、忘年会を行った

定例会
日　時 2023 年 8 月 31 日(水) 16:00～17:00
場　所 三幸電子様 会議室
参加者 7 名/6 社
概　要 21 日理事会中部開催の件や国内産業視察など今後の事業の内容検討
成　果 久しぶりの対面での開催となり、今後の事業計画お検討や
近況報告も含め情報交換ができた。

日　時 2024 年 3 月 6 日(水) 14:30～15:00　場 所 東海ソフト様会議室
参加者 6 社/7 名
概　要 今年度の活動と来年度の事業計画を検討

【事業№2】国内外視察調査
目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)
海外の情報産業の実情及び協業の可能性を調査するとともに交流などを介して
中堅管理者の海外経験を積むこと
国内の他地域の情報産業事情と協業の可能性を調査するとともに地場情報産業団体や
企業との交流(春は海外と秋は国内)

国内視察　　2023 年 11 月 24～25 日　　熊本

午前 クロスポイント　熊本市のインキュベーション施設
10:30 開始
施設説明とスタートアップとの面談
12:00　終了予定
昼食　ランチミーティング
午後 熊本大学　13:30 開始
大川 猛 准教授(半導体デジタル研究教育機構)
・半導体関連の研究紹介
・工学部半導体デバイス工学課程の紹介
尼崎 教授(大学院先端科学研究部)
・ビッグデータ関連の研究紹介
・情報融合学環の紹介
※工学過程は学科相当組織，学環は学部相当組織
15:30 終了

【事業№3】技術セミナー
目的 今後発展しそうな組込みシステム技術の普及・啓発を図る
概要 地元大学・企業から先進的な指導者を招聘して年 2 回セミナー・講演会を開催し組込みシステム技術の普及・啓発を図る

10 月 13 日 15:00～17:00 東桜会館
「生成 AI とは」 中部大学 山下先生
会場参加者 18 名
オンライン参加者 7 名
対面形式主体のセミナーにこだわりすぎ、オンラインの参加募集を遅らせたため
非常に興味あるテーマにもかかわらず参加者が少なかった。募集方法を今後工夫する必要を痛感した。

先生との懇談会は参加者 4 名と少数であったが、和気あいあいのうちに終了
コロナの影響か、セミナー、懇親会とも参加者数に関しては期待を裏切った。

【事業№4】その他セミナー
目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)
新時代を迎えるにあたり、今後のビジネスモデル、組織論や管理技術などを議論する場を提供する地元大学の経営学や管理技術の先生の協力を得て、上記目的を達成する講演を開催する

マネージメントセミナー
3 月 21 日 15 時から 17 時 10 分 東桜会館
TCA 日本代表 吉村様
「台湾のビジネスの進め方/台湾企業理解」
参加者 4 名
講師を囲んで懇親会 5 名参加
期末に近いためか参加者が非常に少なく、残念であったが、参加者の質問などに沿った講演をしていただけた。

3 月 22 日に講師吉村様のご要望により中部支部会員 4 社を訪問し情報交換を実施

北陸支部

1. 活動概要(2023 年度の事業方針)
ともに支部活動および JASA 活動に関わる連携先を増やし、地域産業への貢献度向上を目指した活動展開。
1)地域における関係業界団体との連携活動の推進。
2)支部活動広報を兼ねた、人材育成・交流活動の推進。

2. 各事業についての報告
【事業№1】支部運営会議 支部会議

【事業№2】国内外視察調査
2024 年 2 月 10 日 「北陸超越人材発掘プロジェクト」(経済産業省未踏プロジェクト)
参加、関係者との連携、懇親

【事業№3】技術セミナー

【事業№4】その他セミナー

【事業№5】研究会

【事業№6】交流会

【事業№7】JASA 活動広報、会員獲得活動、DX イノチャレ、ET ロボコン参加啓蒙活動

・e-messe KANAZAWAへのブース出展。
2023 年 5 月 26 日(金)～27 日(土) 金沢市・石川県産業展示館 3 号館
https://www.e-messe.jp/
【テーマ】人がつながる 夢が広がる 世界が変わる ～未来をつくる ICT～
【主　催】一般社団法人石川県情報システム工業会
総来場者数:
リアル会場 7,616 名　出展:85 社団体 当方応対社団体数:33

・【通年】DX イノチャレ参加チーム 次年度対応へのネゴシエーション実施。
・Matching Hub Hokuriku 2023 2023 年 11 月 9 日(木)、10 日(金)
→今年は業界セミナー対応せず。(当方対応要員とれず)

3. 活動成果 /成果物
なし

4. 今後の予定
・2024 年 5 月 16～18 日
e-messe Kanazawa 出展 準備

5. その他特記事項
なし

近畿支部

1.活動概要(2023 年度の事業方針)
JASA ビジョン 2030 に則り、支部としてあるべき姿を求めていく
新型コロナウイルス感染症への対策は万全を期した上で
可能な限りリアル開催を実施し会員間の交流を大事にする。
より有効な場面ではオンラインやオンデマンドでの事業も展開し時代に合った支部活動を推進していく。

2.各事業についての報告
【事業№1】支部運営会議 支部会議
目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)
目的:支部事業計画に基づいた具体案の検討と本部・支部事業の連絡および報告、
官公庁・関連団体との情報共有
概要:4 月には前年度活動報告及び決算報告、新年度の活動計画及び予算案を確認する。
また官公庁との情報交換を行う。6 月は海外視察、セミナーの活動報告、Edge Tech+west の報告、経営者向けのセミナーを行う。
9 月には近畿経済産業局との意見交換、12 月には国内視察報告、他団体連携状況報告及び次年度事業検討、3 月には次年度予算と事業計画について確認し、近畿圏での活動報告会等を行う。

(1)第 1 回支部会議

日　時 2023 年 4 月 19 日(水) 15:30～17:30

場　所 アットビジネスセンター大阪梅田 701 号室

参加者 36 名/19 社

概　要

1. 新年度事業説明
2. 春季セミナーについて
   ① 営業セミナー
   ② 総務セミナー
   ③ 技術セミナー
3. 関連本部活動の案内
   ① 実践リーダー
   ② AI研究WG
   ③ AI研究セミナー
   ④ OSS活用WG
4. Edge Tech+West(JASA パビリオン近畿ブース紹介)
5. その他(入退会案内等)

(2)第 2 回支部会議

日　時 2023 年 6 月 28 日(水) 15:30～17:30

場　所 アットビジネスセンター大阪梅田 906 号室

参加者 21 名/ 19 社

概　要 支部会議

第一部

1. 第 221 回理事会の報告
2. 第 37 回社員総会の報告
3. 春季セミナーの報告
   ① 営業セミナー
   ② 総務セミナー
   ③ 技術セミナー
4. 関連本部活動の案内と報告
   ① 実践リーダー
   ② AI研究WG
   ③ AI研究セミナー
   ④ OSS活用WG
5. Edge Tech+West2023 関連の連絡
6. 9 月支部会(月見会)について
7. その他(入退会案内等)

第二部

近畿経済産業局との意見交換

近畿経済産業省 近畿経済産業局

地域経済部 次世代産業・情報政策課

課長 土屋 貴史 様

乾　博貴 様

竹村 祐樹 様

(3)第 3 回支部会議

日　時 2023 年 9 月 27 日(水) 18:00～20:00

場　所 先斗町 富美家

参加者 40 名/ 20 社

概　要

1.　第 222 回理事会の報告(名古屋)
2.　EdgeTech+West2023 報告
3.　秋季セミナーの案内
　①　営業セミナー
　②　総務セミナー
　③　技術セミナー
4.　交流祭典 2023 の案内
5.　国内視察の案内(鹿児島)
6.　その他(入退会案内等)

(4)第 4 回支部会議

日　時 2023 年 12 月 13 日(水) 15:30～17:30
場　所 アットビジネスセンター大阪梅田 710 号室
参加者　19 名/16 社
概　要

第一部

1.　第 223 回理事会の報告
2.　秋季セミナーの報告
　①　営業セミナー
　②　総務セミナー
　③　技術セミナー
3.　交流祭典近畿 2023 の報告
4.　EdgeTech+West2023 の報告
5.　関連本部活動の報告
　①　実践リーダー
　②　AI研究WG
　③　AI研究セミナー
　④　OSS活用WG
6.　国内視察研修の報告
7.　近畿支部 賀詞交歓会について
8.　その他(入退会案内等))

第二部

・近畿経済産業局との意見交換
　経済産業省 近畿経済産業局
　地域経済部 次世代産業・情報政策課
　　課長 土屋貴史 様

(5)第 5 回支部会議

日　時 2024 年 3 月 13 日(水) 15:30～16:30
場　所 アットビジネスセンター大阪梅田 710 号室
参加者 17 名/　14 社
概　要

1.　24 年度事業について
2.　各 WG の報告
　①　実践リーダー
　②　AI研究WG
　③　AI研究セミナー
　④　OSS活用WG
3.　EdgeTech+West2024 について

4. 4 月支部会議について
5. その他(入退会案内等)

【事業№2】国内外視察調査

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)

目的:国内外の組込みシステム技術の調査、現地の経済情勢を視察

概要:今期、海外視察は取りやめとするが、国内視察として地方の組込みシステム技術と地方情勢に関する調査及び意見交換を行い、組込みシステム技術の普及啓発に寄与する。

(1)国内視察研修

日　時 2023 年 12 月 5～6 日(火～水)

行き先 鹿児島

参加者 17 名/11 社

【事業№3】技術セミナー

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)

目的:技術担当社員の情報収集、技術啓発

概要:春季と秋季の 2 回、組込みシステム技術に関する先端の技術についてセミナーを実施し、技術担当社員の技術啓発や人材育成を行う。講師の支払報酬を負担し、企業の枠を超えた研修の場を提供する。

(1)春季技術セミナー

日　時 2023 年 5 月 24 日(水) 16:30～18:00

場　所 アットビジネスセンター大阪梅田 906 号室

参加者 22 名/ 5 社

講　演「モバイルデバイス向けプロセッサの開発からその応用まで」

講　師 近畿大学 理工学部 電気電子通信工学科ハザード認知情報システム研究室
蔭山 享佑 助教

概　要 スマートフォンやウェアラブルデバイスの様なモバイルデバイスはあらゆる場所で利用されており、小型かつ低消費電力という制約の中で、より高性能なデバイスであることが求められています。
特に、近年ではモバイルデバイス上で AI 等の大規模処理を実行できることが求められており、さらなる処理の向上が必要となっています。本セミナーでは、モバイルデバイスに組込みことを想定したアクセラレータである超並列 SIMD 型演算コアの開発状況を説明し、講演者がこれまでに経験した災害や犯罪現場等での応用的なモバイルデバイスの研究についても紹介します。

(2)秋季技術セミナー

日　時 2023 年 10 月 18 日(水) 16:30～17:30

場　所 アットビジネスセンター大阪梅田 906 号室

参加者 20 名/ 4 社

講　演「地域課題解決に向けたデータ活用の可能性」

講　師 京都橘大学 工学部 情報工学科
片岡 裕介 准教授

概　要 高度情報社会を支える技術開発やサービスの利活用の促進においては、様々な分野間の連携を実現する実践力とともに、それを円滑に進める広い視野がこれまで以上に重要視されるようになっています。
都市や地域における社会的課題の解決を目的とした「位置や場所を表す空間情報を用いた分析方法の開発」や、「空間情報を扱う地理情報システムに関わる研究」、また都市計画の問題に加えて医療や福祉に関わるテーマについて

の活動を踏まえ、データ分析や地図を用いた視覚化の事例について紹介いたします。

【事業№4】その他セミナー

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)

目的:総務・管理部門担当社員及び営業担当社員の人材育成

概要:総務セミナーと営業セミナーのそれぞれについて春季と秋季の 2 回、各方面から講師を招聘し、総務・管理部門担当社員及び営業担当社員を対象とするセミナーを実施する。講師の支払報酬を負担し、組込みシステムに特化した会員企業では比較的貧弱な分野である技術以外の分野へのスキルアップ、情報収集に役立てる。

(1)春季総務セミナー

日　時 2023 年 5 月 31 日(水) 15:30～16:30
場　所 アットビジネスセンター大阪梅田 901 号室
参加者　13 名/ 8 社
講　演「パワハラ予防研修」
講　師 株式会社 GPI 代表取締役 渡辺陽子氏
概　要 頭と心の両面からアプローチし、本当に必要な行動を自ら考え実践します。
評価するための情報収集を行い聞き出す能力を向上させます。
Step1:パワハラ予防の基礎知識
(パワハラとは何か？パワハラのグレーゾーン)
Step2:自己理解/他者理解/関係性の向上
(なぜ自己理解が必要なのか？他者との違いを理解し、
自分の認知癖知る。部下との関係の質を高める)
Step3:理想の職場について

(2)春季営業セミナー

日　時 2023 年 6 月 14 日(水) 15:30～16:30
場　所 アットビジネスセンター大阪梅田 907 号室
参加者 15 名/8 社
講　演「ブランディングと BtoB マーケティング」
講　師 凸株式会社
代表取締役 徳永トシユキ氏
概　要 BtoB マーケティングにおけるブランディングの効果
ブランディング及び BtoB マーケティングの進め方

(3)秋季総務セミナー

日　時 2023 年 10 月 18 日(水) 16:30～17:30
場　所 アットビジネスセンター大阪梅田 901 号室
参加者 11 名/ 8 社
講　演「心理的安全性の高い職場づくり」
講　師 日本プロフェッショナル講師協会 認定講師 上田裕絵氏
概　要 1) 心理的安全性についての基礎理解
2) 6 つの視点から物事を考え、多角的な視点でのディスカッション
3) 感情摩擦を起こさないための手法

(4)秋季営業セミナー

日　時 2023 年 10 月 18 日(水) 16:30～17:30
場　所 アットビジネスセンター大阪梅田 907 号室
参加者 12 名/ 6 社

講　演「KDDI の DX 取組と IoT の歴史:プロダクト、
　　パートナーシップ、そして新たなシナジー」
講　師 KDDI 株式会社 ソリューション事業本部 ビジネスデザイン本部
　　IoT 営業推進部 グループリーダー 神 新人氏
概　要 KDDI の全体の取組と DX について最新の動向や取り組みを
　　紹介すると共にさまざまなソリューションについて解説します。
　　また、 Starlink、ドローンなど、新たな展開についても紹介します。

【事業№6】交流会
目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)
目的:会員企業社員相互の親睦や他団体との交流を図る
概要:4 月には次世代の経営層を見据えた親睦会、7 月には納涼会を実施する。
また 12 月には忘年会、1 月には他団体と合同での賀詞交歓会を行う。
大阪万博を見据え官公庁及び関連団体との交流を密に情報収集し、
また開催イベントに協賛して地域の活性化に寄与する。

(1)懇親会
日　時 2023 年 4 月 19 日(水) 18:00～20:00
場　所 UNICO 西梅田
参加者　47 名/18 社

(2)春季ゴルフコンペ
日　時 2023 年 7 月 7 日(金)
場　所 タラオカントリークラブ 西コース
参加者　7 名/6 社

(3)月見会
日　時 2023 年 9 月 27 日(水) 18:00～20:00
場　所 先斗町 富美家
参加者 40 名/ 20 社

(4)忘年会
日　時 2023 年 12 月 13 日(水) 18:00～20:00
場　所 北新地本通り つるとんたん 琴しょう楼
参加者　31 名/15 社

(5)近畿支部新年会
日　時 2024 年 1 月 24 日(水) 18:00～20:00
場　所 青冥 堂島本店
参加者　27 名/16 社

【事業№7】EdgeTech+/EdgeTech+West/ETロボコン等 イベント参加
目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)
目的:支部会員の ET 出展を促進する
概要:JASA ビジョン 2030 を見据え会員企業のビジネスマッチング推進として、
7 月に予定させている Edge Tech+West への支部会員の出展を斡旋する。
(1)EgdeTech+West
日 時 2023 年 7 月 27-28 日(木-金)
場 所 グランフロント大阪

3. 活動成果 /成果物

特記事項なし

今後の予定[2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日]

【事業№1】支部運営会議 支部会議

(1)第 1 回支部会議

日　時 2024 年 4 月 17 日(水)

場　所 アットビジネスセンター大阪梅田 701 号室

(2)第 2 回支部会議

日　時 2024 年 6 月 19 日(水)

場　所 アットビジネスセンター大阪梅田 906 号室

(3)第 3 回支部会議

日　時 2024 年 9 月 18 日(水)

(4)第 4 回支部会議

日　時 2024 年 12 月 11 日(水)

(5)第 5 回支部会議

日　時 2025 年 3 月 12 日(水)

【事業№2】国内外視察調査

(1)国内視察研修

日　時　 秋頃

【事業№3】技術セミナー

(1)春季技術セミナー

日　時 2024 年 5 月下旬予定

(2)秋季技術セミナー

日　時 2024 年 10 月頃

【事業№4】その他セミナー

(1)春季総務セミナー

日　時 2024 年 5 月下旬予定

(2)秋季総務セミナー

日　時 2024 年 10 月頃

(2)春季営業セミナー

日　時 2024 年 5 月下旬予定

(2)秋季営業セミナー

日　時 2024 年 10 月頃

【事業№6】交流会

(1)新年度懇親会

日　時 2024 年 4 月 17 日(水)

場　所 兆 -KIZASHI-

(2)春季ゴルフコンペ

日　時 2024 年 7 月頃

(3)月見会

日　時 2024 年 9 月頃

(4)忘年会

日　時 2024 年 12 月頃

(5)賀詞交歓会

日　時 2025 年 1 月頃

5.その他特記事項

特記事項なし

九州支部

1. 活動概要(2023 年度の事業方針)

本年度は新型コロナウイルスの収束の兆しが見えたため、九州地区最大の業界展示会「モノづくりフェア 2023」で JASA パビリオンブース出展、セミナー開催、セミナー後の懇親会を実施することで、総合的に JASA のアピールを行う。

また、地域関連団体との協賛・支援を通じて、組込みシステム技術の普及・向上、ビジネス機会の拡大、地域関連団体との交流及び地域連携を推進する。

更に、九州圏内の優良企業を視察することで、参加企業・視察先企業との交流を図る。

2. 各事業についての報告

【事業№1】支部運営会議 支部会議

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)

支部事業について報告及び検討・調整を行う。

また、会員間の情報交換・交流を図る。

(1)第 1 回支部会議

日　時 2023 年 5 月 23 日(火) 16:00～17:00

場　所 オンライン(Zoom)

参加者 6 名/3 社

概　要 1)活動計画 2)モノづくりフェア 2023 3)その他

成　果 各議題についての情報共有や意見交換を行った

(2)第 2 回支部会議

日　時 2023 年 8 月 30 日(水) 15:30～16:30

場　所 ㈱コア 会議室、オンライン(Zoom)

参加者 7 名/4 社

概　要 1)モノづくりフェア 2023 2)国内視察 3)JASA の最新動向 4)その他

成　果 各議題についての情報共有や意見交換を行った

(3)第 3 回支部会議

日　時 2023 年 11 月 14 日(火) 16:30～17:30

場　所 ㈱コア 会議室

参加者 4 名/3 社

概　要 1)モノづくりフェア 2023 2)国内視察 3)JASA の最新動向 4)その他

成　果 各議題についての情報共有や意見交換を行った。

九州支部として新規会員獲得に向けて注力する。

(4)第 4 回支部会議

日　時 2024 年 2 月 26 日(月) 15:00～16:40

場　所 柳井電機工業㈱ 会議室

参加者 9 名/4 社

概　要 1)会社紹介 2)モノづくりフェア 2024 3)国内視察 4)その他

成　果 各議題についての情報共有や意見交換を行った。

九州支部として新規会員獲得に向けて注力する。

【事業№2】国内外視察調査
目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)
2023 年度としては実施しない方針とし、2024 年度実施に向けて議論を行った。

【事業№3】技術セミナー
目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)
モノづくりフェア 2023 内で行われた以下のイベントに JASA として参加。
これについては各委員会や本部より別途報告。
・JASA 九州地域交流セミナー2023(セミナー、交流会)

【事業№4】その他セミナー
目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)
事業計画なし

【事業№5】研究会
目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)
事業計画なし

【事業№6】交流会
目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)
事業計画なし

【事業№7】EdgeTech+/EdgeTech+West/ETロボコン等 イベント参加
目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)
事業計画なし

3. 活動成果 /成果物
該当事項なし

4. 今後の予定[2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日]
【事業№1】支部運営会議 支部会議 5 月、 8 月、11 月、2 月
【事業№2】国内外視察調査 優良企業視察
【事業№3】技術セミナー 協業セミナー開催検討(ビジネス交流委員会と連携)
【事業№7】イベント参加 モノづくりフェア 2024 で JASA ブース出展

5. その他特記事項
該当事項なし

Ⅵ 事業報告の附属明細書

２０２３年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第３４条第３項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため、附属明細書は作成しない。

2023年度財務諸表

令和　５　年度

財　務　諸　表　等

自　令和　　５年　４月　１日
至　令和　　６年　３月３１日

一般社団法人　組込みシステム技術協会

目　　次

(ページ)

Ⅰ. 財務諸表

１．貸借対照表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1

２．正味財産増減計算書（損益計算書）・・・・・・・　2～3

３．財務諸表に対する注記・・・・・・・・・・・・・・　4

Ⅱ．財務諸表の附属明細書・・・・・・・・・・・・・・・　5

貸 借 対 照 表

令和６年３月３１日現在

（単位：円）

科　　目	当　年　度	前　年　度	増　　減
Ⅰ　資産の部			
１．流動資産			
現金預金	191,876,708	175,564,201	16,312,507
未収入金	13,280,487	9,497,072	3,783,415
前払金	0	1,500,000	△ 1,500,000
前払費用	742,179	87,976	654,203
貸倒引当金	△ 78,000	△ 57,000	△ 21,000
流動資産合計	205,821,374	186,592,249	19,229,125
２．固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当預金	36,107,085	32,259,605	3,847,480
特定資産合計	36,107,085	32,259,605	3,847,480
(2) その他固定資産			
建物附属設備	2,520,068	2,782,387	△ 262,319
機械装置	3	3	0
器具備品	98,315	271,912	△ 173,597
ソフトウェア	2,247,467	198,000	2,049,467
電話加入権	324,056	324,056	0
差入敷金保証金	6,157,080	6,157,080	0
長期預金	50,000,000	50,000,000	0
その他固定資産合計	61,346,989	59,733,438	1,613,551
固定資産合計	97,454,074	91,993,043	5,461,031
資産合計	303,275,448	278,585,292	24,690,156
Ⅱ　負債の部			
１．流動負債			
未払金	1,339,017	994,110	344,907
未払法人税等	11,289,500	70,000	11,219,500
未払消費税等	2,908,500	4,739,300	△ 1,830,800
前受会費	5,180,000	5,844,000	△ 664,000
前受金	2,392,527	3,408,927	△ 1,016,400
預り金	548,491	547,532	959
流動負債合計	23,658,035	15,603,869	8,054,166
２．固定負債			
退職給付引当金	36,107,085	32,259,605	3,847,480
固定負債合計	36,107,085	32,259,605	3,847,480
負債合計	59,765,120	47,863,474	11,901,646
Ⅲ　正味財産の部			
１．指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
２．一般正味財産	243,510,328	230,721,818	12,788,510
（うち基本財産への充当額）	(0)	(0)	(0)
（うち特定資産への充当額）	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	243,510,328	230,721,818	12,788,510
負債及び正味財産合計	303,275,448	278,585,292	24,690,156

正味財産増減計算書（損益計算書）

令和５年４月１日から令和６年３月３１日まで

（単位：円）

科　　目	当　年　度	前　年　度	増　　減
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
１．経常増減の部			
(1)経常収益			
①特定資産運用益	(643)	(585)	(58)
特定資産受取利息	643	585	58
②受取会費	(37,959,332)	(38,628,000)	(△ 668,668)
正会員受取会費	34,039,332	34,828,000	△ 788,668
賛助会員受取会費	3,920,000	3,800,000	120,000
③事業収益	(165,288,769)	(145,116,319)	(20,172,450)
普及啓発等事業収益	125,491,000	89,024,900	36,466,100
その他事業収益	39,797,769	56,091,419	△ 16,293,650
④受取補助金等	(766,884)	(0)	(766,884)
受取国庫補助金	766,884	0	766,884
⑤雑収益	(782,291)	(683,866)	(98,425)
受取利息	208,006	247,627	△ 39,621
雑収益	574,285	436,239	138,046
経常収益計	204,797,919	184,428,770	20,369,149
(2)経常費用			
①事業費	(123,126,664)	(132,386,292)	(△ 9,259,628)
役員報酬	13,608,000	16,350,000	△ 2,742,000
給与手当	17,525,760	17,126,288	399,472
退職給付費用	2,226,712	2,903,239	△ 676,527
退職金共済掛金	312,000	300,000	12,000
福利厚生費	4,553,600	4,877,930	△ 324,330
会議費	1,784,344	2,535,948	△ 751,604
旅費交通費	4,946,521	2,646,614	2,299,907
通信運搬費	1,399,226	1,304,239	94,987
減価償却費	160,533	0	160,533
消耗品費	660,363	576,266	84,097
印刷製本費	4,383,732	2,588,084	1,795,648
賃借料	1,815,582	1,891,631	△ 76,049
支払報酬	7,448,121	7,344,308	103,813
支払手数料	644,519	288,804	355,715
新聞図書費	54,450	0	54,450
水道光熱費	300,254	350,066	△ 49,812
租税公課	2,000	243,600	△ 241,600
会合費	8,409,014	5,320,062	3,088,952
ＥＤＰ費	1,453,742	1,826,772	△ 373,030
業務委託費	51,338,561	63,340,316	△ 12,001,755
広報費	64,900	570,998	△ 506,098
保険料	730	250	480
雑費	34,000	877	33,123

（単位：円）

科　　目	当　年　度	前　年　度	増　　減
②管理費	(57,561,296)	(43,607,104)	(13,954,192)
役員報酬	8,592,000	5,850,000	2,742,000
給与手当	10,549,340	6,933,312	3,616,028
退職給付費用	1,620,768	707,151	913,617
退職金共済掛金	168,000	60,000	108,000
福利厚生費	1,804,463	2,016,902	△ 212,439
会議費	3,408,046	244,109	3,163,937
旅費交通費	1,379,340	1,338,362	40,978
通信運搬費	529,749	512,758	16,991
減価償却費	1,622,648	751,440	871,208
消耗品費	170,970	102,063	68,907
印刷製本費	104,036	106,582	△ 2,546
賃借料	7,214,802	7,138,753	76,049
支払報酬	7,136,200	7,242,426	△ 106,226
支払手数料	186,967	127,479	59,488
新聞図書費	96,816	96,816	0
水道光熱費	328,556	353,578	△ 25,022
租税公課	7,304,550	5,788,600	1,515,950
会合費	1,276,400	750,372	526,028
ＥＤＰ費	1,552,387	1,099,152	453,235
業務委託費	462,000	462,000	0
広報費	76,000	81,500	△ 5,500
諸会費	1,669,375	1,537,375	132,000
保険料	233,262	217,836	15,426
貸倒引当金繰入	21,000	11,000	10,000
雑費	53,621	77,538	△ 23,917
経常費用計	180,687,960	175,993,396	4,694,564
評価損益等調整前当期経常増減額	24,109,959	8,435,374	15,674,585
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	24,109,959	8,435,374	15,674,585
２．経常外増減の部			
(1)経常外収益			
①受取補助金等	(0)	(1,500,000)	(△ 1,500,000)
受取国庫助成金	0	1,500,000	△ 1,500,000
経常外収益計	0	1,500,000	△ 1,500,000
(2)経常外費用			
①固定資産除却損	(0)	(1)	(△ 1)
器具備品除却損	0	1	△ 1
経常外費用計	0	1	△ 1
当期経常外増減額	0	1,499,999	△ 1,499,999
税引前当期一般正味財産増減額	24,109,959	9,935,373	14,174,586
法人税、住民税及び事業税	11,321,449	108,005	11,213,444
当期一般正味財産増減額	12,788,510	9,827,368	2,961,142
一般正味財産期首残高	230,721,818	220,894,450	9,827,368
一般正味財産期末残高	243,510,328	230,721,818	12,788,510
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	243,510,328	230,721,818	12,788,510

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 「公益法人会計基準」（平成20年4月11日 令和2年5月15日改正 内閣府公益認定等委員会）を採用している。

(2) 有価証券の評価基準及び評価方法（ただし、当年度は該当なし。）
①満期保有目的の債券‥‥償却原価法（定額法）
②その他の有価証券
a. 時価のあるもの‥‥‥期末日の市場価格等に基づく時価法
b. 時価のないもの‥‥‥移動平均法による原価法

(3) 固定資産の減価償却の方法
①建物 ‥‥‥‥‥定額法による。
②建物附属設備‥‥‥‥‥定額法（平成28年3月31日以前取得分は定率法）による。
③機械装置 ‥‥‥‥‥定率法による。
④器具備品 ‥‥‥‥‥定率法による。
⑤ソフトウェア‥‥‥‥‥定額法による。

(4) 引当金の計上基準
①退職給付引当金‥‥‥‥期末要支給額の一部を外部積立てし、残額を債務に計上している。
②貸倒引当金‥‥‥‥‥‥法人税法に基づく繰入限度額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

(6) リース取引の処理方法
所有権移転外ファイナンス・リース取引については、原則として通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。 （単位：円）

科　　目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
退職給付引当預金	32,259,605	3,847,480	0	36,107,085
合　　計	32,259,605	3,847,480	0	36,107,085

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。 （単位：円）

科　　目	当期末残高	（うち指定正味財産からの充当額）	（うち一般正味財産からの充当額）	（うち負債に対応する額）
退職給付引当預金	36,107,085	0	0	36,107,085
合　　計	36,107,085	0	0	36,107,085

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。 （単位：円）

科　　目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	4,823,555	2,303,487	2,520,068
機械装置	1,467,680	1,467,677	3
器具備品	4,441,022	4,342,707	98,315
ソフトウェア	4,052,000	1,804,533	2,247,467
合　　計	14,784,257	9,918,404	4,865,853

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。 （単位：円）

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
技術協力活用型・新興国市場開拓事業補助金	経済産業省	－	766,884	766,884	－	－
合　　計		0	766,884	766,884	0	

財務諸表の附属明細書

１．特定資産の明細

（単位：円）

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
特定資産	退職給付引当預金	32,259,605	3,847,480	0	36,107,085
	特定資産計	32,259,605	3,847,480	0	36,107,085

２．引当金の明細

（単位：円）

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
貸倒引当金	57,000	21,000	0	0	78,000
退職給付引当金	32,259,605	3,847,480	0	0	36,107,085

監　査　報　告　書

一般社団法人　組込みシステム技術協会
会 長　竹 内　嘉 一　殿

令和６年 5月 9 日

監　事　塚田英貴

監　事　小森谷豊

私たち監事は、令和５年４月１日から令和６年３月３１日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

１　監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る財務諸表（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書について検討いたしました。

２　監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

一　事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

二　理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 財務諸表及びその附属明細書の監査結果

財務諸表及びその附属明細書は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以　上